

摘 要

- ▽ このファイルの文書は、すべて東京・朝日新聞の紙面から収録したもので、サッカーに関する記録と関連記事を集めてあります。収めてある期間は明治39年から昭和31年までで、明治期から昭和20年の終戦までの期間については細大洩らさず集めてありますが、戦後の10年間については不十分な箇所もあります。なお各記事の脇にある数字は掲載日の日付で、Mは明治、Tは大正、Sは昭和の略です。
- ▽ このファイルは、発行当時の古い新聞紙面をそのままコピーしたものではなく、縮刷版を拡大してコピーしてあります。従って、活字や見出しの大きさは正確に元の大きさに戻っているとは限りません。現在の新聞紙面を参考に、多分この位の大きさだったのだらうと推測して拡大してあります。それで多少のバラツキがあります。また、写真は活字に比例させて拡大すると大きくなり過ぎるケースもあるので、雰囲気伝わる程度の拡大に留めたものもあります。
- ▽ 「サッカー」という用語は大正期から散見されますが、その時代から先の戦争後にかけてしばらくの間は「蹴球」が一般的な用語でした。このファイルは揺籃期から戦後にかけての記録集なので、当時の雰囲気を伝えようと背表紙のタイトルは「蹴球」にしてあります。

▽ このファイルは全部で11冊あり、収録年代は次の通りです。下段は西暦の対照表です。

ファイル	収録年代
No.①	明治39年3月~大正13年12月
②	大正14年1月~昭和3年10月
③	昭和3年11月 ~ 5年12月
④	6年1月 ~ 8年10月
⑤	8年11月 ~ 10年10月
⑥	10年11月 ~ 11年12月

ファイル	収録年代
No.⑦	昭和12年1月 ~ 12月
⑧	13年1月 ~ 12月
⑨	14年1月 ~ 12月
⑩	15年1月~20年12月
⑪	21年1月~31年3月

明39	40	41	42	43	44	45	大2	3	4	5	6	7
1906	1907	1908	1909	1910	1911	1912	1913	1914	1915	1916	1917	1918
大8	9	10	11	12	13	14	15	昭2	3	4	5	6
1919	1920	1921	1922	1923	1924	1925	1926	1927	1928	1929	1930	1931
昭7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1932	1933	1934	1935	1936	1937	1938	1939	1940	1941	1942	1943	1944
昭20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1945	1946	1947	1948	1949	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957

【お願い】 このファイルを利用して出版物などを出す場合は「朝日新聞から転載」あるいは「朝日新聞から要旨抜粋」などと出所を明記してください。

明治時代 (黎明期)

M 39. 9. 30

●運動會消息
水戸中學の庭球選手遙々
上京し先づ昨二十九日午後二時より鹿野
のコートに於て鹿野普通部の選手を敵と
して五回ゲーム二組抜き試合あり水戸落
く戦ひしも遂に鹿野方に見事な勝を占めら
れたり△水戸中學選手は今三十日午前十時
より青山師範學校に於て同校の選手と庭球
の試合を爲し猶翌一日午後より早稲田中
學と戦ふ筈なり△早稲田グラウンドに於て
は午後二時より正則中學對早稲田中學の野
球試合ある筈△鹿野普通部のフットボ
ル選手は昨二十九日、日比谷公園に於て傳習
ゲームを催したり△同秋季弓術大會は十月七
日午前八時より舉行△同秋季剣道大會も七
日午前八時より開催△一中と早稲田柔道部
にて本日野球の試合あるよし△高商は今度
フットボール部を置き昨今頻りに練習中な
り△鹿野普通秋季陸上大會は十月十四
日網町の運動場にて舉行する事に決定し本
年度より大學本科分科競走を行ふこととなり
たり但し同日雨天ならば十七日に延期

M 39. 3. 26

●運動會消息
△第三高等學校の選手が上京して東都
各學校選手と野球試合をなすに付其期日は
左の如く定まりぬ
(四月四日對早稲田大學(六日)對第一高等學校(七日)
對明治(八日)對鹿野普通部)
右に付早稲田、鹿野普通部、鹿野等の狂球家は是
非とも片柱冠を我手に獲んとて練習に暇な
しといへり△高師對アマチュア俱樂部
の蹴球試合は一日日小石川の高師校庭にて
舉行の筈なりしも雨天の爲延期せり

M 39. 12. 1

●運動會消息
上州前橋中學は明二日を以て太田
中學と野球試合を爲すに付鹿野のキヤプテン櫻井氏之が
審判員となり出陣せり而して前橋方には新進の勇士多
く又太田方は本年數度の失敗のため特に鹿野の選手を招
き練習に練習を重ねたる事故其の試合は大いに見るべき
ものありんと云へり△高等師範は近頃鹿野の野球選手青
木氏を招いて練習しつゝあり技術大いに上進したりと
△一高は野球選手の殆んど全部學科を卒業し野球部は昨
人となりしに更に更に選手を養成しつゝあり△長野縣の
各中學聯合して近日野球の大試合をなさんとし鹿野の選
手は審判員を依頼し來たり△若草野の醫學專門學校生
徒は山下頼りに頼りテフットボールの練習中なるが追つては
師の選手と對抗試合を爲すよし△早大の野球部は鹿野と
の試合中止以來選手の勇氣大に挫けたるが近日横濱の外
人と試合を爲し大に勇氣を振作せんとて交渉中なり

M 39. 10. 9

●運動會消息
秋晴の氣高く澄みて
運動に適する今日此頃都下に於ける各學校
の生徒はかのがじ、好む技を頻りに練習しつ
つあり、而して其運動部の景況を聞くに蹴
球部は鹿野と高等師範にあるのみにて一は
ラグビー式、一は協會派と云ふものにて徒
歩部は高師にあるのみ△帝大は一般に規模
の大なるに拘らず如何なる理由にやフット
ボール、ベースボールは頓と行はれず單に
庭球のみを行行之とて對校試合杯減多に
行はぬは練習の時間少きを爲しや△一高は野
球の養成所とも云ふべき所なるが秋季は
いつも振はず其内にも本年の如きは一層甚
だし加之ならず轉校事件にて紛糾中なれば
今秋はいまだに選手も定まらず爲にグラウ
ンドは秋季の茂るに任せて光景轉々變々た
りされし轉校事件も最早落着きたれば向陵
の健兒奮起の秋も近かるべし因に同校は來
る十二月秋季運動會を催す由△早稲田は
グラウンドも廣く又コートも多き上に戸塚の
運動場もあり學校の退散後は行く處として
各種の遊戯行はれざるゝとなく又柔術、剣道
も日々盛んに行はれ自然快活の氣充滿す

M 39. 12. 30

●高等師範對外人の蹴球試合
蹴球試合は豫記の如く今年の運動會最終の
マッチとして昨廿九日午後二時半より大塚
の高師運動場に於て舉行し當日は高
師紅軍、外人白軍と兩軍準備に着くや
レフエリなる英人ウエアス氏の開戦の
號笛は鳴渡れり先づ競技場の中央に於て紅
軍より球を蹴り出でしが體格偉大の外人に
對する小粒の邦人のとて白軍は常に驕馳
するを球を蹴るとは紅軍は一頭は抜い
てありしが邦人は坐臥の習慣上、足の屈伸
自在なれば此點は紅軍の利なり僅二三回球
を争ふと見る間に白軍はゴールインをして
先づ一點を収め、紅軍は大に奮勵してヒン
ダーラインまで押寄せたるも又々逆襲され
カーナーキックやフリーキック等はライ
ンアップなき廢りありて白軍は又も三點を
得暫時休憩すハーフタイム後は紅軍必死と
なり烈しく戦ひたるも得る處なきに反し白
軍は又も二點を収め終に六對零のスコング
にて高師の敗北となりたるは是非もなけれ
ば其勝り振りの整然たりしは感歎の外
なく白軍却つて見事なる行動多かりし唯外
人方のキックの見事なるは一遊を喫した
り當日兩軍の守備の位置は左の如し

高師方		外人方	
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム
大木	ホルム	ホルム	ホルム

出 公

M 39. 12. 28

●運動會消息
去二十二日に舉行の
筈なりし高師對外人のフットボール試合は
愈も二十九日午後二時より大塚なる高師
のグラウンドに於て開催に決したり是本年
最終のマッチなるべし

●新刊雑誌

野球競技は昨秋市野の聖路男野球團の來朝以來帝都の野球界を奮起せしめ...

●運動界

▲高師蹴球部は積濱外人スポーティングクラブの挑戦に...

と爲す筈にて之を前後して高師軍も外人と戦ふ由に...

●高師蹴球競技

二度外人を取つて意氣大に昂れる高師蹴球部は更に横濱スポーティングクラブの挑戦に...

- 新帯 コーリス
柳川 △フルバツク
川崎 △フルバツク
梅本 △フオアワード

●運動界

▲高師蹴球競技 本日午後二時半より同校運動場にて横濱シヨセフカレッジとの蹴球試合を...

●新刊雑誌

○フットボール 近時フットボールは非常の勢を以て勃興し來れるが未だ是を關する...

大正時代初期

●フットボール試合 八日午前八時大塚高等師範學校運動場に於て朝鮮人學生の組織せる太平洋俱樂部と中華民國在學生同窓會との間にフットボールの試合を爲す由

T 2・6・8

▲高師と外人の蹴球試合 今十二月午後一時より高等師範運動場に於て高師對外人團の蹴球試合あり

T 2・10・12

●本日の蹴球試合 高等師範蹴球部對外人蹴球試合は八日午後二時より高師校庭に開催
●東洋協會柔道大會 九日午後一時より其道場に開催する由

T 2・11・8

伯林が勝つ

佛獨蹴球競技

昨日伯林にて催されたる巴里伯林兩市間の蹴球競技は伯林の勝利に歸した(伯林電報)

T 9・5・13

日本選手慰勞會

上海オリムピック日本選手後援會の主催にて本日六三團に選手慰勞會を開き來會者二百餘名餘興さして小運動會あり盛會を極めたり

次回の極東大會

次回の極東オリムピック開催の件に關し同會委員なる米人某六月四日神戸着協議の爲め東京の管

T 4・5・25

蹴鞠の季節——野球を凌ぐ

純潔なる學生競技——今が試合の好時期——英米の新消息

秋から冬にかけて米國各大學間に於ては野球が下火になつてラグビー式蹴鞠試合が非常に興味を以て行はれてゐる蹴鞠技にはアッソンション流ラグビー流の二派があるが日本に於ては十餘年前アッソンション流が高師式が慶應の健兒によつて初めて試みらるゝに至つた

三田の健兒は

濱アスレチック俱樂部に對外試合を試み初め一二回は敗者の位置に立つたが後にはラグビー技の中に生れ出た横濱英人團を打破つて凱歌を擡る程の習練を積んだラグビーアッソンション流は競技場なきの模様こそ大同小異であるが競技の方法は大分違つてア式は規則としてゴールキーパーの外

絶対に手を用

ミが許されて居ないに反しラ式は競技者全部が規則に反しない限り手足を自由に用ひて勝負するこゝになつて居るだけ活潑遊地の活動はラグビー式蹴鞠に於て始めて見る事が出来るのであるが競技時間は中休止十分を加へて

正味一時間

定めて居る兩軍の勝敗は規則による得點の多少に依つて決せらるゝのである

大戦勃發以來

の多數は出で、祖國の爲に關門を守るの戦士となり昨今兩年ははかばかしく試合は舉行されて居る其結果として今年には出店の米國蹴鞠界が獨り斯技の爲に大活躍をやつて居る状況である米國では各大學も蹴鞠が設けられ東部は東部西部は西部で盛に爭戰對校試合が行はれて居るが東部ではハイヴアット、エール、プリンストン及黒人の勇士を混じたコーネル

大學團の爭覇

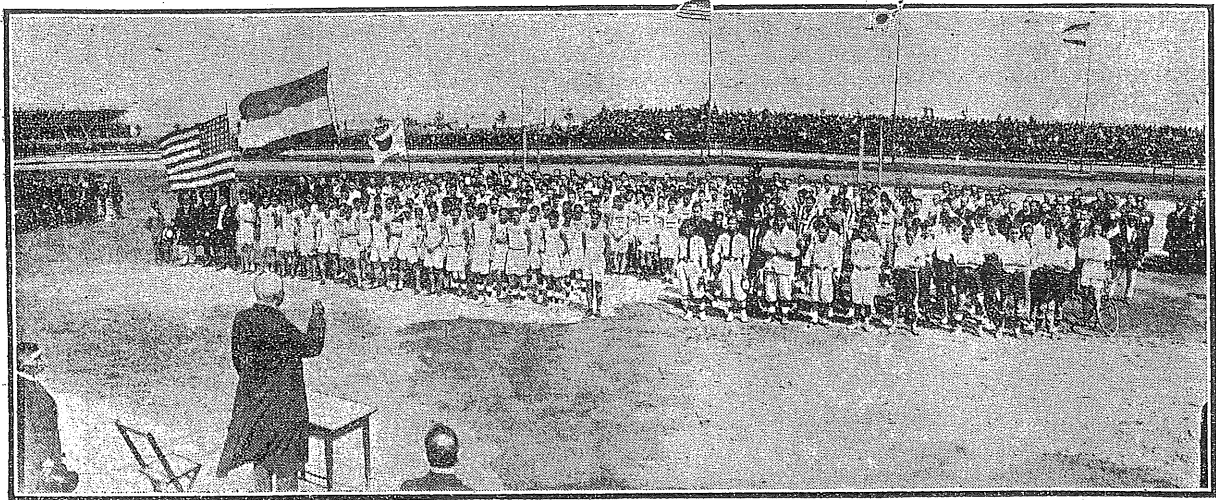
て活躍して居る外に一昨年来ワシントン、デフアンソン大學團も云ふ小冠者揃ひの一團が東部の蹴鞠界を横行してエール、ハイヴアットを苦しめて居る西部はスタンホード、カリフォルニア兩大學が何時も覇權を争つて居る、最後に一言したいのは蹴鞠技には相撲や野球のそれの如く商賣人は絶無で随つて蹴鞠競技場の空氣は此の汚濁を持つて居ない云はれて居る

T 4. 12. 28

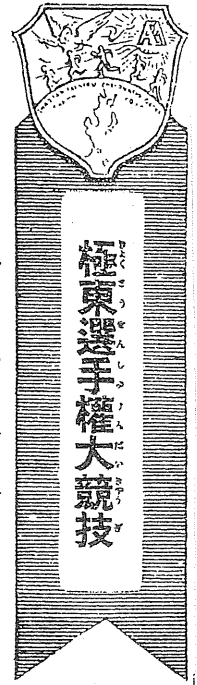
大正6年

第3回極東大会関係

極東選手権大競技開場式 (大隈名譽會長の演説)



T6・5・9



台覧の競技日

九日拂曉は地軸も流れさうなドンヤ降りが一二時間も続いたので、極東選手権競技大会第二日は舉行覺束なからんと思はれたが、程無く霽れて前日の如き快晴なつたので

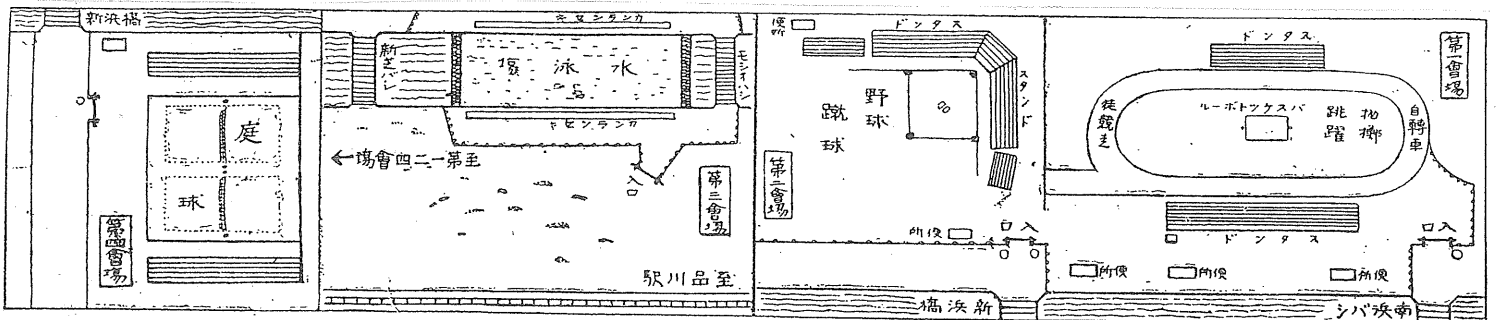
蹴球を行ふ

べき第二會場では排水やら線を引くやらで大騒ぎ、大きな水溜りでは柄杓でかい出した水を樽へ入れては運んで居た、漸く十時半には片附いたので日本對支那の試合が始まり、第四會場でも三十分許り遅れて庭球戦が開始された十一時頃からは西南の風が漸次に強度を増し、運動場の乾くには都合が悪いが、霞登張りの警官控所なごが吹き飛ばされるには妙からず閉口して居た様だ、十二時少し過ぐる頃蹴球が終つた

T6・5・10

T6-5-8

大会会場



競技記録

第二日

蹴球

支那五、日本零

時半ワイルス氏のレフエリ、日本軍の先蹴にて開始せしが凡ての點に於て支軍の技術數等の上であり▲開始後三分にして唐のコーナキツクを郭受けて先づ一點を收めしを初めとし前半に四點、後半に一點を入れしに反し日軍は數回のコーナキツクを得たるも得點するに至らず五對零にて日本軍大敗すメン

日本 田賀井 木内山 邊木保杉井
富芳武 吉竹上 渡佐大藤

T 6 . 5 . 10

競技記録

第二日

蹴球

比軍十五、日本二

十五分ワイルス氏のレフエリ比軍の先蹴にて開始せしが前半戦開始後三分にして比軍アレアンタラのキツクに一點を挙げしを初めとしアルトナガ、ラマス、マリオ、ゲナト等の奮戦に依りて前半に五點と後半に十點を得たるに反し日軍振はず漸く前半中央線前方のタツチより渡邊のパスと藤井のキツクに一點を得たると後半額田のパスと藤井のキツクに一點を得たるのみ十五對二にて日本軍再び惨憺たる敗北をした

日本 田賀井 木内山 邊木保杉井
富芳武 吉竹上 渡佐大藤

T 6 . 5 . 11

競技記録

きやうぎ レコード

第四日

蹴球

支那優勝す——支軍三、比軍零

支那對比律賓の蹴球優勝戦は十一日午前九時四十分よりウィルス氏のレフエリ、支那方の先蹴にて開始せしが兩軍共一年の第二回極東大會に出場せしチームにして比軍にとりては大切の復讐戦なり

▲双方猛烈なる敵愾心を藏して陣頭に臨み極めて緊張せる白熱戦を演ぜしが支那方の技術稍優り開始後二十分田、唐、巧妙なるパスと郭のキックル先づ一點を得、續いて中央線前方のフリーキックを得比律賓方ゴールキーパーが狼狽して受け損ぜ、處を梁陳かさず蹴込みて一點を加へ前半戦を終り

▲後半戦に移り互に二進一退を繰り返して後開始後十五分にして支那方ベナルチー、キックを得、丁のキックに見事一點を挙げ三點となりしが此時支那選手の一人調子に乗りて比律賓選手を侮辱したりとて忽ち双方の大喧嘩となり兩軍の臨場亦場内に亂れ入りて整理の途無きに至り遂にレフエリはゲームセットを宣し三對零にて支那の勝に歸し、支那一等十點、比律賓二等(六點)と決し極東の選手権は重ねて支那チームの手に歸す

支那	比律賓
春泰漢平芳棠	ス タ ガ ト ノ ツ ア ス ト ガ ラ オ
照榮馮梁玉安祥根主香	リザ エレツシ ナタ
丁馮張馮梁玉安祥根主香	ンイ エレツシ ナタ
馮張馮梁玉安祥根主香	バニモロガラガア
梁玉安祥根主香	エロニモロガラガア
玉安祥根主香	FR FR HC HL OR IR C IL OL
安祥根主香	
祥根主香	
根主香	
主香	
香	

戦の跡を顧みて

△學ぶ可き點が

多かつた

蹴球選手 竹内廣二郎氏談

支那も比律賓も我等の敵ではありませぬ殊に支那は比軍よりもキックに於て一日の長があり、コーナリー、キックを頭で受けてゴールに入れる策戦や、蹴り方が左右同様に利き横にも後方にも自由である所などは大に學ぶべき點と思ひます、支比兩軍の陣容を見るに支那は前衛に精銳を集め比軍はフルバックに傑物を備へました、故に支那の攻撃は見事で、比軍の守備はなかく堅固なものでした

T 6 . 5 . 13

大正7年

運 動 界

芝浦の蹴球戦

英大使館方勝つ

英國大使館員對高師のア式蹴球戦は廿六日午後三時芝浦グラウンドに於て舉行、試合は大使館書記官ヘーグ氏のレフエリー英人方のキック。オフに開始し英人方最初より優勢を示し敵のゴールに肉薄迫し巽々コーナー。キックの機會を得一點を先取せるが高師軍遽に蹶起し藤井のキック見事に成功ゴールを奪ひ同點となり爾後兩軍奮戦せるも得點なく前半時を終り更に位置を變更して後半戦を繼續し果然壯烈なる接戦を演出せるが英人方善戦し三點を奪取し結局四對一にて英人方の勝利に歸したり尙英人方の殊勳者はデヴィス、カーチス、キンチス、スパックマンの四選手なり兩軍のメンバー左の如し

トク-1-27

運 動 界

蹴球大會の役員決定

名譽會長 嘉納氏

關東蹴球大會は其後着々準備中なるが名譽會長以下役員は左の如く決定せり

一名譽會長 高師校長 嘉納治五郎氏
 一會長 高師教授 永井 道明氏
 一贊助員 英大使館書記官伯爵 ベンチング氏
 同館員 デビス氏
 一顧問 東京高師教授 峰岸 米造氏
 同蹴球部長 兒島獻吉郎氏
 東京蹴球俱樂部 ヘーグ氏
 同 同 アレン氏
 一委員長 高師教授 内野 台嶺氏
 一審判主任 附中教諭 北川久五郎氏
 同 豐島師範教諭 吉川準次郎氏
 a レフエリー 内野、北川、渡邊(敏)
 竹内、野崎、佐々木諸氏
 b ラインスマン、藤井、富岡、鈴木、大久保、水上、石川、中川、田村諸氏
 一會場主任 東京市氷川小學校長 井上滋次郎氏
 係員 北川田、森本、伊藤、稻垣諸氏
 一記録主任 東京市大正小學校訓導 大瀧正寛氏
 係員 佐藤、影山、大杉諸氏
 一接待主任 東京市京砂小學學長 渡邊 年氏
 係員 豐崎、豐田、古谷、川合、山本(洋)大木諸氏

トク-1-29

▲外人蹴球 横濱對神戸外人のフットボール競技は本年は神戸グラウンドに於て舉行する事となり期日は來月十一日に決めるが選手も多くは競争の爲召集されたるを以て例年に比し見劣りすべしと

關東蹴球大會

昨夏極東競技大會に於て國際蹴球試合の舉行せらるゝや我國の蹴球界は頓に隆興の機運を生じ今や學生競技界の一權威となれり蹴球競技たる野球の米國に於けるが如く英國の國技にして其體育的價値は茲に贅せず歐米學生界に於ける本競技の流行は正に野球に匹敵せり此秋に當り東京高師及び青山、豊島兩師範蹴球部先鞭が組織せる東京蹴球團主催、本社後援の下に關東蹴球大會を開催し左記二大競技會を舉行せんす本大會の開催たるや東都運動界空前の企畫たるのみならず我國蹴球界に一新紀元を劃する壯舉たらんばあらず

模範蹴球試合

一、開期 來る二月九(土曜)十(日曜)十一(紀元節)の三日間

二、會場 東京高等師範學校運動場

附記 大會事務に關する照會東京高等師範學校内蹴球部竹内廣三郎氏宛の事

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

T 7-1-27・28 (2日間)

日英親善の爲に

滿都熱狂する優勝試合

關東蹴球大會發助員 英國大使館書記官 ベンテンク伯爵談

那翁に勝つたウ將軍

日本蹴球界の一新紀元を作る可く本社後援の下に近く開催さるゝ關東蹴球大會發助員たる事を快諾せられし英國大使館のベンテンク伯爵を初めデヴィス、ヘーグ兩通譯官は母國に於ける同競技の情況に付き交々語つて曰く「ワーターローの決戦にウエリントン將軍がナポレオンに克つたのはイートン學校に於ける蹴球競技の結果だ

こは言ひ古した言葉ではあるが今以て眞理である。英國人は格闘の時代から蹴球を初めると言つても宜しい位でちよろしく歩きの子供等まで室内で蹴球遊びをやる程に蹴球は昔から英國の國民的遊戯となつて居る。總ゆる種類總ゆる程度の學校、何處の町、何處の村落へ行つても蹴球をやつて居ない所はなく、又「英人は其の競技を携へて移住す」言ふ諺の通り英人は世界中何處へ行つても蹴球をやらなくては満足が出来ない程に戦線へ行つても盛んにやつて居る、愛蘭の兵隊が

◇蹴球競技の

最後に残つた二つの優勝チームの試合たるカップ、ファイナルのマッチの如きは其の競技場たる倫敦のクリスタル、パレスの運動場は何萬といふ熱狂せる觀者で圍まれ英國年中行事の一つとなつて居る、今迄日本では餘り此競技は顧みられずに居たやうであるが是は所謂食はず嫌ひで近頃諸所で見られる日本人のチームを見るに却々巧妙で此點を以て進めば野球以上に立派な

◇佛國の戦線で

其の性來の洒落な特徴を發揮して蹴球を

◇日本の競技

に相違ない我々は東洋の同盟國に於て兩國の提携を益必要とする秋に於て自國の國技が勃興の機運に向ふのを見て兩國國民の親善を圖るの點から見ても衷心より其の將來の大發展を祈る次第である」

◆本邦蹴球史◆

▽高師と慶應

▽ア式とラ式

本社後援の關東蹴球大會が頗る時機に
適した企てで春雪に埋もれた草木が新
芽を生ひが如く、將に勃興せんとする
我國の蹴球界に陽春の光を射た様も
のである、一體蹴球は英國の國技とし
て知られて居るが古くは希臘、羅馬の
時代から此種の競技が在つたと云ふ事
だ、我國でも蹴鞠と云つて中大兄皇子
が蹴つて脱げた履を鎌足公が捧げた
云ふ事實は有名な話で今日でも飛鳥井
伯爵家は蹴鞠の家として傳はる京都で
は時々此催しがある、現今の蹴球と
蹴鞠とは傳統的の關係はなく全然別個
の歴史で發達したのだが、共に脚で
球を蹴ると云ふ其遊戲の根本に於て共
通の點がある

▲倍英國國技としての現今の蹴球が
我國に輸入してから什麼風に弘まつた
か初めて此遊戲が行はれたのは明治
十一年の頃に牛ヶ淵の附近に操體傳
習所と云ふのがあつて外人を聘して盛

んに新式の體操を傳習して居たが此外
人教師が蹴球を紹介したのが濫觴
で、當時九段附近で内外人入り混つて
競技したのが全國に擴まつたのだ、併
し全國に傳へられた蹴球は其傳へ
られる間に於いて間違つたり又は自分
勝手な規則を作つたりした結果競技と
して大切な共通の規約がなく、單に脚
で球を蹴ると云ふだけで非道になる
と數百人の多勢が入亂れて球を蹴る
と云ふ様な亂暴な競技を敢てした時代
があつた

▲一體は古來坐ると云ふ習慣が日本人
の體格に幾多の缺陷を生じてゐる事は
識者の眉を擡める處であるが今日直に
是を改める事は不可能だ、此脚部發達
の缺陷を補ふには蹴球に越す遊戲
はない、此意味からしても蹴球は我
國人に奨励すべき遊戲で、斯う云ふ意
義で競技として正式の蹴球を創始
したのが高師と慶應とである、今日我
國の蹴球界の元祖は此二校であつて前
者はアツソシエション式を後者はラゲ
ビー式を傳へて全國に擴まつたのであ
る(つゞく)

トク・ノ・3/

◆本邦蹴球史◆

▽高師と慶應

▽ア式とラ式

我國の蹴球界は此二大潮流に分れて居
るので、高師の方は明治三何年頃から
蹴球部を創設し規則の制定を完成
したり慶應の外人團を指導者とし
て試合を行ひ其後東京府師範學校でも
始めたが明治四十年に高師と東京師範
とが試合したのが邦人同志の蹴球競技
の最初の記録だと云ふ事だ、慶應の方
は高師より稍古く三十三年の頃塾に
教鞭を執つて居た英人クラーク氏が手
と挑戦し漸次發達したものである

▲前述の様に我國の蹴球界には高師と
慶應との二潮流があるが其様式もア式
とラ式の二種が擴まつて居るがラ式の
方は四十二年頃に京都の同志社及び三
高などが共に慶應から傳授されて創設
し關西方面では漸次傳播されて來たが
關東に於ては慶應のみで却て高師の
開いたア式の方が關東では盛盛を極め

て來たもので關東でア式蹴球を學
生競技として採用して居る學は豊尚
師、青山師を初め市内では附屬中學や
明治學院があり地方では横濱二中、鎌
倉、埼玉、千葉、水戸、佐倉、群馬、山形
長野等があり、更に關西では名古屋の
八高を初め明倫中學、京都、奈良、御影
の各師範學校等がある

▲此ア式蹴球の勃興を機として全國に
於ける蹴球界の促進を目的とし蹴起し
たのが今回大會の主催者となつた東京
蹴球部で、高師及び豊島青山兩師範の
蹴球部先輩が中心となつて組織した
蹴球部は、獎勵の中心機關ともなり後自
ら幾多のチームを組織して相互の體育
を練へ競技の研究機關らしめると云
ふのが目的で昨年十一月創設以來も
慶應、外人團其他と試合して居る、尙關
東地方の外人團としては東京俱樂部、
横濱Y.C.A.C.及びセント・ジョセフが
あり支那留學生、朝鮮留學生等が盛ん
に行つてゐる(終)

トク・2・1/

關東蹴球大會

中等學校蹴球優勝試合(アツンシエシヨンス)

一、開期 來る二月九(土曜)十(日曜)十一(紀元節)の三日間
 二、會場 東京高等師範學校運動場

主催 東京蹴球團
 後援 東京朝日新聞社

トク・二・二五(三月間)

關東蹴球大會

國際的競技の偉觀

参加すべき各チーム

東京蹴球團主催、本社後援の關東蹴球大會は、愈來る九日(土曜)十日(日曜)十一日(紀元節)の三日間を以て城北高等師範運動場に於て輸贏を決する事となれり、蹴球たる冬季競技界の花として一大壯觀を呈すべく既に大會参加に決定せるチーム十六を算す、是れ

慶應蹴球部

特に番外模範競技としてラ式蹴球を紹介すべく諾せるあり、即ち本日迄に參加決定せる中等學校優勝試合及模範競技の參加チーム及び優勝試合規定左の如し

關東の精華

したるもの殊に大會顧問たる英大使館ヘーグ氏を主將とせる東京蹴球俱樂部(英人團)は本會の企畫を快くし大英國の國技を模範的に紹介すべく參加したり、其他外人團に在りては横濱のセント・ジョセフ・カレッジ及び中華留日學生團あり、朝鮮青年團亦蹶起し、主催者たる東京蹴球團

優勝試合競技規定

- 一、競技時間は總て一時間とす、但し優勝試合に限り九十分間とす
- 二、競技には補缺選手の出場を許さず
- 三、規定の競技時間内に勝敗決せず引分試合となりたる場合は抽籤を以て勝者を定む、但し優勝試合に限り廿分間を延長し猶勝敗決せざる場合は引分を宣告す
- 四、試合時間迄に來場せざるチームは棄權と見做し相手方チームを勝者と認む
- 五、競技規定は極東體育協會蹴球規定に依る

- ◇優勝試合參加チーム◇
- 明治學院中學部 豊島師範A組
 - 青山師範A組 青山師範B組
 - 横濱第二中學 埼玉師範
 - 佐倉中學
- ◇模範競技參加チーム◇
- 東京高等師範學校 東京蹴球俱樂部(英人團)
 - 朝鮮青年團
 - セント・ジョセフ・カレッジ 中華留日學生團
 - 東京蹴球團

蹴球の觀方

東京高等師範學校講師
關東蹴球大會競技委員長
内野台嶺氏談

内野台嶺氏談

冬期の戶外運動として蹴球位の愉快なものはないと私は思つて居る寒さに對して抵抗的強健法として此の

◇全體力を

活動させるに

是以上の運動はない、近來漸く此運動が盛になつて來た事は誠に喜ばしい次第ですが今度の關東蹴球大會は關東に於ては初めての企てであるから蹴球の規則の大略を話して觀望の人々に蹴球競技に對する概念だけを興へて置く必要がありませう、ア式蹴球は一組が十一人宛で、各敵の門壁へ球を蹴込めば一點を得られ、我時間は九十分が規定ではあるが相談づくで六十分に短縮しても好いとして其の規定された時間内に得點の

◇多い方

勝ちとなる譯

た、競技は最初拳で敵味方の陣位を定め、そのだが風の具合や太陽の向きで拳で蹴つた方が都合の好い方を選ぶと球を場の中央に置いて拳に負けた方が蹴始めて蹴は開始される競技場は長さ約六十間幅二十五間と云ふ形が普通だが、其の短縮

◇敵の守備

三人以上居な

いのに敵に迫つて球を待ち受けて之を取る事などは反則として、敵に自由蹴を興へねばならない、其の自由蹴と云ふのは其反則した場所を置いて敵に自由に蹴られる事である、次に競技場の横の線から出して終つた場合は敵が線の上に立つて手で都合の好い様に投げ込まれる、又攻めて行つて味方が敵の門壁が立つて居る線から出した時は敵の門將に自由に蹴られる、敵が出た場合は味方が競技場の角から都合の好い様に蹴る事が出来る、門壁を中央にして

◇競技場に

長さ九間幅二

十二間の線があるが之れを反則圍と云つて、此の中で味方が犯則すると敵に反則圍に在る罰蹴一點から門壁に向つて蹴に蹴られる、大體此の位の規定を頭に入れて競技を見ると其處に非常な痛快さを感じる

T 7・2・6

中等蹴球優勝試合

期日二月九日より二日間

關東蹴球大會

會場……東京高等師範運動場
(參觀隨意)

模範蹴球試合

名譽會長	東京高等師範校長	嘉納治五郎氏
會長	高等師範校長	永井道明氏
贊助員	東京蹴球團長	ペンテンク氏
顧問	書記官伯備	峰岸米造氏
顧問	高等師範校長	兒島獻吉郎氏
顧問	同蹴球部長	ヘーグ氏
顧問	英國六使館員東京蹴球俱樂部主席	
主備	東京蹴球團	
後援	東京朝日新聞社	

参加團の陣容整ふ

蹴球大會明日に迫る

英人團の模範試合

各チーム必勝を期す

を受け居たるが舊臘野島師範の第二選手を二對零に破り横濱外人とも數々戦つて其の技悔る可からず

横濱二中 是校規として蹴球と競走の外は運動を禁じ居れる爲め荷も同校の生徒にして球を蹴らざる者なく

「二中の生徒の靴は皆破れてる」と言はるゝ程盛なれば正式の練習には缺け居るもキツクの巧妙なるは特筆に値す

佐倉中學 は大正五年頃より高師のコーチを受け其の技大いに進みたれど嘗て對抗試合に出場せし事なき様にて横濱二中と共に最初の對抗競技なれば必勝の意氣頗る旺盛なり

埼玉師範 蹴球部は明治四十一年の創設にて常に高師のコーチを受け殊に風當り激しき同地に在つて猛烈なる練習を續け居れる爲め選手の體力頗る旺盛にて去る一月中青山師範と戦ひ激闘の末一對零にて惜しき敗を取りたるが其の力量に於て伯仲し居れば復讐の意氣込み盛なり

青山師範 是明治四十年高師の指導にて蹴球部を設置し爾來東京外人横濱タイガーなどと戦つて技を練り今冬埼玉師範を破つて意氣頓に昂れり

野島師範 蹴球部は明治四十二年の創設にて大正三年頃英人ドレーク氏の指導を受け爾來技倆大に進み數

次外人團と技を闘はして試合の經驗に富み居れり

兩師範校長贊助

本大會

の舉を贊し龍澤青山、御園生豊島兩師範校長、遠山高師講師の諸氏は贊助員たる事を快諾せられ尙競技大會委員は既記の外左の人々更に擔當する事となれり

レフエリリー小野田、吉比爾氏、會場係林、吉田、村田、下村諸氏、記録係内田、山崎兩氏、接待係栗山、安藤、原島、山田諸氏

東京蹴球團主催本社後援の關東蹴球大會は、愈明九日午後より三日間高師校庭に開催さるゝ事となれるが初め此の會の企画さるゝや嘉納高師校長は名譽會長を、英國大使館書記官伯爾ペンテンク氏其他諸氏は贊助を與ふるを快諾し參加チーム十八、英米支の三箇國の選手も

模範試合に

馳せ參

する等關東大會は云へ事實上國際的大會となり、而して之れが優勝戦に輪贏を争ふ中等學校は既報の如く六校八チーム、夫々必勝を期して出場すれば其の争覇戦は蓋し冬期運動界の一大壯觀たる可く又英人團の模範試合は將に隆盛ならんことを我が蹴球界の師表たるを失はざる可し尙優勝戦に參加すべき中等學校各チームの概況を示せば

明治學院 は大正元年頃より蹴球を始め三年に至り同院同窓會に蹴球部設置され爾來高師選手を聘して拮据

●本日蹴球大會

◇高師運動場に於て ◇冬期競技界の精華

蹴球大會は来れり、我競技界空前の
壯觀たる關東蹴球大會はいよいよ今
九日午後一時半を以て城北高師運動
場に於て開催する事なれり會場の
入口は源平卷の絲門を立て關東蹴球
大會の大書せる大額を掲げ紅白の幕
を張廻らし來賓席を東側に南西面を
一般參觀席とし、ゴールは紅白の布
に巻かれネットを張り、フイールド
の白線は鮮かに敷かれて準備既に成
れり、大會劈頭を飾るプログラムを
して永井會長開會を宣するや嘉納名
譽會長

▲始球式を 司宰すべく

夫より別記の順序を以て壯烈なる争
闘戦を行ふ事なれり、名は關東大
會なるも其實質に於ては宛然たる國
際競技にして東京フット・ボール俱
樂部の英人團を初め横濱セント・ジ
ョセフカレッジの外人團及び朝鮮人
團等を網羅し尙東京帝大は蹴起して
有志團を組織し模範競技出場に決せ
るあり、其参戦チーム實に十六に達
し出場選手二百に垂んす、是れ皆
一騎當千の士、皆を決し脚を塵す
るあり而して三日間の會期を通して

◇日本日關東蹴球大會◇
——長合井永、長合名納嘉、榮光の會試、参加者より上——



▲壯烈なる

は茲に説か
ず、模範試合の快技殊に英人團が其
國技を演ずるの妙技は蓋し大會中の
壯觀にして正に勃興せる蹴球界に範
を垂る、堅氷を砕いて驅馳し朔風を
衝いて球を逐ふの壯絶は冬期競技界
の精華ならずばあらず英國大使グリ
ーン氏は英國の國技が擴く紹介さる
るを喜び且は此の大會が事實に於て
國際的競技なるを思ふて九日一時よ
り參觀すべく申し込まれたり

▲試合番組

- 今日午後一時半より開會すべき關東
蹴球大會競技番組左の如く決定せり
- ▲九日(土曜)午後一時半より二
時半迄(優勝試合)
 - (明治學院中學部)
 - (豊島師範A組)
 - (埼玉師範)
 - (青山師範A組)
- ▲十日(日曜)午前十時半より十
一時半迄(優勝試合)
 - (高師第二中學)
 - (佐倉中學)
- ▲午前九時半より十時半迄
 - (豊島師範B組)
 - (青山師範B組)
- ▲午後零時半より一時半迄(模範
試合)
 - (東京帝大蹴球團)
 - (高等師範B組)
- ▲午後一時半より二時半迄(優勝
試合)

- 一勝者戦(第一回)
- 同二時半より三時半迄
- 一勝者戦(第二回)
- 同三時半より五時迄(模範試合)
- (セント・ジョセフカレッジ)
- (高等師範A組)
- ▲十一日午前十時半より十二時
迄(模範試合)
 - (高等師範A組)
 - (朝鮮青年團)
- ▲午後一時より二時半迄(優勝戦)
- 同二時半より四時迄(模範試合)
 - (東京蹴球俱樂部(英人團))
 - (東京蹴球團)

◇参加チーム

▽メンバー

- 優勝戦参加中等學校のメンバー左の如し
位置は壁守、右衛、左衛、右翼、中堅、左翼
右外攻、右内攻、中攻、左内攻、左外攻の
順なり
- (明治學院) 高津、吳、金、韓、金、金刺、朱
李、玄、長澤、金
 - (横濱二中) 吉田、池谷、渡邊、岡崎、井出
椎橋、小野、平野、石井、添田、吉澤
 - (豊島師範A組) 清水、狐塚、星野、谷松
市東、河野、鶴町、當磨、安積、忍田、三田
野
 - (豊島師範B組) 西村、野田、四宮、増田
星野、菅家、大伴、飯山、守屋、檜崎、熊城
 - (左倉中學) 林、關口、大木、廣野、渡邊
 - (外川、實川、渡貫、橋本、白名、岡田、小島
 - (埼玉師範) 小堀、細谷、矢島、梅澤、橋本
大澤、多田、鹽谷、小川、新井、田畑
 - (青山師範A組) 相原、伊東、中島、大橋
天野、安村、峰岸、内山、菅田、和田、松本
 - (青山師範B組) 山下、綠川、上野、大地
荒海、横瀬、萩原、伊藤、村田、松井、坂本

争覇戦開かる

関東蹴球大会第一日

空は晴れたり 関東健児の意氣正に天を衝く

九日は空しく迄晴れ渡れり、愈我々蹴球界空前の壯麗たる関東蹴球大会は此日を以て高師運動場に開始されぬ、午後一時頃にもなれば高師部の學生陸續として紅白巻き華やかなる會場入口の絲門をくぐり場の中

四周は忽ちにして

数千の學生群に埋まり固唾を呑んで選手の出場を待つ、やがて定刻午後一時半場中央に旗壇を設ければ急ぎの如き拍手に迎へられ各學校選手出場せり先頭白、紫の袴纏あるニフオームに武者振り勇ましく整列せるは明治學院、茶褐色を裝へる埼玉師範、黄、白の染分けせる豊島師範、孰れも勇躍必勝を期し演壇に面して

中央に起ち

審判員の呼笛を合圖に蹴球式を行ひ了つて先づ最初の試合は既報の如く明治學院中野部對豊島師範A組に開始せられ觀衆の聲援亦頗る旺んなり試合経過は別項の如し

兩殿下台臨

関東蹴球大会は非常なる盛況を極めつゝあるが、明十一日の第三日に竹田、山階兩若宮殿下御台覽ありせらるゝ昨日日嘉納名譽會長へ御遊ありたり

整理すれば

委員は總て其後方に立列ぶ斯くて永井會長壇上起ち「関東蹴球大会の名に於て開會せらるゝも雖も其内容に至つては正に國際蹴球大会の開催なり今より嘉納名譽會長の演説あり」さて降壇すれば嘉納名譽會長壇上に進み蹴球は外國から輸入された競技の内では最も體育的であつて自分が我國に獎勵したいと思つて居る競技の一つである、歐米諸國で蹴球の盛んな事は茲に説く迄もなげが先年ストツホルムのオリンピック大會でも非常に旺であつた、由來歐米人は體力に於て遂に日本人より優れて居るから體力を主とする蹴球に於て國際的競技としては到底

見物の英國

大使曰く故國に在る氣持

大使曰く

恰度第二回目的埼玉師範と青山師範の試合の始まつたところへ來て終りまで熱心に觀て居た英國大使グリーン氏は先づ興奮せる見物を見渡して「非常な熱心ですな、今迄蹴球が日本に其れほど流行しなかつたのも此の

競技の興味

なかつたからで、此の勢ひで進んだら数年内には全國に流行するに至るでせう、出陣の學生達も斯して蹴球一枚になつたところを見るも身體が如何にも逞しく發達して居る、尤も之は四肢を平均して發達させるに最も適して居る此の運動を主としてやつて居る故もあるでせう、夫れから見たところ此の競技に必要な走力

非常に有望

だと思ひます」斯くて大使は最後に永井會長から選手に敬章を授與する光景を見て頗り拍手し乍ら「御慶儀で今日は故國へ歸つたやうな氣がして愉快でした」と語つた

※次のページにつづく

関東蹴球大会 (第一日)



英ソリーグ(右) 玉崎(左) 使大國の範師山崎と範師戰勝負

(関東蹴球大会)

蹴球戦(第一日)

豊A五明治B

大会第頭の試合たる明治Bと豊A組は、明治Bの選手鳴響き、活発相手の裡に明治Bのキックオフにて開始する時に一時五分なり豊島軍は前衛に精鋭を擁し、遂に豊島軍の突入運籌の好機を相俟つて、遂に豊島軍をゴール前に接近し、明治Bの選手奮戦して好守敵を喰止めたるも、豊島軍も三回、隅隙を得たり明治Bを喰止る頭脳を私用して防戦に努め一時は攻勢に轉じて一回の隅隙を得たるも、豊島軍は開始後十五分にして中攻の安機を好守ゴールの右隅を衝いて一點を先取す、豊島軍は好く攻め安機、三回、好守と計三點を収めたり、後半戦は陸地を奪へて再開す、豊島軍はゴールに内着するや明治Bの選手(二、三)並に於て反則あり、豊島軍は遂前に於て自由球を得、陣軍亂闘となり、豊島軍亦二點を収へ明治B奮戦防禦に努めたるも、遂に三對客にて、豊島軍の大勝に歸せり、兩軍の成績左の如し(試合時間一時間)

- (豊) 水塚 野東 藤野 松原 野田
- (津) 清 狐 星 河 市 常 三 岩 安 延 敏 澤 川
- (明) 高 吳 金 手 韓 朱 金 玄 長 中
- ▲豊島 得點五、豊島守三、豊島守四、豊島守八、失點三、自由球一
- ▲明治 得點零、豊島守三、一、豊島守三、自由球三、投入六

埼玉師一青師二

埼玉師對青山師師範A組は青師方の開始にて開始せり、レフボールは北川武をり戦始まるや青師軍の攻撃好く、兩三度埼玉軍を壓迫したるも、埼玉軍の攻撃勢

- (青) 小 細 矢 梅 橋 大 多 龜 小 新 田
- ▲青師A組 得點零、豊島守三、一、一、一、自由球一、投入二〇
- ▲埼玉師範 得點一、豊島守三、一三、自由球三、投入三一

今日の試合

午前九時半より、十時半迄、豊島師範B組對青山師範B組、同十時半より十一時半迄、横濱二中對佐倉中學校、午後零時半より一時半迄、東京帝大蹴球部對高師B組(候補試合)、午後一時半より二時半迄、一勝零戦、一回、同二時半より三時半迄、一勝零戦、第二回、同三時半より五時迄、セン、シヨセフ、ガレツヤ對高師A組(候補試合)

を得、埼玉軍が茶色のユニホームと青軍の白服と入れ混り中央に聯合軍事數分、埼玉軍は時勢を示し見事なる演敵を爲し、ついで青師軍を壓迫したるに青師軍焦つて犯則し、豊島軍の前方僅か一間の所に於て埼玉軍に自由球を得られたり、即ち青山は全軍を挙げて豊島軍を死守す、埼玉軍の中攻小川敵軍に向つて、遂に踏みしが青山の守備堅くして抜かず再び戦を續けたるが、埼玉軍能く攻め遂に開始後十五分にして中攻小川の敵にて一點を挙げたり、其の以後青山軍奮起し、時時埼玉軍を壓迫せしも成功せず、埼玉軍の守備奮りて更位時をなす、次いで埼玉軍再び青山を突破し、豊島軍を喰止したる事二回に及びたるも、成功せず、青山軍再び奮起して最後の挽回に努め、遂に壯烈なる追兵戦となりたるが、青山軍に連絡を缺き遂に得點なく四時五分、一對客にて埼玉軍の勝利に歸したり

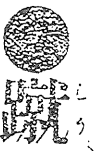
- (青) 相中 伊 安 大 天 香 組 松 兩 澤
- (掘) 谷 島 澤 本 澤 田 谷 川 共 畑
- ▲青師A組 得點零、豊島守三、一、一、一、自由球一、投入二〇
- ▲埼玉師範 得點一、豊島守三、一三、自由球三、投入三一

を待、埼玉軍が茶色のユニホームと青軍の白服と入れ混り中央に聯合軍事數分、埼玉軍は時勢を示し見事なる演敵を爲し、ついで青師軍を壓迫したるに青師軍焦つて犯則し、豊島軍の前方僅か一間の所に於て埼玉軍に自由球を得られたり、即ち青山は全軍を挙げて豊島軍を死守す、埼玉軍の中攻小川敵軍に向つて、遂に踏みしが青山の守備堅くして抜かず再び戦を續けたるが、埼玉軍能く攻め遂に開始後十五分にして中攻小川の敵にて一點を挙げたり、其の以後青山軍奮起し、時時埼玉軍を壓迫せしも成功せず、埼玉軍の守備奮りて更位時をなす、次いで埼玉軍再び青山を突破し、豊島軍を喰止したる事二回に及びたるも、成功せず、青山軍再び奮起して最後の挽回に努め、遂に壯烈なる追兵戦となりたるが、青山軍に連絡を缺き遂に得點なく四時五分、一對客にて埼玉軍の勝利に歸したり

を得、埼玉軍が茶色のユニホームと青軍の白服と入れ混り中央に聯合軍事數分、埼玉軍は時勢を示し見事なる演敵を爲し、ついで青師軍を壓迫したるに青師軍焦つて犯則し、豊島軍の前方僅か一間の所に於て埼玉軍に自由球を得られたり、即ち青山は全軍を挙げて豊島軍を死守す、埼玉軍の中攻小川敵軍に向つて、遂に踏みしが青山の守備堅くして抜かず再び戦を續けたるが、埼玉軍能く攻め遂に開始後十五分にして中攻小川の敵にて一點を挙げたり、其の以後青山軍奮起し、時時埼玉軍を壓迫せしも成功せず、埼玉軍の守備奮りて更位時をなす、次いで埼玉軍再び青山を突破し、豊島軍を喰止したる事二回に及びたるも、成功せず、青山軍再び奮起して最後の挽回に努め、遂に壯烈なる追兵戦となりたるが、青山軍に連絡を缺き遂に得點なく四時五分、一對客にて埼玉軍の勝利に歸したり

を得、埼玉軍が茶色のユニホームと青軍の白服と入れ混り中央に聯合軍事數分、埼玉軍は時勢を示し見事なる演敵を爲し、ついで青師軍を壓迫したるに青師軍焦つて犯則し、豊島軍の前方僅か一間の所に於て埼玉軍に自由球を得られたり、即ち青山は全軍を挙げて豊島軍を死守す、埼玉軍の中攻小川敵軍に向つて、遂に踏みしが青山の守備堅くして抜かず再び戦を續けたるが、埼玉軍能く攻め遂に開始後十五分にして中攻小川の敵にて一點を挙げたり、其の以後青山軍奮起し、時時埼玉軍を壓迫せしも成功せず、埼玉軍の守備奮りて更位時をなす、次いで埼玉軍再び青山を突破し、豊島軍を喰止したる事二回に及びたるも、成功せず、青山軍再び奮起して最後の挽回に努め、遂に壯烈なる追兵戦となりたるが、青山軍に連絡を缺き遂に得點なく四時五分、一對客にて埼玉軍の勝利に歸したり

を得、埼玉軍が茶色のユニホームと青軍の白服と入れ混り中央に聯合軍事數分、埼玉軍は時勢を示し見事なる演敵を爲し、ついで青師軍を壓迫したるに青師軍焦つて犯則し、豊島軍の前方僅か一間の所に於て埼玉軍に自由球を得られたり、即ち青山は全軍を挙げて豊島軍を死守す、埼玉軍の中攻小川敵軍に向つて、遂に踏みしが青山の守備堅くして抜かず再び戦を續けたるが、埼玉軍能く攻め遂に開始後十五分にして中攻小川の敵にて一點を挙げたり、其の以後青山軍奮起し、時時埼玉軍を壓迫せしも成功せず、埼玉軍の守備奮りて更位時をなす、次いで埼玉軍再び青山を突破し、豊島軍を喰止したる事二回に及びたるも、成功せず、青山軍再び奮起して最後の挽回に努め、遂に壯烈なる追兵戦となりたるが、青山軍に連絡を缺き遂に得點なく四時五分、一對客にて埼玉軍の勝利に歸したり



蹴球大會 (第二日)

雨を冒して健児の奮闘 女高師生の見物は一色彩

▲兩若宮殿下 △本日台座

二日は烈しい寒さである、ひたひたの閉じた空からは時々氷のやうな冷たい雨が落ちてくる、それにも拘らず場内は早朝から見物を以て満ちた。第一回青師對豊師、第二回横中對佐倉をへて大對高師の模範試合に入を願

は場内愈々緊張して寒さも冷たさもこの處からは遠のいて了つた、拍手が起る、喚聲が湧く、活氣は活氣を生んで時は知らぬ間に過ぎて行くのであつた、正午頃から女高師の學生數十名が列をなして附屬中學校前に陣取り熱心に見物したのには他の競技には見られぬ光景であつた

▲模範試合に

あり中等學校の壯烈なる決勝戦並に東京アットボール倶楽部(英人)對東京蹴球團の模範試合を台座あらせらる御座定にて会場中央なる附屬中學校上の露臺に御覽席を設け嘉納名譽會長、永井會長以下役員奉迎し天々御説明中上ぐる筈なり

▲一勝者試合

乗權の爲め地下室豊師師範にだけになつたのは残念であつたが、折から雨は幾らか小降りとなり、若い選手等の必死となつて争ひ合ふ状は小獅子の群の狂ふがやう見るからに心が躍る、最後の模範試合は、セントジヨセフ・カレージ

▲不參の爲め

青年團代つて高師のA組に戦ひをいさむ事になつた何れも此道の英雄として、果然日華の大試合は演進せられた、又も降りかかると雨も物は叫ぶもの、拍つもの、踊るもの、場内は朝れかへるばかりの活氣に埋められた、かくて午後五時第二日の試合は終つた

- ▲豊師 得點二、豊守隊三、波瀾一、投入廿、失球三
 - ▲青師 得點二、豊守隊六、櫻井一、頭座一、投入廿三、失球三
 - ▲横濱一、佐倉零
- 午前十時半第二回青師對豊師の試合は豊師の審判の下に佐倉が開始にて開始された、初め横濱方勢が好く豊師を迫り好機を得るも成功せず佐倉寄り返して横濱方守備をさせしめしめ機を逸す、横濱軍再び攻撃を遂げようとして佐倉を襲ひ横濱に最も鋭い一點を擧げたり勢を得た横濱方は追を續けたるが得點なく更位時後横濱方の攻撃強く攻め込みし時ハンドの犯あり自由球を得られ佐倉軍機を得て攻め込みしが得點なく對一零にて横濱の勝利に歸したり

- ▲帝大零、高師二
 - ▲佐倉中、得點零、豊守隊五、櫻井二、自由球一、投入二二
 - ▲帝大零、高師二
- 正午過ぎる頃より大雨漸く降り始め一時五分は模範試合たる帝大蹴球對高師は先攻は佐倉氏フリーの下に高師先攻して開始する帝大の攻撃激しく帝大高師軍を危地に陥らしめしが高師方は練習積み居れる事にて漸次勢を恢復し最後に帝大の疲勞に乘じて大能く防守幾度も大キツクを成して敵軍を阻止せり高師氣を強立、波瀾相呼應して攻め自兵機を演じたも結局兩軍得點なく二時十分閉幕せり

- ▲帝大零、高師二
- ▲高師一方、得點零、守備一三、櫻井七、自由球四、投入二一、失球一
- ▲帝大零、豊守隊八、櫻井三、自由球一、投入二八、失球一
- ▲高師一方、得點零、守備一三、櫻井七、自由球四、投入二一、失球一

▲崎師零、豊師一

二時五十分前自由山A組に敗れる崎師と、午前中青山B組と戦ひ一對二にて抽籤にて勝者となる豊師と組んで戦ふ即ち一勝者となり、フリーは小野田氏は先鋒、玉守なり、時に水面を打ち運動場は水煙を揚ぎ豊師軍の肉弾急にして崎師軍に方々壯烈なる自兵機となれば崎師は怯まざる豊師の牽援を要す、時に豊師方大伴のキック成功して遂に一點を、げり、後半戦に於き崎師軍が攻撃に方々三度守備をなせしめたるを得點なく再び敵方に壓迫され防戦に努めし一局一對零にて豊師組に歸せり

▲本日の試合

- ▲民地方 得點二、豊守隊一五、櫻井二、自由球零、櫻井一、投入二六
 - ▲高師一方 得點一、豊守隊九、櫻井七、自由球零、投入四三
 - ▲豊師A不戰勝 豊師A組對横濱二中の一勝者戦は横濱方棄權し豊師Aの勝となれり
- 午前十一時半より豊師對高師(優勝者決) ▲午後二時半より高師對豊師(優勝者決) ▲同日二時半より東京蹴球俱(英人)對東京蹴球團(模範)等なり

▲中華二、高師一

二日目の最終戦として中華留日青年團を遣へて模範試合を行へり午後四時開始審判は吉川氏、兩軍に探る運動場は壯烈なる自兵機始れり初め高師方巧みなる波瀾を爲し、民團軍を壓迫し開戦十八分に於て豊師のキック成功して先づ一點を、けり然るに民團軍の威力旺盛にして時局を經過するも高師軍に比し疲勞の程度少きも、如く漸次勢を得て高師軍に迫る高師軍亦力戦し見事なる波瀾にて敵軍に迫れるも最後の補力を缺き民團軍に陣守備を演じ返さしめしめなるに民團軍は高師軍の疲勞に乘じ、巧妙なるキックを示し、高師方に迫り遂に相次で高師の門壁を破つて二點を遂に得る所なく五時半二對一にて高師軍の敗となれり

▲民團軍 得點二、豊守隊一五、櫻井二、自由球零、櫻井一、投入二六
▲高師一方 得點一、豊守隊九、櫻井七、自由球零、投入四三
▲豊師A不戰勝 豊師A組對横濱二中の一勝者戦は横濱方棄權し豊師Aの勝となれり
▲本日の試合 午前十一時半より豊師對高師(優勝者決) ▲午後二時半より高師對豊師(優勝者決) ▲同日二時半より東京蹴球俱(英人)對東京蹴球團(模範)等なり

素人の観た

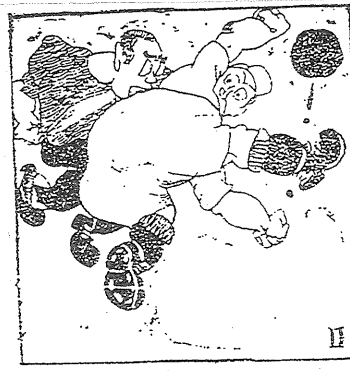
蹴球の驚異◇

(西東大會にて)

T 7-2-11



(一) フット・ボールといふ物だから足許り使ふものと思ひの外、固に合は無くなれば頭で撞く、敵手方は又撞かせまじと頭で妨害に行く、今迄頭は物を考へる場所と心得て居たが、今は頭を撞く道具であつた、して泥球を美事置く程いゝ面汚しになる。



(二) 球を敵手方に取られまじとして、憚りも無く尻を人の顔前へ差出すその、味方の方向へ足で球を蹴り送る、蹴球家は失禮を敢てする程味方に有利を加ふ。



(三) 留日中華民国人蹴球員は腰の鐵番は別説へた、脚で前へ蹴ると同様の能力を横へも後へも與へて居る、腰から下の働きだけ見て支那人の裏表を判断するのは難かしい。

台覧の蹴球

関東蹴球大会決勝日

六殿下台臨おらせらる

壮烈なりし日英蹴球戦

本社後援の関東蹴球大会の最終日本は冷たい灰色の下りたれと連日の寒戦、熱し堪えを繰る観客亦國際蹴球の名に背かず朝鮮支那の學生團、英大使館警官ペンテンク伯爵を初め英國婦人連の一際

鮮やかな色彩

られた、やがて午後一時頃一氣を附けの喇叭響きて學院御製報章の久遠宮邦久王、同邦英王、山階宮藤王、同秋親王、同芳親王、竹山宮、恒徳王の六殿下が會長御先導にて御臨場遊ばされた、此時恰も試合前の朝鮮青年團高師の各選手は運動場に整列してお迎へ申上げ、總て用意の

呼笛高く響

宮殿下には附屬中學カ副上の露臺に出でさせられ兩軍の旗振振を御覧おらせられ祝進むに連れ何時しか御席に起り上り欄干に打立させられつつ御論決けに御覧遊ばした、一番お小さい久遠宮邦英王殿下は野猪の如く球に向つた選手等が頭でポーンポーン響かせしを其度毎に御笑ひ遊ばした、他の若宮方もキツク見事に成功して敵近く迫る毎に眞白き

御手套の盡

てお寒めになる。愈々尾の壯觀たる入り、再び安堵のキツクにて一點を得

東京蹴球對英人の東京蹴球俱樂部試合に移るに際し各選手を熱心に御覧遊ばされた、兩軍の聲援は風の聲に起り、愈々後半に近づつて日本方は風、敵陣近く肉薄しては失敗する「惜しいな」新臺上では殿下方も足指りをして残念がられる、球は時々高く高く球場附近に飛躍する時進むにつれて各官殿下の

御興も一層

た、此時會長から本社夏展班が先程御覧した各殿下御親政の意義其他數語を御製決定したので殊に御興高く御満足の御様子に拜せられた、斯くて競技は英人軍の勝利に終り各殿下には午後四時半總名譽會長永井會長初め日英選手其他學生團の諸君なる奉送御に御禮遊ばし御興遊ばされた

豊島組優勝

A B二組を出場せしめたる豊島組は兩組共に二勝を得て三日の優勝は之が豊島組の勝つて午後十時増分フーリ吉川氏の呼笛を合點しBの先頭す△△組は終始B組を壓し常にBのサイドにて行はれ、Aが攻め入てB組に十四回の堅守をなせしめたるにBは僅か一回の堅守をなせしめたるに遂にAが攻め入る幸十五回目にて安堵のキツク成功して一點を奪つて後半

入り、再び安堵のキツクにて一點を得B組は二點を奪つてタイムとなり

A) 水塚兄野東麻野松田町
B) 清原星河市菅三岩安忍慈
C) 川宮津田村野塚崎區城伴
D) 木四天野西星菅野守熊大

高師六朝鮮奪

高師對朝鮮青年團の練習試合は午後一時半北川氏のフエローにて開始△開始後二十分許に朝鮮軍勢に高師を壓迫し敵度門に肉薄せるも成功せず高師漸次勢を得大久保のキツクにて最初の一點を奪つ高師攻撃し巧みに敵陣を突けて大久保頭陣にて堅守を破り一點を奪つ、次いで師軍の大久保ハンドして朝鮮に自由陣を得られし事も事なか後半に移る△高師方兩度突進され危かりしが高師方主將竹内が中央線邊より爲せる大キツクにて朝鮮軍を壓迫せし朝鮮軍に反罵あり高師方自由陣を得竹内キツクせし朝鮮軍死守し入れず高師高師方優勢にて攻撃鋭く遂に海井のキツクにて三點を得る△朝鮮軍攻め惑のキツク成功したる如く見ゆるもアワトとなる△高師方攻撃を頑く大久保の頭陣にて一點を加へ續いて佐々木のキツクにて五點を奪ふ△朝鮮軍更に敵陣を得海井の頭陣を大久保佐々木頭陣を列へて押し込みて一點を奪つ三點頭陣せり

外人四、東京一

蹴球大会の優勝たる東京蹴球俱樂部の外人選手主體の東京蹴球の活躍試合は豊島組の先頭蹴球技委員長内野白雲

氏の審判にて三時より開始△初め外人方壓迫され敵陣堅守陣を爲せしる山崎のキツク功を奏して一點を奪つ△外人方攻撃を緩め敵陣を爲しつゝ進みフツターのキツクとキチキチのキツクにて二點を奪つ△外人更らに攻め突門前にてスパウターマン手を用ひて反則して高師に自由陣を得る△後半休憩△次言に高師一回宛の好機ありたる後陣方速攻して進みしに外人方にて反則あり自由陣を得るや安堵見事なるキツクにて外人方の左内攻スパウターマン巧みなる走運しつゝ両方のミスに乗じて敵陣に進みて一點を奪つ△又外方人のスパウターマンが敵陣を受けて突門に突ればフツク子を受けて球諸共突門を突破して更に一點を加ふ△高師方に三回好機ありし後外人方攻入りしがオフサイドとなる△最後後半陣得点なく四對二にて四分掛分閉戦せり

蹴球勳章

外人方 得点四、豊島組一五、豊島組七
豊島組 得点四、豊島組一五、豊島組七
外人方 得点四、豊島組一五、豊島組七
豊島組 得点四、豊島組一五、豊島組七

嘉納名譽會長談

三日間の蹴球大会が盛大に終了したるに就き各選手會長長尾清五郎氏は曰く「蹴球の古きを學ぶしたのは我々蹴球の爲めに非常な光榮でありし事が總會の爲りて多幸がが味進して居た蹴球の歴史になる事は誠に好い大進歩であります今日の本大会が好の盛況を見たのは昨日新聞の後に於て充分な所がある」

運動界

日英蹴球戦 来る廿三日午後二時より市外池袋豊島師範運動場に於て東京蹴球團對豊島師範同三時より蹴球團對東京俱樂部(英人團)の蹴球試合を行ふ由

T7-2-17

外人對豊師蹴球

公使館員を中心とする外人團との同試合は廿一日午後三時十五分より師範校庭にて開始試合時間一時間十五分五分一にて外人方の勝利となれり

運動界

本日の蹴球戦 午後一時より市外池袋豊島運動場に於て東京蹴球團對豊師△同三時より東京蹴球團對英人俱樂部の蹴球試合あり

T7-2-23

T7-2-22

關東選手練習會

昨日雨の爲延期となりたり第二回練習會は本日午後正一時より帝大運動場にて舉行すべく尙本日雨天の際には四月三日の大祭日に延期すべし

八高蹴球部の東征

八高蹴球部選手は今三十一日朝着京し左の日程にて帝都各蹴球團と挑戦する事に決定せり△四月一日午後四時より對東京蹴球團(豊師校庭)△三日午後三時より對東京英人團(同上)△四日午後二時より對朝鮮青年會(高師校庭)

T7-3-31

運動界

八高遠征軍敗る

昨日の蹴球戦

東上遠征せる八高對東京蹴球團の蹴球戦は一日午後池袋豊師運動場に於て舉行せり試合は吉川氏のレフエリ一八高軍の先蹴に戦端を開き八高方敵壘近く迫りしも忽ち形勢一變し東京方攻勢となり先隅蹴を得開始後十分にして右外攻の原島敵壘を蹴破し一點を收めたり八高方は聲援に奮起し屢々機會を獲て肉迫せしも點を作さず常に東京軍に壓迫され原島的好蹴と壘守失に東京一點を加へたり、後半戦に入るや八高軍速に蹴起し頗る優勢を示し二回の隅蹴を得て敵壘に殺到す梁木上に陣せる應援隊は「肉弾で突破せよ」と激勵し八高軍此處ぞと奮戦せしも東京方亦死守し一大白兵戦となる閉戦十分前東京方は鮮かなるパスと走運とに依りて壘前に迫り原島の頭弾を小野田壘前に受けて好蹴更に一點を收め八高軍遂に得點なく三對零にて東京方の勝利に歸し六時十五分閉戦せり、八高軍の敗因は聯絡の缺陷に依るものゝ如く是が爲機會を逸せし事頗る多く又走運に於ても考慮を要す可く常に大きくキックして運ぶ爲め蹴る球を敵に奪はるゝを見受たり

T7-4-2

T7.6.4

キックは却々正確にして殊に頭弾の應用の如きは頗る見る可きものあり、八高軍今次の東上は試験の終了を俟つて直に上京せし爲め練習を缺きたるも技術以外に敗因の一大原因と云ふ可し兩軍の成績左の如し(試合時間一時三十分)

(東京) 山田田林比田島 田崎町
栗内山若由村原 小山鶴
▲得點三、壘守蹴廿三、隅蹴五、投入四十六八

(八高) 内柳野川中瀬石訪岡島永
▲得點零、壘守蹴卅四、隅蹴四、投入卅七

遠征東上

蹴球部は東京英人團に挑戦を申込んで二時四十分レフエリ内野氏の呼笛を合圖に戦闘を開始し西軍一進一退の形勢で球を逐つて輪贏を競つた祭日の東都運動界の花は今や一時に咲いた感がある

T7-4-4

朝日新聞社編 七年野球年鑑

倉田白羊齋伯裝頓、三六版裝頓クロース美本寫眞版四十八頁記事三百六十頁定價金四十五錢郵稅各地金六錢

本邦運動界の權威にして無二の指圖たる野球年鑑第三號は出でたり、本書所載の研究記事は、悉く野球一流の筆になり、各競技の記録は益々正確にして不偏、最新野球規則は徹に入り細を極め、既に本邦野球競技界の標準となれり、陸上競技規則また斯道のオーソリテーターたるに加へて、本年度は更にア式蹴球、競泳、バスケット球、バレー球の規則をも載せ、眞に運動家必携の書たる面目を發揮するに至れり

關東(神岡富山) 一手販賣 北陸館
東京市京橋區元數寄屋町三丁目
振替口座東京七五〇番

大正8年

第一回關東蹴球大會

昨春二月東京蹴球王權本社後援の下に第一回關東蹴球大會開かれし以來都下に於ける蹴球熱は勃然として起り學校運動場には又公園グラウンドに夫等健兒が活躍する雄姿漸く其多きを加ふ、今や同競技は野球競技の夫れに如く我運動界に蹴球時代てふ一新紀元を劃さんとするの機運に到達せり此時に方我東京蹴球壇は來る二月上旬を期し其第二回を高師校庭に於て舉行し彌々益々同競技の發達を促さん

模範蹴球試合

一、開期 二月上旬

二、會場 東京高等師範學校校庭

附記大會事務に關する照會は東京高等師範學校内蹴球部宛の事

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

蹴球大會

舉行期日

役員決定す

第一回關東蹴球大會は其後者々準備中なるが其期日及び大會役員左の如く決定せり

一、期日 來二月八(土曜)九日(曜)十一日(紀元節)

一、役員

名譽會長 高師校長日 嘉納治五郎氏
本體育會長

會長 高師教授東 永井 道明氏
京蹴球團長

贊助員 英國大使館 本チンガ氏
書記官伯爵 兒島獻太郎氏
高師蹴球部長 可兒 德氏
高師教授 テビ ス氏
英國大使館員 ロスコ 氏

顧問 高師教授 峰岸 米造氏
青師校長 瀧澤菊太郎氏
豐師校長 御園生金太郎氏
高師講師 遠山 鐵治氏
東京蹴球團員 ヘー グ氏
マレーン 氏
同 パンクニ 氏

委員 高師講師 内野 台敬氏
審判主任 附中教諭 北川久五郎氏
審判員 A 内野北川、竹内野崎、

審判員 B 澤、木本、八木諸氏

ア式蹴球

競技の精神

高師蹴球部主將 竹内廣三郎氏談
凡て競技運動はその團體的たるを個人的人たるを問はず各その長所を有して體育上有効なるものであることは今更喋々するまでもない併しその

運動量の 優れて居る點に於てその輕微を要するその少い點に於て教育上に於ても頗る有効なることア式蹴球に如くものはあるまいと

信ずる、彼の「サオーター」の戦ひの勝因はイトンの運動場によりて鐵で英國國技たるこの蹴球によつて鐵へた體育が戰勝の原因といふ事を認められたのである、蹴球は何人にも出来る方法も簡單であつて殊に冬季嚴寒の時に唯一の運動である、精神的方面から見ても他競技以上に美しい

の如何によるのである、かく協力一級の動作を必要とする性質から不知識の間に大切なる共同心を養成する事は理の當然である、蹴球は團體のためには、自己を犠牲にする必要場合がある、是等も共同的精神を養つる一助であるといふ、若しこれモーションやホルのキヤリングやパスに於て分秒を争はざるを得ざるは明敏果斷等の性格を作り攻撃

より

進取邁進 の性格を興へ防禦により用意周到着實堅忍等處世上も大切なる性格の基礎となり向來ノ褒詞の中に於ても斷々乎として所信を實行する有益な精神を喚起することが出来るのである、かく種々の長を有する蹴球が何故我國に廣く行はれないかは寧ろ不思議に思つて居るが、極東大會の芝浦以來漸く蹴球熱が高くなり、次で東京朝日の後援で關東大會の第一回を高師校庭で開催してからは目下小中學にも及ばし追々隆盛に趨くに至つたのは誠に慶賀に堪へぬ。

東京市眞砂 渡邊 年氏
小學校長
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

東京市大正 大瀧 正寛氏
小學校訓導
係員 水七、田村、伊藤(慎)、藤井(鐵)庭屋、内田、山崎、山田、小林、吉田、諸氏

東京市 吉川進次郎氏
豐師校長
係員 豐崎、山本、隆、北川、藤本、安藤、藤、森(梯)、林、村田、岡村、小澤、土居、杉本諸氏

東京市 佐々木、小野田、原島、藤井諸氏
龜山、山本、田淵、泉谷、和田、生田、市東、三田野、清水、下村、村井、朝倉、林、矢野諸氏

東京市 豊師教諭 吉川進次郎氏
豐師校長 山本、隆、北川、藤本、安藤、藤、森(梯)、林、村田、岡村、小澤、土居、杉本諸氏

東京市 小學校長 渡邊 年氏
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

東京市 小學校長 渡邊 年氏
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

東京市 小學校長 渡邊 年氏
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

東京市 小學校長 渡邊 年氏
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

東京市 小學校長 渡邊 年氏
係員 川合、清水(柳)稻垣、吉比蘇、原、栗山、大木、伊藤、若林、松尾、岡澤、木本、八木諸氏

T8-1-27

T8-1-7&16

T8.1.26

◆期日 二月八、九、十一日

東京蹴球團主催の第二回關東蹴球大會は、愈來る二月八、九、十一日の三日間東京高師校庭に於て開かるべく今日迄參加確定せるチーム八校の多きを算せり

第二回關東蹴球大會

而して有試合優勝者に對しては、本年より特に制定せ、優勝旗を授與し、模範試合は前回の如く斯界の強チーム高師、東京蹴球團、帝大、朝鮮、支那、英人等の數組を行ふ

◆會場 東京高等師範運動場

蹴球大會愈迫る

各選手の練習猛烈

◆優勝試合參加の八チーム◆

東京蹴球團主催、本社後援の關東蹴球大會は、愈來る八(七、九)日

十一(紀元節)の三日間豪雨に非ざる限り東京高等師範校庭に於て開かるゝ筈なるが參加八チームの選手は日一日と迫る晴の舞臺を胸に描きつゝ連日猛烈なる練習を續け

T 8. 2. 5

吾れこそ今年の

◆榮冠を 贏ち得んもの◆

意氣頗る軒昂、即ち其第一日なる八日は午後一時より參加八校及模範試合參加八チーム選手百六十餘名の入場式を行ひそれより其勢頭

試合たる第一戰の幕は開かるべく、參加決定せる優勝試合及模範試合の參加チーム外に優勝試合規定は左の如し

◆中等優勝試合規定

- 一、競技時間は總て一時間とす、但し優勝試合に限り九十分とす
- 二、競技には補欠選手の出場を許さず
- 三、規定の競技時間内に勝敗決せず引合試合となりたる場合は抽籤を以て勝者を定む、但し優勝試合に限り廿分間を延長し猶勝敗決せざる場合は引分を宣言す
- 四、試合時間迄に來場せざるチームは棄權と見做し相手方チームを勝者と認む
- 五、競技規定は極東體育協會蹴球規程に依る

◆優勝試合チーム

成城中學、埼玉師範、豊島師範、青山師範、佐倉中學、廣瀨第二中學、明治學院中學部、獨逸協會中學

◆模範試合チーム

東京帝國大學、東京高等師範學校、東京蹴球俱樂部(英人)、朝鮮青年團、中華留日學生團、東京蹴球團

◆番外試合チーム

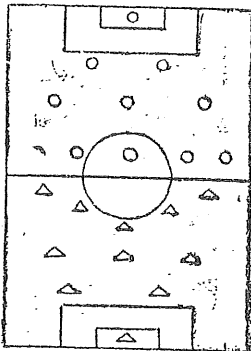
東京高等師範第二選手、豊島師範第二選手

蹴球を見る 人の爲に

東京高等師範学校講師
關東蹴球大會競技委員長
(上) 内野台領氏談

此度愈朝日新聞社後援の下に第二回關東蹴球大會を開催することになつたが、之を昨年比に於ける第一回の大會當時に比べると、可成りの發展進歩を示してゐる。即ち其の参加すべきチームも、昨年に比し中等學校に於て既に數校の多きを加へ、其他の團體チームに於ても、是亦二つ乃至三つを増してゐる。之に加ふるに昨年第一回を舉行の節、台領を添へたる各宮様からの御下賜金を基本として制定した優勝旗も、今年立派に出来上つて居り、旁今年度の大會は昨年のそれに比

して一層の盛觀を呈することだらうと今から豫測して楽しんで居る次第である。
こんな譯で、ア式蹴球は一年と盛運に向つて來たもの、何と云つてもまだ野球のやうには一般に普及(競技場と競技者配置)



して居らない。従つて之を觀ても、規則に通じない人が大分多からうと思はれるので、極めて大體の説明をして置いた方が此の際適當な處置と思はれる。ア式蹴球に於ては、大體上圖に示したやうな縦六十間、横

四十間(此の長さは多少短縮してもかまはない)の競技場を要し、又競技をする爲に双方十一人宛の競技者を要する。(上圖に於ける△と○は其の敵味方を表す)

先づ双方の主將が拳をして勝つた方が自由陣地を擇ぶ。そして上圖の如く陣形を整ふ。(上圖は○の方から蹴始める陣形である。)球を真中に置いて拳に負けた方から蹴始める。そして夫々兩陣地の後方にある門壘鳥居形をした門に向つて球を蹴込むべく、戦團が開始されるのだが、一度球を蹴たが最後直に兩軍入れ亂れての混戦となる。但し此の競技の原則として、門將(ゴールの下に立つて球のゴールに入るを防ぐ者)の外は一切球に手を觸れることを許されておない(無意識に觸れた場合は此の限りにあらず)尤も手以外の部分ならば足は勿論胸でも腹でも頭でも一向におかまひなしであつて、上手な選手などになると飛んで來る球を頭で受け、又頭で之を味方に送り渡すやうな珍妙な藝を下手な足以上にやる。それが若し禁じられてゐる手にても球が觸れようものなら忽ち反則として敵に自由蹴(反則した場所)に球を置いて敵が自由に之を蹴ることを取られる。又手に球が觸れた場合で無くても、故意に敵を押し倒したり敵が球を持つても居らぬのにわざと其行動を邪魔したり、敵の陣地に敵が三人以上居らぬのに、豫め拔驅をして深入をし、味方から送つて來た球を竊に受けたりした場合には同様に反則として敵に自由蹴をされる。

大會を控へて

身を切る寒さを物ともせず
高師運動場で猛烈な練習振
優勝の模範試合の組合

愈々大會が間一日と迫つた會場の
高師運動場は何となく活氣立つて
居る、斯界の權威者たる高師、東京
蹴球團の連中は素より参加チム
たる成城、獨協の二中等は今年初
めて此會舞臺に立つ

▽悦しさ やら不安やら

でグラウンドの見物を兼ねて練習
に行つて来る、殊に獨協の連中な
きは金栗御大の引率で練込んだ上
頬を切るかと思はれる彼の寒さを
物ともせずに制服一枚で跳廻つて
居る、見物人が深へ上つて居るの
に選手達は何時の間にか薄りこ汗
をかいて氣持宜さうに艶々とし
た顔を見物に向けて「矢張運動に
限るね」なごい羨ましさうな聲を
出す者もある、斯うして大會を眼
前に控へた五日の

▽同會場 は靜かに

闇に包まれて行つた、因に八日か
ら舉行される優勝試合の模範試合
の組合は左の通りである

◇八日(土曜) 午後一時廿分より
二時廿分迄(優勝試合)

(青山師範
明治學院
同二時廿分より三時廿分迄(同上)
豊島師範
埼玉師範

同三時二十分より四時廿分迄(模範
試合)

(東京帝國大學
朝鮮青年團

◇九日(日曜) 午前十時より十一
時迄(優勝試合)

(獨逸協會中學
成城中學
同十一時より十二時迄(同上)
横濱第二中學
佐倉中學

午後一時より二時迄(優勝試合)
(前日第一勝者戦
同二時より三時迄(模範試合)
高等師範
東京蹴球團

同三時より四時迄(優勝試合)
(同日第一勝者戦
同十一日(紀元節)午前十時より
十一時迄(番外試合)
高等師範第一選手
豊師第一選手

同十一時より十二時迄(模範試合)
(横濱外人
高等師範
午後一時より二時迄(同上)
(中華留日學生
東京蹴球俱樂部
同二時半より四時迄
優勝試合)

同二時半より四時迄
優勝試合

T 8. 2. 7

蹴球大會——愈明日

入場式は午後一時——新調の優勝旗——大會の序幕戦

第二回關東蹴球大會は豪雨に非ざる限り愈明日午後一時二十分より高師校庭に於て開かる。管なるが當日午後一時を期し優勝試合参加八校チーム及模範競技参加の

▽各團體 選手百七十餘

名は何れも各自定められたる制服に身を固め陸軍戸山學校軍樂隊の奏する行進曲と共に入場式を行ひ右終つて會長始球式あり直に大會序幕戦は開かる而して右の順序は大會委員を先頭に昨年優勝の榮譽を荷へる豊島師範A組、優勝旗

蹴球大會は明日

藤井高師のキツ
クミ大会の優勝旗



（本年制定）高島屋にて調製したもにて長さ三尺、幅一尺、矛形中央に東京蹴球團の團章を附すを手にして之に續き以下七校、七團體（横濱外人新参加）の選手列を

正して 校庭を 一周し場の中

中央に整列、會長の挨拶ありたる後優勝旗の返還式を行ひそれより青山師範對明治學院中學部の試合に移る管、入場式の時間は約二十分の豫定なれば試合は午後正一時二十分より開始さるべく尙大會中一般観覧者の入場は隨意なり

今日の蹴球大會

面目を一新して

美装したる大會會場

午後一時を合圖に肉を

躍らす大爭霸戰の開始

日本蹴球史の一異彩とも謂ふべき
第一回關東蹴球大會は、愈々今日
午後二時二十分を以て城北高師運
動場に開始さるべし、大會會場た
る入口には源平卷のアーチを立て
其中央には關東蹴球大會と

▽大書せる 墨痕鮮かな
扁額を掲げ其兩袖には紅白の幔
幕を廻らし來賓席を東側に一般觀
覽席を南西面に設けフィールドの南
北には美装せるゴールポスト、鮮

やかなる白線の内隅には東京蹴球
團の紫色國旗を立つる等本年の大
會會場は更に面目を一新せり而し

今日のプログラムは二百に垂ん
て當日の参加選手の入場式に依つて
始まり、帝大對朝鮮青年團の模範試
合に終る本日の試合左の如し

本日の番組

青島師範	午後一時廿分
豊島師範	同 二時廿分
東京帝大	同 三時廿分
朝鮮青年團	同

参加中學と

其のメンバー

向参加中學のメンバーは左の如く
にして位置は、守、右衛、左衛、
右翼、中堅、左翼、右外攻、中攻、左
内攻、左外攻の順なり

- ▲明治學院 鈴木、吳、安、遠藤
- 元、手島、山田、趙、安藤、權島、也
- ▲豊島師範 青木、西村、星野、野
- 田、守家、渡岡、菅家、押田、狐塚、守
- 寺、編町
- ▲横濱二中 吉澤、井出、添田、平
- 野、中野、石井、室原、佐原、池谷、渡
- 邊、吉田
- ▲埼玉師範 坪井、橋本、小堀、矢
- 島、高島、細谷、相馬、淺見、阪本、四
- 方出、八田
- ▲獨協中學 黒河内、金澤、岩下、
- 山崎、高原、酒井、三宅、鈴木、西村、
- 杉野、北渡
- ▲成城中學 吉岡、野田、中田、櫻
- 井、西山、淺田、小池、廣澤、横田、永
- 岡、北村
- ▲青山師範 愛原、綠川、上野、内
- 山、當麻、大橋、松本、峰岸、松井、和
- 田、菅田
- ▲佐倉中學 未定

雪を蹴つて奮戦

蹴球大會の第一日

百數十名の選手が

華やかなる入場式

第一回關東蹴球大會の記録は降りしきる雪に參加選手百數十名の入場式に依つて其第一頁を綴られる朝から怪しかつた八日の空は十一時頃から雪を呼んで高師運動場は忽ち雪の中に封じ籠められて仕舞ふ午後の一時、シンシなつたフィールドの中に行進曲の旋律が稍急調に流れ始める、百数十名の參加選手が會場に練込んで來たのだ

青師三明治零

當日の序幕戦たる青山師範對明治學院の試合はレフエリ藤井氏の號笛によりて青山のキツクオフに始る時に午後二時明治方最初攻勢に出で敵陣に肉薄したるもオフサイドさるかくて兩軍又フィールドに蹴り合ふ事數分果敢青師方攻勢に轉じ常に勝味ある進路を取りつつ敵陣深く突入、中堅松井の長蹴見事敵壘を破りて劈頭一點を擧ぐ以後青師方は絶えず攻勢を持ち敵陣を攪亂し敵をして策を施すの術なからしめしが青師方に二回のオフサイドありしは状況上已むを得ざる事といふべし前半戦を終るや兩軍は雪の上を憩ひて蜜柑に咽喉を濡し直ちに後半戦に入り陣位を替へて兩軍奮戦激闘一進一退の状態を呈するも青師方は慎重なる態度を以て容易に敵に隙を突かしめず之に引代へ明治方は前半の一點を挽回せんと頗る焦慮の氣味にて而も敵の襲來を恐れて門壘を固め壘を出でず遂に青師方をして又一點更に松井の一蹴によりて三對零の勝負を作らしむ(一時間)

優勝旗を手にした

豊師の選手 紺白段々の明治學院、藍の埼玉師範、黄色の獨協、黄白縫分の青山師範、蝦蟇の青師、眞白な雪の上に種々な色を點綴して行く、奏樂の音がぱたり止むとフィールドの中央に永井會長は毅然と立つて、簡単な訓示を選手に與へ大喝采裡に優勝旗の返還式行はれがる、斯くて程なく永井會長の始球式で青師對明治の戦ひは開かれた右に左に

入り亂れ

選手の上

(青師) 原川野山麻橋本岸井田田
愛縁上内當大松峰松和菅
木 藤 島田 藤島
吳安 元 趙 屯
鈴 達 手山 安輝

豊師五埼玉零

昨年二對一にて惜しき敗れを取りたる埼玉師範は今年こそと雪辱の意固く皆を決して豊師を相邀ふ野崎氏レフエリ、試合は三時豊師方のキツクオフによりて開始さる呼笛一聲フィールドに鳴り響くや埼玉方は一舉して敵陣を陥れんと勢猛に門壘に迫りしかを豊師方能く喰止め忽ちにして頹勢を挽回し敵壘近く殺倒せりと見る間に左翼鶴町長蹴を試み先づ敵陣を奪ふ埼玉の壘守大に驚き狼狽して受損じたる所を中堅狐塚機速すべからずと爲し力を節めたる一蹴能く敵壘を貫きて一點を先取す豊師の追撃愈々急にして埼玉方厥々危地に瀕せしが又能く防ぎて遂に入れずハーフタイムとなる斯くて休憩の後後半戦に入るや埼玉逆襲の勢を以て猛烈に敵陣を突き進守を驚かせしが豊師又復攻勢に轉じ中堅狐塚のキツク効を奏して一點を加へ門壘近くに難關を重ぬ其時豊師方見事なるキツクを見せ埼玉の門壘あはや陥落と見せしも壘守固一髪に蹴返して事なきを得たれど豊師益々猛烈に而も能く聯絡を保ち更に三點を加へてタイムとなる(時間一時間)

(高) 青市星野守渡菅神狐守鶴
井本堀島島合馬見本田田
坪橋小矢高細相淺坂四八

◇本日の試合 今日九日は雨が降らない限り(降雪は差支なし)午前九時から左の試合を續行する
(獨對成城) (横濱) 二中村安倉
(青師對豊師) (一勝者) 同日一勝者戦

宛ら沼地の戦ひ

蹴球大會の第二日

天は晴たり甚い雪解 決勝戦は愈明十一日

蹴球大會の二日目なる九日の空は美しく霽れた、午前中の試合は雪が深くつて蹴るにも走るにも困難が深かつたが午後になつてからは雪が解け始めて沼地の戦ひを見るやうな感じがあつた、成城に負け

た獨協の佐藤は如何にも男らしいと言ふので大分方々から賞讃の聲があつた、横濱は佐倉の戦ひは何處迄も幸運に支配され、青師と豊師の戦ひは

があつた最後の成城對佐倉は元氣比で結局技術の勝つた方が決勝戦参加の榮譽を荷つたのだが決勝戦たる青師對佐倉の試合は十一日紀元節の午後、師校庭で開かれる

ならずとの噂あれと思ひしより巧い處あり、戦ひ開かるゝや成城は一氣にゴールに迫りて猛烈に攻撃を加へたりしが獨協も死力を盡して防戦しベナルデーア附近にて蹴り合ふ事數次成城巧みに好蹴し一點を收め更にベナルデーアキックを奏し又一點を加ふ斯くて成城は絶えず獨協を壓迫し前半戦に於て早くも四點を占め後半戦に入りて又もや一點を入れ遂に五對零を以て初陣の功名を成す成城横田の活躍振り當日目覚ましきもの一人なるベシ(一時間)

△機先を制された傾き

倉盛返して彼の門壘を迫るや壘守スリーステップをなし佐倉にベナルデーキックを得せしめ而も一點を奪取せらる横濱方稍氣を落したるに反し佐倉頭に元氣を加へ息も吐かせず更に一點を加へて後半戦に入る横濱方一點を恢復せんと猛然として起ち力闘之れ努めたるも一進一退容易に得點するに至らず遂に二對一を以て横濱方の敗戦に歸す佐倉は前年の敗辱を雪ぎたる譯なるも技術に於ては横濱方一段と優れ佐倉は唯壘守の巧妙なる元氣に依りて此勝を得しのみ(一時間)

△機先を制された傾き

長嶋一番爲すあらんと思はれしも入れず後半戦亦青師松井の長蹴門壘を破る所となり三對零の記録を以て豊師遂に敗戦し終れり(一時間)

高師 山崎倉本崎本内村谷澤井 龜野朝山豊佐竹田泉山藤 山島川伴東氷川川田田水 高師 小原木大市吉北吉内山清

1は頗る鮮かなものなり(一時間)

高師一東京零 東京蹴球會對高等師範の模範試合は午後二時より趙氏のレフエリに依り開始せらる東京方キックオフにフィロドにて争ひしが高師方幾何ならずして敵陣に迫り東京方左はせさじと防戦是れ努むれど東京方キックの方向を誤り却て敵の陣一點を獻す、高師方追撃を緩めず敵陣近く殺到して揉み合ふ又數次衝きて又一點を加ふ高師方凱歌を擧げる事頻りなり東京方之れに概し捲土重來の勢を以て敵壘を陥れんとしたるも好機を逸する事二度にして遂に成す無く後半戦は一進一退兩軍惡戦苦闘を續たるも其後得點なく二對零の接戦にて東京方敗る高師の藤井東京方清水のブレ

▲佐倉一成城零 午前一勝せる佐倉と成城は午後三時小野田氏のレフエリにて戦ひ開始す成城は例の成城スピットを遺憾なく發揮し敵頭徹尾元氣を以て終結し技術優秀なる佐倉に對して飽迄對抗しフィロドの中を縦横十文字に駆け廻る彼れ退けば我之を逐ひ勝敗容易に決すべくもあらず斯くて前半戦を終り休憩後位置を換へて戦に入るや又もや同様の状態を續りゲームは延長さるべく思はれしがタイム五分前に至り猛烈に肉薄したる佐倉方先づ一點を收めて勝名乗を奪ひ成城は唯キックのみ氣を奪はれてチームの連絡なく佐倉の勝は先づ當然のことならんも成城の意氣は大に壯とすべし(一時間)

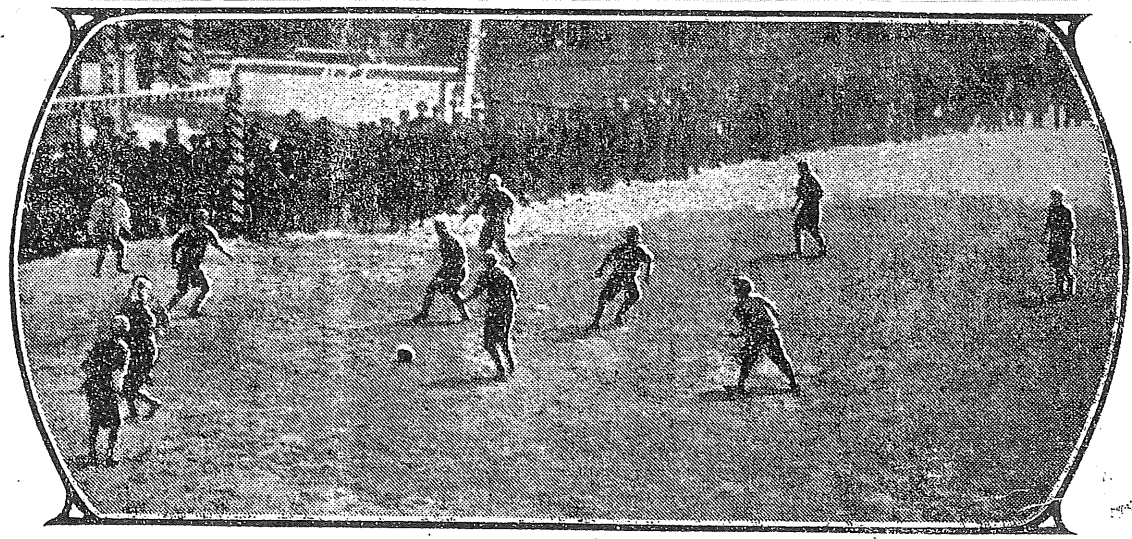
青師 愛縁上内當大松峰松和菅 木村野田家間谷押狐寺町 豊師 青西星野守渡菅田塚守鶴

成城 岡田田井山田池澤田岡村 吉野中櫻西淺小廣横永北

※ 蹴球大会の模様

蹴球大会第二日

高師對東京蹴球の模範試合



本日の決勝戦

第二回關東蹴球大会

本日午後一時半より高師校庭に於て參加八校の優勝チームたる

(青山師範 佐倉中學)

の蹴球決勝試合を行ふ筈であるが午前九時半より青師及豊島第二選手、横濱外人對高師、午後二時半より日華留學生對英國人の模範試合を行ふ

T 8 - 2 - 11

あをやまし 青山師範優勝す

蹴球大會の決勝日

熱狂せる双方の應援

第二回關東蹴球大會の決勝戦は昨日の紀元節を以て行はれた、中學の雄佐倉師範の覇者青山の顔合はせ！それは

▽單なる 決勝試合し

ての外に餘程の興味を繋いで居た道の悪い高師の運動場も朝の中から悉く人で埋まり兎もすればライン内に見物が溢れたり散らばつたりした、愈戦が始まつて孰方が勝とも判らなくなるに青山師範の應援團は熱狂して聲をかぎりに青い小旗を打振り、一般見物人は亦佐倉に聲援して

▽場内は ワツ／＼と動

搖めき立つた、僅か二對零と言ふ際さいスコアで勝つた青山

方は永井會長から名譽ある優勝旗を授與されて場内を大きく一周した上、應援團に圍まれながら嬉しさうに引揚げて行つた

豊師三、青師零

豊師青山第二選手試合は午前十一時藤井氏のレフエリ、青山方のキツクオフにて開始豊師敵陣に肉薄したるもオフサイドを取らる青師逆襲してコーナーキックを得しも入れず豊師復もや攻撃に轉じ敵陣を威かす事甚急されど好機逸する事二度三度して初め一點を挙げり豊師積勢を挽回し爲すて成らず後半戦兩軍共奮戦力闘豊師巧みに敵、虚を衝いて二點を加へ三對零にて前日第一選手の譽を報せり(一時間)

青師二、佐倉零

午後一時三十分野崎氏のレフエリに依りて青師對佐倉の決勝戦は開かる四圍に陣取りたる兩軍の

聲援頗る猛烈にして兩軍選手亦戦はざるは背は裂けたり戦雲漠々天日爲に晦し試合は青山方のキツクオフに依りて開始せられ一進一退兩軍互に怯まず青山肉薄して長蹴すれば佐倉克く之を防ぎ或はヘツザンノ或はドリブルに兩軍屢々得點の機會を得たるも守備巧みにして門壁を破る能はず青師の應援青旗を翻して熱狂す此時青師の和田巧みに長蹴彼れに迫りたるも佐倉の壘守克く之を止め一蹴敵をして後退せしむ佐倉亦美事なるパスを見せ敵壘に迫る事二度壘を抜かんとして惜しき所に撃退せらる戦士の胸中察すべし斯くて戦鬪愈耐ならんとする時呼笛一聲ハーフタイムとなり五分間休憩の後位置を變へて佐倉のキツクに後半戦は開かる即ち青師方勢頗る猛に佐倉を攻立てつ、敵陣に迫るや松井のパス和田克く之を受けてヘツザンクしたれど効なく危き所に佐倉積勢を挽回す青師亦敵陣に迫る事幾度佐倉危く見ゆしが壘守林敏捷にして克く之を撃攘すされど青山方の連絡頗る長く松井の短蹴にて美事一點を得佐倉憤然として立ちコーナーキックを得たれども爲すなく青山の急追を受けて復た一點を占取せらる斯くて佐倉掉尾の勇を振ひ彼れを追付けたれど遂に得點なく二對零を以て本年の優勝權は青師の獲取る所となる(一時間半)

東京三、中華三

模範試合中の呼物たる東京蹴球俱樂部(英國人)對中華在留團の試合は竹内氏のレフエリ中華方のキツクオフに依りて開始せらる兩軍共流石本邦在留の最強チームとてキツクのパスにて妙技を見せたるが東京方は巧みに連絡を保ちて進み先づ一點を獲得中焦急つて此一點を挽回せんとせしが及ばず東京の右外攻虚を衝いての好蹴復た一點を奪取す數分にして中華方右より進み中攻、好蹴一點を挽回し更に復た一點を加へて兩軍同一となりハーフタイムとなる後半戦に入るや兩軍又も痛快なるキツクパスを示しつ、英軍先づ一點を入れ最後の五分に於て中華之に報い三對三を以て此模範試合を終る近來稀に見る好試合なり(一時間半)

- 青 菅峰松和松大當内上縁相
- ▲隅蹴青山十六佐倉四 ▲自由蹴青山七佐倉二 ▲門壘蹴青山七佐倉六
- 林 田内邊藤田井島次木山
- 左 岡竹渡伊石櫻小倉大杉
- 師 田岸本田井橋麻山野川原



◇英國から贈られた銀盃

日本の蹴球戦奨励の爲

英國から銀盃を

來年から純然たる日本學校チームを作り
最優勝者に授與する

然たる日本學校チームのリーグ戦
とした上優勝者に與へる筈である
といふ、従つて本年度迄英國大使
館員が中心とも見られてゐたり
グは新しく設立される徳川家達公
及び英國大使を名譽總裁とする日
本蹴球協會の管下に屬する事とな
り將來は東京のみでなく日本全國
に大會を開いて其最優勝者に
名譽總裁 から此優勝
盃を與へる事になるであらう斯く
してこそ英國蹴球協會の厚意を初
めて満足せしめる譯になるが日本
蹴球協會は嘉納高師校長が本年の
十月頃迄に委員を選んだ上委員會
を開いて總ての具體的草案を拵へ
る豫定である、因に右の銀盃は近
日の中三越呉服店に陳列して一般
の觀覽に供する筈であると云ふ

英國蹴球協會は同國外務省の手を
經て我英國大使館へ蹴球優勝銀盃
を贈つて來た、それは今から二週
間許り前の事であるが銀盃の高さ
は十六吋、口徑は七吋で

其表面には「英國蹴球協會より日本へ贈る」と英語で彫られてある黒塗の臺を付れば十

九吋半の高さになる、英國蹴球協會が此銀盃を贈つて來た意味は日本に於ける學校チームの發達を促進、奨励する目的であつて、昨秋から英國大使館員が中心となつて現在行はれてゐる高師を初め各學校のリーグマッチの優勝者に授與される譯になる、併し本年は大使館員などはリーグ戦に参加せず純

大使館員

や支那人などが交つてゐるから本年から大使館員などはリーグ戦に参加せず純

大正9年

關東蹴球大會

第一三回

主催 東京蹴球主権會
後援 東京朝日新聞社

東京蹴球主権會、關東に於ける中等學校の蹴球試合は、古來に依つて來月の下旬、紀元節の前後を期して高師校庭に舉行される、參加希望の學校は、本月末日迄に東京高等師範學校内蹴球部宛に申込まれたい、詳細の事は、近次發表する。

T 9 . 1 . 8

大決戦を前の猛練習

第三回 關東蹴球大會

參加チームは前回に比べて三四を増加す

東京蹴球主権會、本社後援の第三回關東蹴球大會は、いよいよ二月七日(土)、八日(日)、十一日(紀元節)の三日間高師校庭に舉行される事に決定した、參加學校チームは前回に比べて三四の多きを算へたのみならず、練習も却々猛烈で、互に策敵の策を行かりとして語るから、火蓋が切られ、緊張した戦ひを演出するだらう

T 9 . 1 . 31

運動界

蹴球リーグ戦

愈々開始さる

東京ア式蹴球リーグ戦の第一日は十七日午後二時より高師校庭に於て開かれ

◆青師對豊師 は豊師優勢にて二點を占め、ハーフタイムの後青師一點を入れた、も豊師又一點を加へ三對一にて青師の敗となる、尙當日高師對英入團の試合ある筈なりしも、英入方に缺員あり次回に之を延期せり

T 9 . 1 . 18

運動界

蹴球リーグ戦

ア戦の二日目は來る二十四日午後一時より高師校庭にて舉行、高師對東京蹴球團高師對英入團との試合なり

T 9 . 1 . 22

運動界

蹴球戦第二日目

蹴球リーグ戦の第二日目は昨日午後二時より高師校庭に於て舉行、高師對東京蹴球團の試合は高師藤井、佐々木共に一點宛を入れ二對零にて高師の勝となれり

T 9 . 1 . 25

運動界

蹴球リーグ戦

第三日

ア式蹴球リーグ戦第三日目は一日午前午後一時、高師對東京蹴球團の試合にて高師校庭に開戦、蹴球にては三人の缺員にて、奮闘したるも結局四對一にて高師の勝に歸し十一時半閉戦

T 9 . 2 . 2

◇日期◇
二月七日八月十一日
◇場會◇
高等師範學校校庭

關東蹴球大會

決定した參加チーム

—七、八、十一の三日間

高等師範の校庭にて

多少變つた試合規定

嚴寒中の運動として既に多年行事の一となつた東京蹴球主催の關東蹴球大會の第三回は、七、八、十一の三日間高等師範に於て開かれる、第一回、二回共に參加チームは僅に

八校で

あつたが今年には順に活氣付いて従來の參加チームの外四組の新チームを加へてゐる、それは附屬、曙星、豊山の三中學に群馬師範であつて此大會の記録を破つたものである、我蹴球界の爲慶賀すべきではないか、參加チームは左の如し

- 青山師範
- 豊高師範
- 埼玉師範
- 群馬師範
- 獨逸協會中學
- 附屬中學

尚大會の試合規定

は大體前年と同じ事であるが第三項の引分試合の點が多少改められ

優勝試合規定

- 一、競技時間は總て二時間とする
- 二、競技には補缺選手の出場を許さず
- 三、規定の競技時間内に勝敗決せず引分試合となりたる場合はコーナーキックの數に依り亦コーナーキック同數の場合にはゴールキックの數に依りて勝者を定む
- 四、試合時間迄に來場せざるチームは棄權と見做し拍手方チームを勝者と認む
- 五、競技規定は極東體育協會蹴球規程に依る

關東蹴球大會役員

〇間日三の一十・八・七〇
—行舉で庭校師高—

- 日本體育協會 協會長 嘉納治五郎氏
- 東京高師教授 永井 道明氏
- 英國代理 實 助員 オールストン氏
- 東京高師教授 兒島 獻吉氏
- 英國大使館員 デ・ロスコイ氏
- 英國大使 館員 スパツクマン氏
- 同 同 パツクコイ氏
- 同 同 マレイン氏
- 青山師範 學校長 瀧澤菊太郎氏
- 豊高師範 學校長 御田生金太郎氏
- 日本體育協會 指導員 野口源三郎氏
- 獨逸協會 中學教諭 金粟 四三氏
- 東京高師教諭 岡部 平太氏
- 委員長 内野 會貞氏
- 東京高師講師 内野 會貞氏

東京蹴球主催、本社後援に係る第三回關東蹴球大會は、よく來る七日、八日、十一日の三日間大雨に非ざる限り高等師範校庭に於て舉行さるべし、大會役員氏名左の如し

- 審判主任 第五中學教諭 佐々木 等氏
- 審判員 (A) 佐々木、藤井、田村、山、和田、北川、小野、小野、田、原島、竹内、日崎 (B) 山本、藤井、金堂、佐野、高橋、村井、金堂、佐野、佐伯、杉田、清水、兒玉、市東、三田野、土岐、三上、木本
- 會場主任 高等師範教諭 吉川準次郎氏
- 係員 藤井、矢野、安藤、木、近藤、深本、川上、池田、田邊、佐藤、森、後藤、狐塚
- 記録主任 大瀧 正寛氏
- 係員 岡村、伊藤、小林、池田、佐々木、石川、山田、菅田、林、山本、前田
- 維持主任 渡邊 年氏
- 係員 清水、中野、藤本、堀、坂、吉水、松本、上野、大瀧、秀平、吉澤、二宮、吉川、吉岡、藤本

T 9. 2. 5

愈 逼 る

關東蹴球大會

— 七日の午後零時半

先づ嚴肅なる入場式

正一時に劈頭戦開始

猛 練 習

◆ 第三回 關東蹴球大會はいよいよ七日午後一時から高師校庭で開かれる、練習の日を餘す事僅に今明二日である、十二の参加チームが猛烈な練習振も思ひやられるではないか

◆ 大會の序幕は午後零時半陸軍戸山學校軍樂隊の奏する進行曲に依つて参加學校選手百四十名及び専門學校チーム(番外試合チーム)百餘名の入場式、優勝旗の返還式を嚴肅な光景裡に始められるが式が終れば正一時、大會劈頭の戦ひは開始される

▲ 但し競技は大雨にあらざる限り舉行する豫定である、因に参加各チーム代表者は高師に集合した上、左の抽籤勝者と第一勝試合の組合せを決定した

一勝チーム(抽籤)

青山師範
佐倉中學

豐島師範
横瀨二處

一勝戦(七日)

獨協對明治學院 (午後一時)
 群馬師範對豐山 (同 二時)
 附屬對曉星 (同 三時)
 埼玉師對成城 (同 四時)

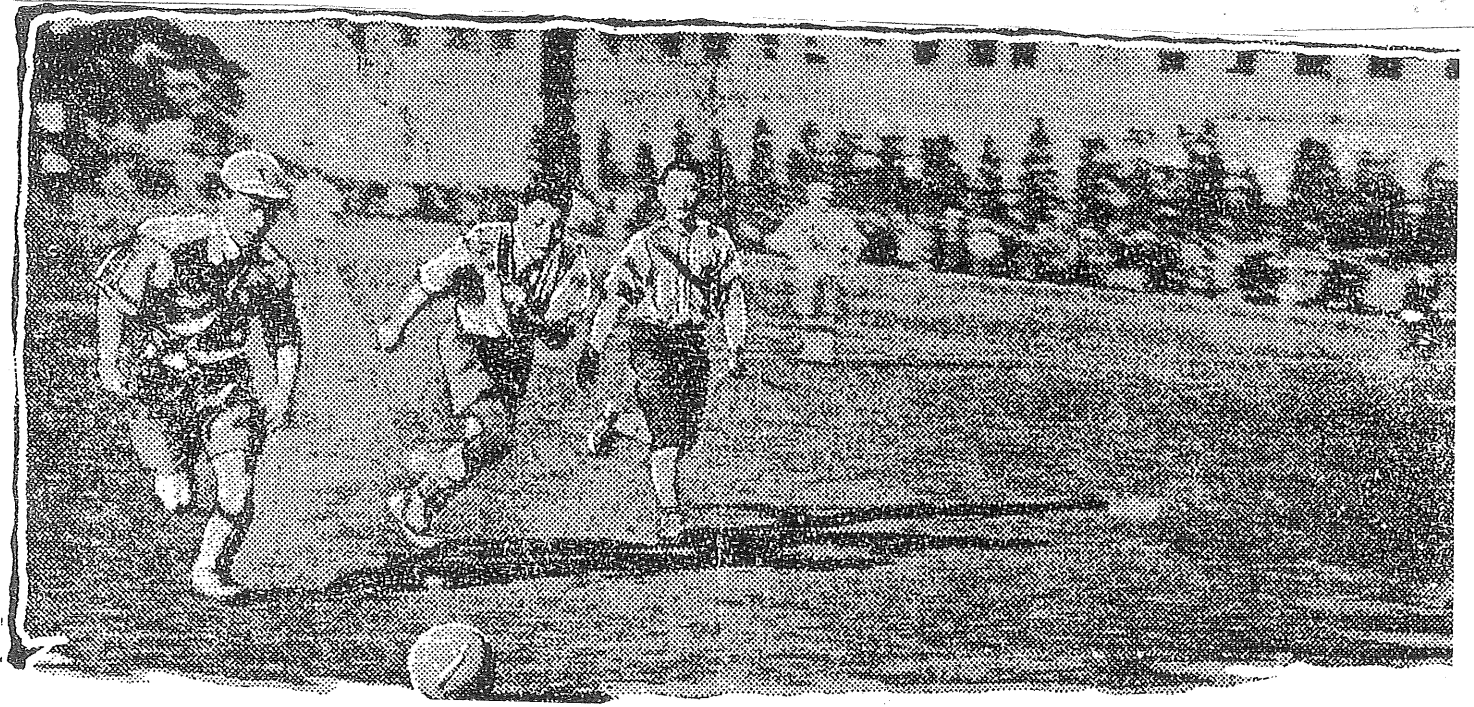
明日開戦

關東蹴球大會

T 9. 2. 6

◆ 七日午後一時より一勝戦
 ◆ 八日午前八時より二勝戦
 ◆ 十一日午後一時決勝戦

高師校庭に於て大雨に非ざる限り舉行
 入場注意



蹴球大會愈本日

午後一時より對校戦を開始す

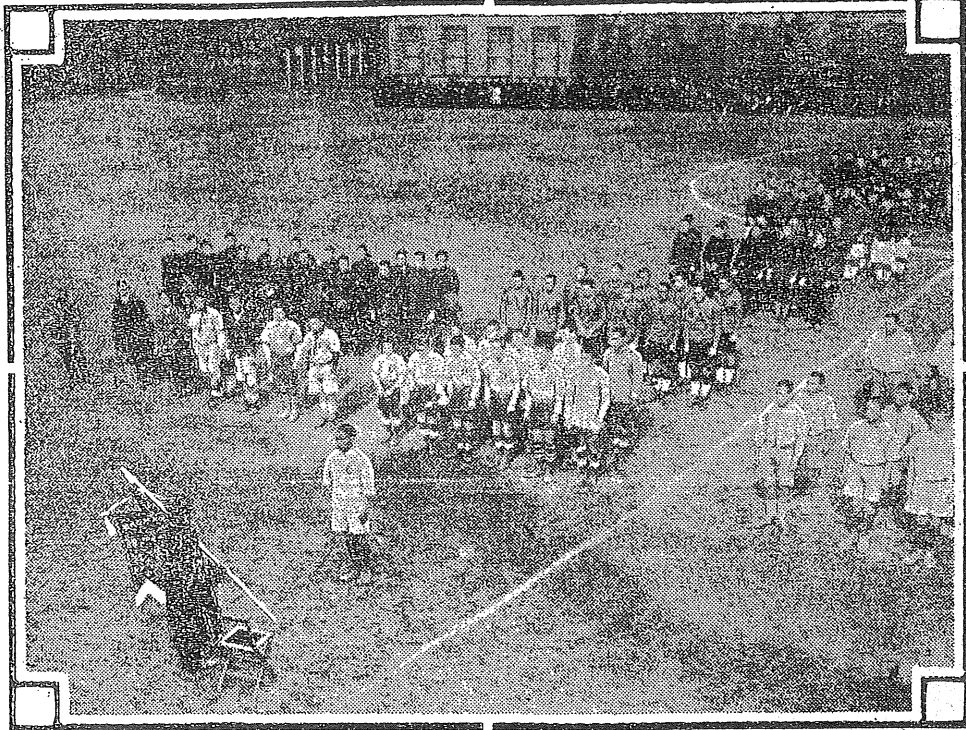
第三回關東蹴球大會は、感本日午後一時から大雨にあらざる限り高師校庭に開かれる。零時半空軍戸山學校軍樂隊の進行曲に依つて前年の優勝チーム青山師範を先頭に參加十二チームは二列縦隊となつてグラウンドに入場、永井團長の挨拶、優勝旗返還があつて直に劈頭の試合に移る當日の試合左の如し

獨協對明治學院 (午後一時) 群馬師範對鹽山 (同二時)
 附屬對明星 (同三時) 埼玉師範對成城 (同四時)

因に會場附屬中學の側に依つて招待者席、他のグラウンド周囲は一般觀覽者の席に充てる、入場は言ふ迄もなく隨意である

T9.2.7

蹴球大會第一日—歸旗返還式—



1928

寒風裡に健兒二百踴躍
蹴球戰の幕開く
獨協對明治學院を劈頭に

數千の觀衆熱す

十一校入場式

天地も凍れよと吹荒む寒風の中を、二百の健兒は意氣揚々と乗込んだ。第三回關東蹴球大會の入場式が今行はれ、蹴とするのだ午後零時、牛戸山軍樂隊の行進曲につれて、會場高師のグラウンドを一周した。参加十一チーム（埼玉不登、文事専門学校、番外試合チーム）の選手は優勝校青山師範を先頭として、順次横列に會場中央に列んだ。一段高い壇上に立つた永井會長は第三回を舉行する旨の訓示を述べて優勝旗の返還式が行はれる。式は終わった。正一時グラウンドの四圍に重なつた數千の觀衆は一齊に拍手を送つて、劈頭戰獨協對明治學院の兩選手を迎へる。依然風は身を斬る様に痛い。兩軍の選手は臆も露ばりに右往左往に馳趨る。選手も觀衆も漸く熱して来た。一、二點奪得し、所て明治は破れた。觀衆の血はますます湧いて、聲援の聲が其處此處に漲る。斯くて群馬對豐山、附協對曉星の試合があつて、高師蹴球混合對成城の練習試合を終つたのは午後四時半、大會第一日は芽出度終つた。

一勝戰

獨協一明治零

獨協對明治學院の一勝戰は午後一時北川氏の審判、獨協のキックオフに依つて開始。明治は常に攻勢にて敵壁に肉薄する事數次敵壁を突かしめしが獨協の前攻鈴木見事なる長蹴を試み、右前攻三澤好く之を操り敵壁の中央より抜き一點を先取り、明治猛襲したるも及びず、ハーフ。タイムとなる。後半戦に入るや兩軍功を集めて成らず遂に一對零を以て獨協の勝となる。

- (獨協) 木田 井藤 中塚 田島 島野
鈴山 張 玉 遠 田 戸 津 榊 木 友
G RFB CHB LHB RWF RIF LIF LWF
K LFB RHB LHB RWF RIF LIF LWF
田岡 田島 村宅 澤 柳 木 野 澤
高花 浅鹿 西三三 飯 餘 小 倉

- (明治) 木本 水 中 川 飼 本 柳
黒山 裴 春 瀧 館 古 糖 翁 杉 小
K BFB CHB LHB RWF RIF LIF LWF
G RFB CHB LHB RWF RIF LIF LWF
(群馬) 湯高 田上 秋 黒 井 木 浅 茂 浦
本 井 所 原 原 岩 上 部 田 木 郷
◇ 豐山 隅 淵 一 四、 壘 淵 三、 自

- 由 淵 四、 反 則 淵 零、 反 則 一
◇ 群馬 隅 淵 一、 壘 淵 八、 自 由
淵 一 反 則 淵 零、 反 則 四

附屬二曉星零

曉星對附屬の試合は午後三時龜山氏審判、附屬のキックオフに開始。兩軍伯仲の間に在りしが附屬よく虚を衝きて肉薄し、新進の猛者鈴木先づ一點を入れ元氣を得て息もつかせず敵に三回のゴールキックを餘儀なくせしめ、森田復もや一點を入れてハーフ。タイムとなる。後半戦は曉星死力を盡して奮闘したるも附屬三度敵壁を陥れ三點を取り遂に三對零にて曉星大敗す。

- (曉星) 吉谷 本村 田田 立塚 山山
田板 藤川 前木 足高 黄 青 杉
K B B B B B B B B F F F F F F
G R F L R C H L H R I G I F L
附屬) 藤田 上 岡 上 岸 田 梁 木 村
齊 喜 川 松 山 川 峰 森 井 鈴 木
◇ 附屬 隅 淵 九、 壘 淵 五、 自 由
零、 反 則 淵 零、 反 則 零
◇ 曉星 隅 淵 二、 壘 淵 一、 自 由
由 淵 三、 反 則 淵 零、 反 則 零

埼玉棄權す 埼玉師範は流感にて出場不可能となりたる為め相手方の成城は戦はずして一勝者となりたり

本日の試合

抽籤の結果一勝者同士の第二百目の組合せ次の如く決定せり
群馬師範對成城中學(午前八時)
群馬師範對佐倉中學(同 九時)
獨協對横濱二中(同 十時)
青山師範對附屬中學(同十一時)
猶午後一時より三勝戰に移る暫

雪を蹴つて奮戦

喊聲場を壓し長蹴牙の 一對一の勝負一時預り

蹴球大會第二日

霧を紛々、何れが敵か味方が判別がつかぬ、眞白に積つたグラウンドの四周に観衆のやうな人垣が出る『フレイク』『ワアツワアツ』應援振は益々調子になつて雪の日の静寂は

此の一角から破れた、これは八日高師校庭

で開かれた第三回蹴球大會の三勝面青師と豊師との大話の一幕だ天王寺蘇芳のやうな大きなボールが無作に蹴られる、頭でカツキと受けて十間も先に弾き飛ばされる『榮譽ある

優勝旗』選手の胸に燃える、焔のやうな意氣

は雪も寒さも嫌の毛で踏はつた程にも感しない、唯その一念あるのみだ、試合は終つた、一對一！得点は互角

だ、両山の應援は降りしきる雪の中を大ころの様に喜んで躍り廻る、併し青山方から抗議が出て、結末がつかず勝負は負一時預かりとなつて兩軍は別れた、其位双方共興奮してゐた、

T9-2-9

一勝戦

豊師五成城一

二勝戦の勢に於ける豊師對成城は午前八時藤井氏の審判により成城のキックオフにて開始する。兩軍の技倆の間に在り何れが勝とも見ゆりしが豊師の四宮勇謙して巧に敵の處を衝き先づ一點を得た。又一點を得斯くて豊師常に敵を壓迫し隅蹴を繰り返すこと三回にして更に一點を取め、こゝに前半戦を終る。後半戦に入ると成城頗る挽回して能く敵軍を阻み一點を挙げたるも豊師再び攻勢に轉じて二點を取め遂に五對一にて成城の敗となる。

澤野山崎屋村麻田宮沼田
大星崎樋守西宮野西淺押

KFBFBHCHLHWFRLF
GRLRHCHLHWFRLF

田我 田田池田根原栖岡
福會 澤多小野茅宮來長

成城 隅蹴八、壘蹴三、自由蹴
二反則蹴零、反則五

佐倉中對群馬師範は山田氏の審判群馬のキックオフにて開始

群馬能く防ぎしも佐倉の石田先づ一點を得た。山口又一點を加

て前半戦を終り後半戦は群馬奮闘して茂木一點を恢復し、敵壘に肉薄した。が遂に及ばず二對一にて群馬の敗となる。

野田賀田川 川宮山口井
谷藤 大永羽武長 小清石山櫻

KFBFBHCHLHWFRLF
GRLRHCHLHWFRLF

本井所原原岩上部田木部
湯高田上萩黒井木淺茂浦

群馬 隅蹴二、壘蹴三、自由蹴
一、反則蹴一、反則八

群馬 隅蹴一、壘蹴十三、自由
壘八、反則蹴零、反則一

二勝戦

横濱一獨協零

横濱二中對獨協は十時野崎氏の審判横濱のキックオフにて開始し、横濱俄然猛襲を企て、敵に迫りしが獨協の花園小艇を以て善く防ぎ又壘守高田奮闘してボールを悉く喰止め兩軍共前半戦に得点なく後半戦に入り横濱頻りに追れ、後半戦にオパールして點を得ず、遂に一點を占めて横濱の勝

木波口田方橋輝(野原本政)
柏元出福緒高中久室山中

KBBBHHBFFFW
GRLRHCHLHWFRLF

田岡田島村宅澤柳木野澤
獨協 高花淺鹿西三三飯鈴小金

横中 隅蹴四、壘蹴三、自由蹴
五、反則蹴零、反則四

獨協 隅蹴零、壘蹴三十、自由
蹴四、反則蹴零、反則五

青師一附接二
青山師範附屬中學は十一時小野

田氏の審判青師のキックオフにて開始、兩軍能く攻め能く守り現

衆の熱烈高調に達し、附屬の鈴木先づ一點を得れば、青師又一點を

復し勝敵の敵愈々逆路すべからず此時附屬鈴木巧みにパスを受

て又もや一點を獲し前半戦を終りて後半戦(審判野崎氏に代る)

に入るや青師猛烈に攻撃し附屬の幾分弱しに來じて一點を得

同點となる爾後兩軍得点なく規定によりて青師の勝となる即ち

青師 隅蹴八、壘蹴三、自由蹴
附屬 隅蹴三、壘蹴二、自由蹴

附屬 隅蹴三、壘蹴二、自由
蹴三、反則蹴零、反則四

三勝戦

佐倉零横濱零

抽籤によりて決定せる三勝戦の勢に於ける佐倉對横濱は午後二時より原島氏審判、佐倉のキックオフによりて開始、兩軍一進一退長蹴に準備に双方相譲らず得点なくして前半戦を終り後半戦に入りしも同様の状態を續け佐倉數度壘を衝きて隅蹴九回を得めしも遂に得点なく零對零にてタイムとなり隅蹴の數によつて佐倉の勝となる

木波口田方橋野野原本野
柏元出福緒高中久室山中

KBBBHHBFFFW
GRLRHCHLHWFRLF

野田賀田川 川宮山口井
谷藤 大永羽武長 小清石山櫻

横中 隅蹴零、壘蹴九、自由蹴
零、反則五

佐倉 隅蹴九、壘蹴一四、自由
蹴五、反則零、反則零

豊師一青師零
豊師對青師は参加チーム中の兩

雄なり、午後三時佐木氏の審判青師のキックオフにて開始され

豊師猛襲を試みしも青師能くこらへて入れしめず、得点なくして

前半戦を終り後半戦に入るや豊師又もや敵壘に突撃して最初の

一點を収め青師遂に得点なしと思ひきや掉尾の勇姿まじく攻め

立て一點を恢復す、青師更に猛襲機會を作りしも入らず、即ち隅

球の數により豊師の勝となりしが青師方より豊師の得点に就き

抗議出で即刻審判會議を開きしも決定するに至らず今猶審議中

豊島 澤野山崎屋村麻田宮沼田
大星崎樋守西宮野田淺押

KBBBHHBFFFW
GRLRHCHLHWFRLF

本田川本麻山本崎田木橋
同前線江當内松島和鈴大

豊島 隅蹴八、壘蹴八、自由蹴
二、反則蹴零、反則四

運動界

豊青蹴球戦の審判

前宣告維持

○伯仲の両軍技倆
 関東蹴球大会第二日の青山師範
 對豊島師範の試合は白熱戦なり
 し丈相方エキサイトン審判は極
 力公正を保ちたるも遂に青師方
 の抗議に依り試合後審判員全部
 は熟議深更に及べるも決定に至
 らず昨日再協議の結果當日の宣
 告を正當として維持し豊島方の
 勝を認めたるが兩校選手の技は
 眞に伯仲其間容易に優劣を列し
 難く従つて審判の困難大なりし
 もの如く青師の敗戦は十二分
 の同情を集め居れり斯して明日
 一日の決勝戦は豊師對佐倉中學
 と決定し午後正二時より舉行さ
 るべし

T 9 . 2 . 10

○午時二時より高師校庭にて○
本日の蹴球決勝戦
 ◇豊島師範對佐倉中學◇

尙午前十時半より番外として左の試合も進行す
 ◆帝大對アストラ俱樂部(午前十時半)
 ◆留日中華民國人對東京蹴球團(午後一時)
 ◆英國人對東京高等師範(同四時)

T 9 . 2 . 11



今日
 關東蹴球大會
 にて御使用せらるゝ
**オリンピックツク號
 フットボール!!!**

○東京高等師範學校蹴球部御證明
 賜第八高等學校蹴球部御證明
 關東蹴球大會御使用
 本品は東京高等師範學校蹴球部の
 御指定に基き製作に依り優秀堅牢
 なる事は既に定評あり全師範
 中學校蹴球部の御愛用を蒙り好評
 を博す是非御試用あらん事を希
 東京市小石川區大塚坂下町一五五
 發賣元合名
ミカド商會
 製作工場 東京巢鴨町一七六一
 各運副具
 定價表御一報次第送呈す

T 9 . 2 . 11

關東蹴球の雄

豊師優勝す

熱狂的勝利の叫び
 第三回大會終る

●豊島は東に、佐倉は西に陣し號置響くや、哨音キツクオフし技に西
 陣北決勝の幕は開かれたり、折柄の烈風甚しく豊師のキツク頗る困難
 に見受けられしが忽ちにして敵陣に迫り壘線近くにて採合ふ事數
 時、哨音數回の響を續けたるも佐倉能く防壁を入れしめず開戦し
 てより約十分の後豊師の四宮敵の處を衝いて巧みに一點を占め、
 續いて野田秀輝やかなる蹴を以て一點を獲得せり、豊師の聲は熱狂
 其極に達す、之に反して佐倉氣萎み稍し亂軍のさまを呈しつゝハ
 ケムイムとなる

●築城益々加はりグラウンド全く凍結す、少憩の後兩軍は位置を代
 へて後半戦の幕を開く、豊島地の利頗る佳く常に佐倉を壓迫しつゝ、
 個個を繋げる事實に二三回、佐倉必死の勇を披して防戦大に努め
 展と敵陣近く攻め入りたるも遂に得點するに至らず結局二對零に
 て豊師の勝に歸し榮ある隨勝旗は再び豊師の手に落ちたり

●試合經過 參加十二チーム中の雄、佐倉中學對豊島師範
 決の勝戦は午後二時三十分、ソフウェーリー田村氏、ライスマン、林、森、
 兒玉、藤本諸氏に依つて開始せる

T 9 . 2 . 12

番外試
 合記録
 帝大對アストラ俱樂部(三對零帝大捷つ)
 留日中華民國人對東京蹴球團(一對零東蹴捷つ)

蹴球國際選
 手ホ氏等

米國太平洋洋行エクスアドル氏は二
 十二日午後六時香港より廣瀨に入
 港せり船客の主なるものは種々米
 國海軍監督ロールズベーター氏、
 紐育フットボール俱樂部の選手
 にて七年前ストックホルムにて歐
 洲選手權を得たるホワイト氏、米
 國有名小説家カイン氏夫人及丁
 林の活動女優ベーカー夫人等なる
 がホワイト氏は身長六呎五吋體
 重二百五十五磅にして米國中に
 も稀に見る巨漢なりと據(電話)

T 9 . 5 . 23

蹴球勝は諾威

●二十八日國體社安府會
 オリムピック大會フットボール
 第一回戰に於て諾威組は三對一
 を以て英國組を破りたり右邊等
 は何人も英國の勝利を豫想し居
 たるに全く奮狂はせとなれり
 按中英國組選手に四名の負傷者
 を出した

T 9 . 8 . 31

大正 10 年

T 10 - 1 - 8

關東蹴球大會 (回 四 第)

東京蹴球團主催本社後援の關東蹴球大會は四年に重ぬる事茲に四回、愈二月十一日(紀元節)十二日(土)十三日(日曜)の三日間恒例に依つて花々しく開催せんとす、年々盛に赴きつゝある蹴球界は本年更に日覺しき飛躍を試みんとし、本大會は實に斯界の現況を知るべき唯一のパロメーターである、昨年の優勝校豊師範は其の技益々洗練され附屬中學以下の新進亦猛練習に日本尚ほ足らず互に勝負を胸に秘め、更に新参加數校を加へんとする形勢にあり、此の機に當りて我々思はん勇士は速に來り扱せよ

◇會 期◇

二月十一日(紀元節)
十二日(土)十三日(日)

◇會 場◇

高師運動場

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞

第四回 關東蹴球大會

◇二月十一日より三日間
◇大塚高師運動場に於て

参加申込續々
到る、各校の
健兒速に馳せ
参じて輸贏を
決せよ

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞

T 10 . 1 . 21

蹴球大會

日比谷で 新市長の始球

◇會期愈々迫る

参加チーム十三

明治學院、獨逸協會、豊山中學、成城中學、群馬師範、静岡師範、横濱二中、佐倉中學、埼玉師範、曉星中學

〔模範試合〕

向此の外模範試合申込の數も頗る多く、東京英人團、東京蹴球會を初めとして中華民國、朝鮮、臺灣、帝大、農業大學、高師、アストラの各チームに更に名古屋蹴球團の來襲を加ふ等其の盛況

第四回蹴球大會(ア)式の期は感迫つた年々隆盛に起きつある蹴球界は本年更に勃興し参加申込の數は續々として増り主催東京蹴球團にては其の整理に苦心せる程にて愈左の十三校に決定した而も新進の精銳静岡師範の新加入は益大會の興を深からしむるものである

〔参加校名〕

豊島師範、青山師範、附屬中學

〔會場變更〕

斯くて從來の競技場(高師校庭)は多少狹隘を感ずる處から會場は日比谷公園の芝生地グラウンドに變更した時しも東京市長後藤新平男は此壯舉に對し滿腔の贊意を表され本會の會長たる事を快諾されたる上二月十一日紀元節の大會第一日に於て始球式を試みられる事となり本大會は茲に益光彩を添ふる事となつた、因に各校選手の猛練習は昨今一層熾烈を極め其の技又伯仲にて何れが優勝を贏ち得るや今から逆睹を許さぬ状況にある當日の壯觀を以て思ふべし

T 10-1-27

蹴球大會

番組順序決定

改正規則の發表

◇昨日の協議會にて

來月十一日日比谷グラウンドに於て開かる可き關東蹴球大會に就て準備委員は昨卅日午後一時高師蹴球部に集合して協議の結果左の通り申合せ同時に規則改正を發表した

- 一、審査は植東オリムピック大會の趣旨に據る
- 二、スロウインクの其時のオフサイドは採用せず
- 三、ゲームの開始後は補缺選手の出場を許さず
- 四、豫選に出場せざりし選手は優勝戦に出場するを得ず
- 五、遅参の際は棄權と看做し

T 10-1-31

相手方を勝利と看做す

- 六、ゲームは總て一時間とす
- 七、優勝戦は一時間半とす
- 七、兩者の得点同數なる時はコーナーキックの數に依りコーナーキック同數なるときはゴールキックの數に依り勝敗を定むゴールキック亦同數なる時は抽籤に依り勝敗を定む
- 但優勝戦の場合はスライ時間三十分間延長す
- 八、ナインスマンは四人とし別にゴールマン二人を置く
- 九、審判に對しては絶対に抗議を申込む事を得ず

而して會の順序は第一日十一日午前十時入場式次で優勝旗返納式あり後市長の始球式後直に一勝戦に入る各チームの組合せ左の通り

埼玉師範	獨逸協會
男塾學院	成城中學
静岡師範	横濱二中
群馬師範	豊島師範
佐倉中學	豊山中學

同日は午後三時半ゲームを終り續て高師對英人の模範試合を行ふ、第二日正午開會審判一組の試合に次で二勝戦に入り午後五時終了第三日は午前八時より三勝戦を行ひ十時二十分模範試合一回此他に小學チームの一回戦高師附屬對豊島師範附屬があり續て最後の優勝戦に移り終了後優勝旗授與式を行ひ後會の筈であらう青山師範附屬中學、曉星中學三校は抽籤の結果不戦と決した



蹴球大會優勝旗返還式 (前つて左は水田秀次郎氏優勝旗を受け居るは熊坂委員長)

時 選 手 の 猛 っ っ て 習 練 手 選

會 大 球 蹴 東 關

◇役員部署定り◇

關東蹴球大會の日は近づき、参加各校の練習日と共に猛烈を極めて愈よ来る十一日より日比谷原頭龍灘虎搏の激戦を偵察せしむるに足る、而も各校の選手技伯仲、何れが米して榮冠を贏ち、るか今より遊賭するを許さざる處與「深し、大會の役員(マーク)左の如く決定す

役員

- ◇會長 (白花) 後藤新平氏
- 男爵 贊助員 (白リボン) エリオット氏
- 英使 在横濱總領事 ヘイグ氏
- 東京高剛教授 兒島獻吉郎氏
- 東京フットボール俱樂部員 ロスコイ氏
- 顧問 東京フットボール俱樂部員 スパックマン氏
- 同 同 バックニー氏
- 同 同 カーチス氏
- 同 同 内野臺綱氏
- 同 同 武井群嗣氏
- 同 同 野口源三郎氏
- 禮儀指導員

委員

- 同蹴球委員長 岡部平太氏
- 體育協會員 金栗四三氏
- ◇委員長(桃色) 熊坂圭三
- ◇審判係(紅日) 東京蹴球團幹事 事佐々木等(主任)
- A 小野田、山田、露木、林、和田、高橋、村井
- B 清、市東、大橋、守屋、井染、鈴木、四宮、兒玉、杉田、古田、後藤、森、佐野、佐々木、生田、朝
- ◇會場係(紫) 東京蹴球團幹事 吉川準治郎(主任)
- 安藤、遠藤、狐塚、菅家、藤本、吉原、後藤、小野、高野
- ◇記録係(茶) 山、隆一(主任) 原島、山崎、星野、小林、池田、佐伯
- ◇接待係(緑) 渡邊年(主任) 松井、野田、小野、泉、榎本、吉川、森、山本、小澤
- ◇招券持参者(赤) 選手引率者(赤)

會 大 球 蹴

愈、本日!!

新装成つた 日比谷原頭 大試合開始

紅白の 布で新装

本都や選手控所の天幕は側に三つ建られた、尚第一日には模範試合として蹴球の本場たる英國人チームと東京高師のゲームがある管て是亦人氣を呼ぶに違ひない、一般観衆席として最も屈強な地位はグラウンドの後方の築山が一等であるがグラウンドの周を取り捲く公園の鏡前は附近にベンチもあり三方とも結構な場

選手の 意気は頓

に場がつた、感今日から三日間日比谷原頭の大激戦は如何に青年の血を沸かしめるか會場は觀衆の如く公園の西北芝生のグラウンドであるが蹴球の観衆に小芝に全く撫でられ地上にロールでならされ

軍樂隊 のマーチ

所である、但し招待券、入場券所持者は柵内一定の席に觀望し得る筈である、大會は先づ午前十時戸山學校

- 壘王師對獨 協 (午前十時 半より)
- 明大學對成 城 (午前十一時 半より)
- 靜岡師對横 二 (午後零時 半より)
- 群馬師對豐 師 (午後一時 半より)
- 佐倉中對豐 山 (午後二時 半より)
- 英 人對高 師 (午後三時 半より)

T10.2.9

明後日に迫る

蹴球大會を前に

後藤會長の體育論

○禪機に達する運動

いよいよ明後日に迫つた第四回關東蹴球大會は、日比谷公園芝生グラウンドに開催される事となり選手の奮闘益々熱り進んで行つて居るが本大會に多大の意義を有する事を表わられたい。

この大會の意義を説かれたのは、酒造の生立もの等は運動なんか皆無しのや、蹴球は廣く普及が及べぬと、蹴球などをやつた本はなかつた然し其後衛生學の專門を研究した時に成程體育の必要があると思つた又外國へ行つて見て格別に感し又民政長官として義務に赴いた時

土人の精神と肉體人の投入とを見比べて一層痛切に日本人には體育の必要があると考へた然し吾等は體育と云ふ事は保他上、印鐵上常に身體を丈夫にすると言ふ事だけでは眞の體育の意味をなさぬと思ふ即ち心身ともに健全にすると言ふ事が必要であるに「健全なる精神は健全なる身體に宿る」と云つて居るが健全なる身體を造る爲に行ふ體育法其物にはも練り

精神も 練る事をやらねばならぬと思ふ此の意味に於て蹴球なるものは體力も養ひ頭腦も働かせ、蹴球一を執はしめ常に磨んで居るやと云ふ事に即ち體育の精神一陽光に投

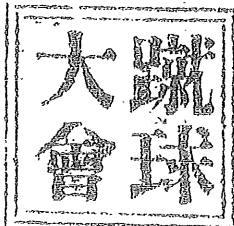
じ機後に投ず」と云ふ術の極意を授ける運動競技である」と酒造の数字等を説かれた。因に大會の指針試合のスケヂュールは左の如く決定した

番外試合番組

- 一、英入道高師(十一日午後四時)
- 二、朝鮮對農大(十二日正午)
- 三、獨逸對アストラ(十三日午前十時半)
- 四、中華民對東京藤澤團(同午前十一時半)
- 五、菅大對東京蹴球團(同二時半)
- 六、臺灣對高師(同二時半)
- 七、高師對小野豐田對小(同二時半)

時間厳守 大會出席者は勿論番外試合出席選手諸君にして試合開始時間比遅れたる者は不參加と見做す

T10.2.10



日比谷の芝生で

壮快な競技—後藤市長の始球

(十一日より三日間) 午後東京蹴球團 後援東京朝日新聞

T10.2.11



蹴球大會開催

午前十時に始球式舉行
選手の入場式は軍樂隊で

第一日番組

埼玉師範(明治學院) 青山師範(群馬師範) 安倉(東京師範) 成城中(成城中) 廣漢一中(廣漢中) 櫻井中(櫻井中)

蹴球大會

(第一日)

寒交りの寒空に 火花を散らす壯快戦

更青嵐永田氏の一蹴に 見事に飛んだ處女球 満都の好球兒熱狂す

第四回蹴球大會は、昨十一月から日比谷公園に於て行はれた、前日までホカ〜と暖かい春日和は作朝となつて俄に一日掃き曇り、開會近う途に小雨を催し、曇りが冷い寒空化した。是が大がなる競技の

特色を 獲得せしむべく、専られた自然の天候とも云ふべく、茲に蹴球界外競技として一層興趣からしめた。此の大候にも、満都の好球兒は、激しくよりグラウンドの四圍に集り、観客を待つ程に、武者山電樂進行の曲は奏され、蹴球の豊島師範が、

優勝旗 を先頭に、捲げ佐木澤田に奪かれ、続いて参加チーム十三に、来たチームニ加へ、總勢百五十餘名の選手が奮闘の証を語る勇ましいユニフォーム姿に、

壯観なる入場式が行はれた。四圍の觀者席より一時に起る、熱い拍手、「シツカリ観てよ」と怒鳴る校友の聲、後の中は、中央の長席に面して整列した、會長後藤新平男は、

参内の 時間都合上午後出陣せらるゝ事となつたので、貴族院議員永田秀次郎閣下が會長代理として開會を宣し、出場選手へ次の

如き希望を述べられた。
「二國の盛衰は吾人青年の双肩にかゝる事は勿論であるが中にも諸君の如き運動家があるが中に中堅となるべきである。即ち蹴球をやらせし諸君に於ては、肩に非ずして双肩にかゝつて居るのである。殊に蹴球は、寒風外競技としての特色ありと聞く。今日の如き天候不良の日こそ吾人の精神練習力養成には絶好の日利である。諸君大に奮闘努力せよ。」

第一戦 たる、埼玉師範對、埼玉師範對獨逸協同の試合行はるゝ事となり、

両選手がポジションに就いた時、午前十時三十分、高橋レフエリーの、

指揮と共にセンターに進み出た。會長代理永田閣下は手にする處女球を一蹴して、見事に始球式が行はれた。獨逸協同のキックオフに序幕の火花は切られた。此の一戦、益々、

熱い戦となつた。時、蹴球界の盛況は、

なるとした。時、蹴球界の盛況は、

應援團 を初め各校何れも、赤旗、白旗、黒旗、青旗、黄旗、五色旗、

も赤旗、白旗、黒旗、青旗、黄旗、五色旗、

はかくして場の内外に、雨あつた。會長後藤新平男は午後一時五分、

鳥と群衆の激戦中自動車帶來場と、

鼻眼鏡 越に年の十も、

鼻眼鏡 越に年の十も、

くつたが、如く泥濘中の奮闘を二、三回して熱心に見物あつた。後二時頃所用で歸られたが、「生憎の天候、選手も一倍骨が折れるだらう。併し之れが却つて修養になるのだ」と語り、

鼻眼鏡 越に年の十も、

第一戦 たる、埼玉師範對、埼玉師範對獨逸協同の試合行はるゝ事となり、

試合記録 埼玉師範對獨逸協同の試合は、午前十時三十分、高橋レフエリーの、

静師辛勝す 對横濱二、中野の試合は、午後零時、半、レフエリーの、

豊島師七群馬師零 前中野戦、午後一時、山田氏密列の下に、豊島加藤のキックオフ、

て、多数の雄辯に、輸贏を争ふこと二十分、佐倉方の前衛ヒンメリ宮崎見事にパスを受けた。一點を先占するや、佐倉方、猛烈に壓迫を續け、豊山中亦風せず、肉薄すること數分に及びし、遂に得点なくして止む。△後半戦、豊山中より、籠城し、得ず、佐倉中の乗ずる所となり、再び一端を占めたる。豊山のハーフのセンター、中宿好、敵の猛襲に堪へ、大勢を挽回せんとしたるも、遂になすなくして敗る。

成城五 明治學院對、

静師辛勝す 對横濱二、中野の試合は、午後零時、半、レフエリーの、

豊島師七群馬師零 前中野戦、午後一時、山田氏密列の下に、豊島加藤のキックオフ、

静師辛勝す 對横濱二、中野の試合は、午後零時、半、レフエリーの、

豊島師七群馬師零 前中野戦、午後一時、山田氏密列の下に、豊島加藤のキックオフ、

て、多数の雄辯に、輸贏を争ふこと二十分、佐倉方の前衛ヒンメリ宮崎見事にパスを受けた。一點を先占するや、佐倉方、猛烈に壓迫を續け、豊山中亦風せず、肉薄すること數分に及びし、遂に得点なくして止む。△後半戦、豊山中より、籠城し、得ず、佐倉中の乗ずる所となり、再び一端を占めたる。豊山のハーフのセンター、中宿好、敵の猛襲に堪へ、大勢を挽回せんとしたるも、遂になすなくして敗る。

組番 朝鮮人對露人番外、
青師對佐倉中、
豐師對靜師、
埼玉對附屬中、
成城對鳴尾、
正午より、
午後一時より、
午後二時より、
午後四時より、

本日の二勝戦 昨日来雨天の爲め、日比谷のグラウンドは泥濘を化したれば、選手は活躍に困るを來らしめる憂あり、就ては、本日の天氣、模様、依つては、昨日の二勝戦を東京高師グラウンドに變更するやも、知れず右の件は、本日午前十時何れとも決定する。若し本社若しくは高師へ電話にて問合せるべし、尙抽籤の結果、本日の一勝者戦は、次の如く決定した。

英人團四 高師一、
番外、英人對高師の試合は、午後三時四十分、佐木澤田對高師方のキックオフにて、試合開始、英人方が敵を振り、高師方、物とせず、巧に敵を振り、高師方、直す暇なきに、高師方の陣形を直す暇なきに、また一點を得、や、後、高師方、猛勢をとり、高橋氏、卓見を發揮、高師方の陣形を直す暇なきに、運びて得点ありしが、再び英人方に迫られて、一點を得られ、かくて、前半は三對一の勝負。

後半戦は、高師方奮闘の甲斐なく、一點を得られ止む。かくて、英人方は、先年の雪辱を仕返すため、

豊島師七群馬師零 前中野戦、午後一時、山田氏密列の下に、豊島加藤のキックオフ、

て、多数の雄辯に、輸贏を争ふこと二十分、佐倉方の前衛ヒンメリ宮崎見事にパスを受けた。一點を先占するや、佐倉方、猛烈に壓迫を續け、豊山中亦風せず、肉薄すること數分に及びし、遂に得点なくして止む。△後半戦、豊山中より、籠城し、得ず、佐倉中の乗ずる所となり、再び一端を占めたる。豊山のハーフのセンター、中宿好、敵の猛襲に堪へ、大勢を挽回せんとしたるも、遂になすなくして敗る。

蹴球大會

雨中壯烈な

一勝戦

今日は高等師範の

グラウンドにて

◇盛んなる応援團

第四回關東蹴球大會第二日は、会場を大に賑わすの氣勢を示した、新くて第一戦の佐倉中學對青山師範の二勝戦が演じられたが、我選手奮闘振りを見んと押寄せた都下の校友も亦此の空を賑はず盛んな応援を與へて居た。

青師五佐倉零

▲前半戦 青師對佐倉中學の一勝者戦は午後一時レフエリー高橋氏青師和田のキックオフに開始、佐倉一時攻勢を取り敵壘に近づいたが間もなく押返され青師の奮闘振りを見んと押寄せた都下の校友も亦此の空を賑はず盛んな応援を與へて居た。

不戦一勝

▲前半戦 青師對佐倉中學の一勝者戦は午後一時レフエリー高橋氏青師和田のキックオフに開始、佐倉一時攻勢を取り敵壘に近づいたが間もなく押返され青師の奮闘振りを見んと押寄せた都下の校友も亦此の空を賑はず盛んな応援を與へて居た。

に下り立ち軽快なウォームアップ

- 島内本川田 川宮崎口山
- 中宮山長 時歐協清宮山栗
- K RFB
- LFB
- RHR
- CHB
- LHB
- FWR
- RIF
- CLF
- LWF
- 本田川 摩本本崎田水木
- 岡前綿宮 菅江松島和清鈴

【青師】

泥と鮮血に

選手の服は塗れて

凄壯たる二勝戦

◆覇権は何れが握るか

夕刊所報の如く、關東蹴球大會の第二日は、寒風を會して十二日正午から大家高師グラウンドに舉行した。青師對佐倉中學附屬中學對埼玉師範の一勝者戦が、

人氣を 呼び各校の応援

關は勿論都下のファンは此天候にめげず押しかくるもの頗る多く、四週には人垣を造つて居た試合が益々益々になるに伴れ選手の白いパンツは泥塗れとなり肌もあらはな膝頭よりは鮮血逆する程の激戦となつて来る。接戦は赤白旗を打ち振り聲を震らして絶叫する、その激壯なる

光景は

観衆の血をも湧かしむるに足る、敗るもの勝も孰れも涙あり、負けて大回を期するも勇ましく勝つて勝者の悲哀に響ふまた男性的である、斯くて

蹴に常に懸せられ、ハーフタイム前後に五點を収めらるる。△後、牛山、となるや豊師の攻撃愈々鋭く肉強戦は常に豊師の壘門近く演ぜらる、泥濘を胃して豊師勇を振ひて防戦に極力を盡せども豊師の快走蹴球に堪えられず豊師遂に七對零にて收れる

【青師】

花野藤村 奈川 立間 澤藤山 一勝者
小佐佐形 朝原 足安 岸加 杉
G RFB RHB RHB RWF RIF F LWF
G RFB RHB RHB RWF RIF C LWF
地地山林崎中麻中藤沼田
菊澤崎小樋畑當田加渡忍

埼玉師辛勝

▲前半戦、埼玉師範對附屬中學の一勝者戦は午後三時三十分、佐々木氏附中方のキックオフに開始、概して附中は攻勢を取りしが、埼玉師亦屢々壓迫する事勢から一進一退觀衆亦頗る緊張せり、初め附中は有利なる自由蹴を取りたるが得點なく却つて前半戦終りに近づく時埼玉師は附中の壘を衝いて一點を占め意氣頗る昂る(以下欄外)

【埼玉師】

▲後半戦、(審判和田氏代る)附中は珍らしくヘラルチャーキックを取り今度は慎重なる態度にて蹴込が一點を得て、意見漸く昂る戦況愈々烈しさを加へ、應援

兩軍熱し接戦ありしが兩軍點を加へず結局同點となり規則に依り隅蹴の數に依つて勝敗を決せんとし是亦同數にて終門蹴の數に於て勝負を決する事となり終に埼玉師は辛うじて勝つ事を得たり

【埼玉師】

崎澤藤入 田根田原田山井 四勝者
岩黒齋田入小吉大岡秋石
G RFB RHB RHB RWF RIF C LWF
G RFB RHB RHB RWF RIF C LWF
藤口野藤山永河路岸木上
齋藤松伊岡松中山崎鈴川

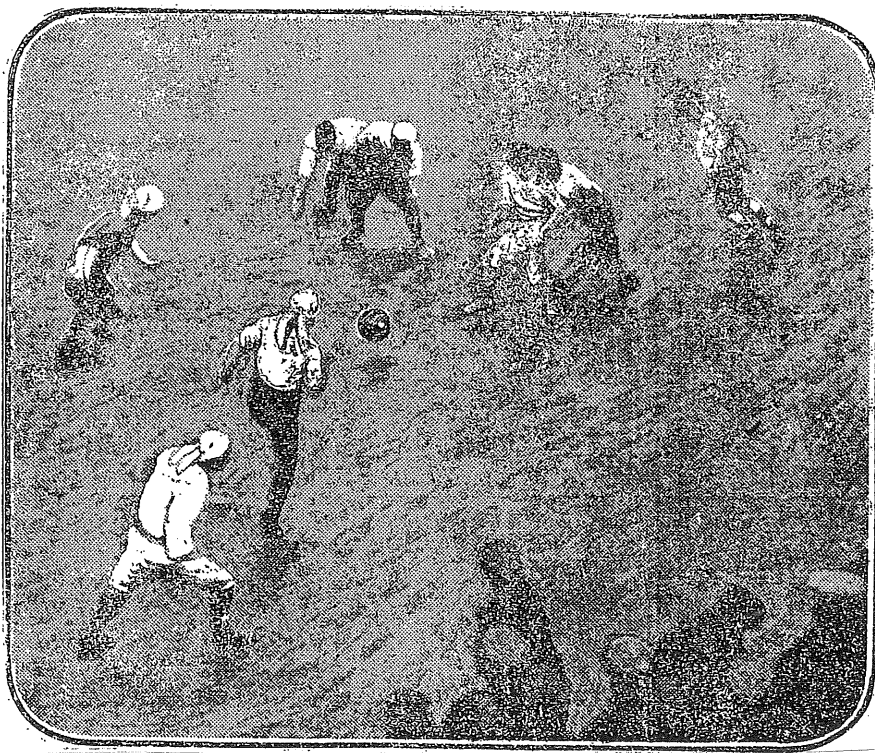
成城一曉星零

▲前半戦、成城對曉星の一勝者戦は午後四時二十分、フエリ露木氏成城方のキックオフにて開始、泥濘愈々甚しきも長蹴多く喝采しきりに、熱狂せる前技のあどを承けて、應援の意氣軒昂す昨日にまして盛なる應援にたすけられてか成城方は概して壓迫しつゝありしが得點なし

【成城】

▲後半戦、に入るや、曉星猛烈として攻勢をとりつゞけ、兩軍を先途と亂戦す、然るに成城方一たび敵門に迫るや、隅蹴をどんと續いて五度、大勢已に決せんとすとき、成城の左インナー山田ゴールをおしこみ遂に一點を得て明瞭に勝つ

熱戦の様子(挿絵)



◆本日の

速池	田	田	田	原	田	桐
早小	飯	深	渡	宮	山	來
G RFB	RHB	RHB	RWF	RIF	F	LWF
G RFB	RHB	RHB	RWF	RIF	C	LWF
中野村谷多知村	留山内立田	留山内立田	留山内立田	留山内立田	留山内立田	留山内立田
平杉板本越川	慈青山足尾	慈青山足尾	慈青山足尾	慈青山足尾	慈青山足尾	慈青山足尾

◆二勝戦◆

關東蹴球大會第二日の一勝者戦は前日にも増して大接戦を演じ、結果本日左の如き組合にて

三勝戦を行ひ午後又決勝戦を行ふ事となつた因みに本大會の會場たる日比谷公園のグラウンドは前日來の降雨にて本日も使用し得ず、己むを得ず本日も高師グラウンドに於て午前七時より舉行する事となつた本日の組合は左の如く決定した

埼玉對成城(午前八時)
豊島對青山(午前九時)

決勝戦(午後二時)

因に本日の番外試合は左の如し、農大對高師(午前七時一八時)民衆對東京蹴球團(十時一十二時)桐谷對アストラ(十一時一十二時)帝大對高師(正午一十二時)朝鮮對臺灣團(一時一十二時)名古屋蹴球團對東京蹴球團(三時半一四時半)

蹴球大會

最終日

晴れの決勝戦 豊島師優勝す

三勝戦より優勝戦へ 応援団の熱狂物凄く 観衆實に數千

優勝の日が来た。第四回蹴球大會が十一日から日比谷に大塚に連日寒氣と雨雲を冒して戦つた各校

精銳の

八時から高師グラウンドに準決勝の三勝戦を行ひ、成城中隊を破つた豊島師と青山師とを懸した豊島師とが此處に二時から、應援隊の戦を行ふこととなつた。前日迄降り続いた雨は降りなく、寒氣の日に晴れ渡つた絶好の日和、昨日此壯快極まる

大接戦

をみると大塚原頭に乗る豊島のファンは千餘成城師と豊島の懸戦は數百ギツシリと四周を取巻く形を待たせ、是より先午前七時からの豊島高師の番外試合も済んで三勝戦たる晴玉師成城の試合が始まる頃漸く應援隊は元より

観衆も

亦熱し始めた、應援隊が旗を高唱され、場内はいつか殺氣を帯びて決勝戦に近づいて来る選手の前には決意が溢れ、観衆の興奮は、騒動更になつて来た。

其微笑

を表はして熱心に眼を注いで居たが午後四時十分豊島師は五對一のスコアで晴玉師を破り、三度決勝の榮冠を握り、光榮ある優勝旗及び優勝牌は數千の觀衆の喝采裡に後藤會長の手から授與された

高師一農大零

△前半戦 農大對高師の番外試合は午前七時村井氏審判農大のキックオフにて開始前日驟雨られた運動場はゴツ／＼に凍り堅い氷を生じたれば其上を疾走することは前日は別な意味にて頗る困難に見えしが物どもせず入脚れて戦ふ兩軍得點なし

埼玉師一成城零

△前半戦 成城中隊對埼玉師の二番者戦は午前八時山田氏審判

の試合は午前九時十五分高橋氏審判青山方和田のキックオフに開始兩軍技術伯仲し一方押寄すかど見るに他方盛返し其度毎に兩軍の應援團は白熱して喊聲を揚げ増し戦ひて豊師猛烈と肉薄するを見るや左ウイング忍田美事に一點を先取り青山方奮闘勢ひに挽回せんとし數度敵のゴールに迫り敵を危地に陥れしも惜しい哉機會を逸して得點なくハーフタイムとなる

△後半戦 位置を變へて激戦に移るや日漸く高く凍結して居たグラウンドも解け兩軍泥塗れとなつて戦ひ度々を極む熱烈なる應援裡に兩軍一進一退して何れが勝る可しとも見えず遂に後半戦は兩軍得點なく結局一對零の大接戦にて豊師勝つ

△後半戦 桐窓會アストラ倶楽部の番外戦は午前十一時露木氏審判にてアストラ方のキックオフに開始アストラ幾分技術勝れたるが先づ一點を収め續いて更に一點を加ふ後半戦に於ては兩軍必死の奮闘を試みし得點なく結局二對零にてアストラ勝つ

△後半戦 桐窓會アストラ倶楽部の番外戦は午前十一時露木氏審判にてアストラ方のキックオフに開始アストラ幾分技術勝れたるが先づ一點を収め續いて更に一點を加ふ後半戦に於ては兩軍必死の奮闘を試みし得點なく結局二對零にてアストラ勝つ

豊島六埼玉一

數時間の休養に戦氣を回復したる三勝者豊師と埼玉師とは午後二時半愈々相対して今年の覇を定むべく出陣す。竹内氏審判の下に豊師加藤のキックオフに決戦開がる。その意氣まっさに天をもつべく地をも拔くべし。かくて應援團の盛んなる聲援裡に兩軍互に秘術をつくりて戦ひしが、豊師方前軍左翼忍田の長蹴的を誤らず一點を先占してより漸く攻勢をとり續け、ハーフの中堅福崎よく球をうけ長蹴以前軍におくり、敵をしておのが陣地に入らしめず。埼玉師は少しく氣を呑まれたる折しも、門守にスリーステップスの反則ありて、ゴールの直前にて敵が自由蹴をされる憂目にあひまた一點をとらるることとなり、こゝに於て猛然奮ひ立つて攻撃しゴールに肉薄するや、前軍中堅四方田猛烈に蹴込みて一點を回復し、意氣また頗る昂る、されど豊師方亦この刺戟によりて益々怒り立ちその氣當る可らず、絶えず壓迫をつけて、前軍右翼常藤は忍田のパスをうけて見事一點を獲得す。埼玉師方ふるひ立ち攻勢をとるこゝ暫時、遂に持續し得ずして再び防禦に立たんとするときハーフタイムとなる。(三對一)。

高師二帝大零

帝大對高師の番外戦は小田内審判午後零時半高師方生田のキックオフ開始最初帝大方壓迫し勝ちたつたが高師方左前方衛ウインガ高橋ハーフラインの線より疾風迅雷の勢にて巧に球を運び見事一點を先取り帝大方力戦ハーフタイムとなる後半戦に移るや一進一退の形勢を持續してハーフタイムとなる後半戦に移るや泥中に揉み合ふ事暫し高師方後藤パスを受けて蹴込み一點を加へ帝大終に得點なく二對零にて高師の勝となる

アストラ二桐窓零

△前半戦 桐窓會アストラ倶楽部の番外戦は午前十一時露木氏審判にてアストラ方のキックオフに開始アストラ幾分技術勝れたるが先づ一點を収め續いて更に一點を加ふ後半戦に於ては兩軍必死の奮闘を試みし得點なく結局二對零にてアストラ勝つ

臺灣朝鮮無勝負

臺灣對朝鮮の番外試合は山田氏審判午後一時半臺灣方のキックオフに開始兩軍ユニホーム交換し數千の觀衆に圍まれて奮闘又奮闘朝鮮方は防禦に臺灣方は攻撃に夫々得意を表はして戦ひが得點なく後半戦に入りしも結局無勝負のスコアとなる

名古屋對東京引分

名古屋蹴球團對東京蹴球團の番外試合は審判和田氏東京側の佐佐木のキックオフに始まる此チームは言はず關東の強と關西の強を兼ねた強チームと云ふべし

※次ページにつづく

猛練習に勵む

全関東蹴球の覺悟

上海での必勝を期し

京濱内外チームと奮闘

昨下及東京各學校と一戦蹴球の
 試合より或る全関東蹴球チ
 ムが生れた、このチームは海部平
 本氏をマナジャーに西師其他の
 ラウンドマンを任職し、一週
 に二期を充て、外人チームの
 小キをあげに行き、この練習合
 合を以て五月上海の海東オリ
 ムに大奮に日本代表選手として
出場を 期して居る右
 に、このチームは、大奮に苦
 し作り上げたチーム、才か之は秘
 が、體育協會の職員委員長だからと
 出つてオスインシャルなものでは決
 してありませぬ、勿論代表チームの

- 候補として申込みますが、標準を中
 込まれたら何處のチームとて、試
 合をし、優勝チームとして代表に
立たう と思ひます、
 外人のコーチを以て二ヶ月後彼
 等と同等のチームを作る様になれ
 ば上海へ行くても負はしないと信
 じます」尚選手及位置は左の如し
- 師(大) 師(大) 師(大) 師(大) 師(大) 師(大) 師(大) 師(大)
 - 高(高) 高(高) 高(高) 高(高) 高(高) 高(高) 高(高) 高(高)
 - 水(水) 津(津) 津(津) 津(津) 津(津) 津(津) 津(津) 津(津)
 - 清(清) 野(野) 野(野) 野(野) 野(野) 野(野) 野(野) 野(野)
- GK RFB RHB CHB LHB RWF RIF CF LIF LWF

T 10-3-1

※ 前ページからのつづき

兩軍のメンバー及記録の概要は、

- 【崎師】
 崎海藤 入田 權田 原田 山井 門脇
 岩野 齋田 八小 吉 大 四 萩 石 自田
 GK RFB RHB LHB RWF RIF CF LIF LWF
 地地 山 林 崎 井 藤 中 藤 沼 田 自由
 菊澤 崎 小 種 堀 富 田 加 忍 密則
 【豐師】
 反則四

大會を終へて

◆ 長員委坂熊 ◆

○ 第四回蹴球大會
 は無事に終を告げ
 た。會長後藤男貴
 族院議員永田秀次
 郎氏が多大の援助
 を與へられた事は
 本會の光榮とし蹴
 球將來の發達の爲
 め大なる感激ある
 事と信し謹んで謝
 意を表する。

○ 吉例によつて絨や雨に祟られ
 日比谷も高師校庭も泥濘脚を没
 し選手諸君にはお氣の毒に堪へ
 なかつた。併し諸君は天候との
 戦に見事に勝つた、また東青嵐
 氏の所謂剛健な青年の意氣は遠
 感なく發揮された、殊に各チ
 ムの技倆は著しく進歩して演技
 に於てもスポーツマンとして近
 來にない立派なものであつた。
 優勝戦参加のメンバー百五十人
 は一人として優勝たらざるはな
 く優勝者となつた豊師のみの獨
 占ではない。切に各選手諸君の
 自重を望まざるを得ない。

○ 唯一つ遺憾に感ずるのは運動
 場不完全である。日本の中に
 特に大東京の中に一つ位は立派
 なものを持たないものである。
 國民の體育に顧慮し競技に興味
 を有する方々の同情と賛助とを
 希望する。

○ 番外に出演されチームの諸君
 並に熱心な後援をされた朝日新
 聞社に敬意を表する。

T 10-2-14

蹴球の遊び方

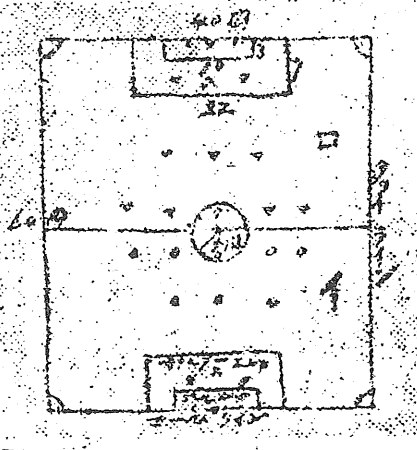
運動場の設備と競技者の役割

蹴球にはア式(フツフツション)とラ式(ラグビー)との二種類ある。現今我國に盛く行はれてゐるのはア式でラ式は慶應大學其他二三の專門學校に於て試みられて居るに過ぎぬ。

【運動場】 縦六十間横四十間

廣さは理想的であるが普通は幼稚園や中學校の運動場なれば結構である。

【人数】 一は十一人夫々次のやうな任務に當る。



(前衛) 五人で特に中央の人をセンターといふ前衛は専ら攻撃の任に當るのであるからよく走る。

(中堅) 三人中央の人を特にセンターといふ中堅は攻撃防禦二通りの任に當るのであるから身體の大きなキックを能く蹴る人を適當とする。

(後衛) 二人専ら 蹴るに當る此所

で失敗すれば最早取返しのつかぬ事になる故如何なるキックをも外す事なく正確に蹴り得る人で而も剛毅果斷の精神に富んだ人を適當とする。

【門守】 一人この人のみは手を使用してもよい他の十人は蹴對に手を使用する事はならぬ。

【チームの閉】 十一人中の一人はキャプテンと稱しその組を統し他の交際にも 蹴味方兩組のキャプテンは普通 拳によつて前衛の(イ)又は(ロ)の位置を取る二十二人が各自已の位置につけば先づ位置を取つて反對の組が前衛の合圖を待つて蹴り始めるこれによつてゲームは開始されるのである普通四十五分経てはハーフタイム(中休み)といつて五分間休む位置を代へ向四十五分行つて結局九十分同勝負を争ひ其間の得點によつて勝負を決する。

【得點】 (ゴールイン) ゲームが開始され一進一退キックは右往左往を繰り返してある上手な人の足に來たときすればその人は一生懸命

命足でキックを運んで高さ八尺中門間の間の中に蹴込みそのキックが門を運り入れれば一點として數へるそこで再び最初ゲームを始める時の陣形に 再び行はれるのであるがこれ等は皆審判の笛の合圖に従ふのである。

【キックの種類其他】 ゲームの最中に審判は時々笛を吹いてゲームの中止を命ずる事がある。

(イ) 命令の出る場合を述べやうキックより外に出た時をの出した反對の組の者は投入といつて頭の上から味方に有利なやうに投げられれば直ちにゲームは細くのである。

(ロ) コーナークイック及びゴールキック、キックがラインより外に出た時若し味方が味方の方のゴールラインの方に出した時はキックを運動場の隅から蹴られる事になるこれをコーナークイックといふ次に敵ゴールエニアの線上から敵の方に向ふて大きく蹴るのであるこれをキックといふ。

(ハ) フリーキック敵が故意に手をキックに觸れた時は味方のものは自由に敵の方を自かけて蹴ることになるこれをフリーキックといふ。

(ニ) ペナルティキック大體ペナルティエニア中で防禦側のものが反則した時はその罪としてそのエニア内の中央の點より蹴られるのである。

極東大會豫選

蹴球試合決定

日割り組合

極東大會豫選關東部蹴球試合は、愈々来る十六日より東京高師ヲラウンダーに開催する者で、試合日割り組合は左の如く決定せしむ。四月十六日土午後一時半選手入場式及び給球式舉行。午後二時。アストラ対埼玉師(一回戦)同四時、全關東對名古屋(同)▲四月十七日(日)午後一時。全關東對名古屋(二回戦)同三時。アストラ對埼玉師(同)▲四月二十三(日)午後二時。アストラ對埼玉師(三回戦)同四時。全關東對名古屋(同)尙關東決勝戦は四月二十四日三十日及五月一日の三日間午後二時より舉行全日本決勝戦(關東對關西)は五月五日、七日、八日の三日間に行ふ由因に豫選會は時間的拘らず執行し規定時間に遅刻せるものは賞をなし會場では極東旗の運用を廢す。

T 10. 4. 14

運動界

極東大會東京豫選

申込は本日限り
蹴球は會場變更

池袋高師校庭に
極東大會東京豫選上野技會場既報の如く来る二十三、二十四日約場ラックに舉行される者で愈々本日限り申込締切となる此際參加希望者は至急申込の必要がある、因みに體育協會宛日本選手派遣會附金は十四日迄に一千七百二十一圓に達し維持員中込は六百四十圓に及んで尙四月十六日から高師校庭に舉行豫選の極東大會豫選關東部蹴球大會は都合に依り池袋高師校庭に變更した入場料は金三十圓

T 10. 4. 15

蹴球戦

アストラ對埼玉師範の試合

極東大會豫選關東部蹴球試合は、愈々十六日午後池袋高師校庭運動場に開催が開始された春光を受けて四回戦の優勝が激戦に落化する時午後二時十分參加員の入場式が行はれたアストラ埼玉師範(名古屋は都合に依り不参加)の三チーム奮闘を語る。アストラは、中央に整列し山甲委員長の挨拶の後第一戦たるアストラ對埼玉師範の一勝戦がソフエー、吉川氏のプレー、宣告に山洋博士、女球を蹴り始めアストラ方のキックオフに開始せられたが埼玉師範はアストラ勇躍して一挙三點を先取し大に優勢を示した。

ア軍四埼玉零

アストラ對埼玉師範の二回戦は午後二時十分ソフエー、吉川氏ア軍のキックオフに試合を開始す。前半戦、ア軍優勢を示し激戦近く追り一度埼玉に門蹴を與へたが直ちに一點を先占され間もなく更に二點を加へたる。爾後埼玉奮然として挽回し激戦に迫り隅蹴を得し得點に迫らざる可き蹴り返されてア軍又一點を得たる。後半、ア軍タイムとなる(ア四、埼玉一)。

T 10. 4. 17

ア軍勝つ

一二對零て

蹴球第二回戦

アストラ對埼玉師範の蹴球第二回戦は十七日午後三時野師グラウンドに舉行ソフエー、吉川氏ア軍のキックオフに開始す。前半戦、ア軍優勢をとり隅蹴間もなく山内一點をとりしが埼玉奮戦して爾後得點を與へず、ア軍タイムとなる。後半戦、埼玉勇躍して敵陣近く肉蹴し數回チャンスを作りしが逃し却つてア軍に一點を與へ結局二對零にてア軍再捷一勝者の勝利を得た。武川多村生村達内田切川、門蹴五、自由五、懲罰三。

T 10. 4. 18

極東大會豫選會

蹴球決勝試合

極東大會豫選蹴球決勝は一勝戦の必要なく勝者決定せし爲め全關東蹴球對アストララフの關東決勝試合を左の如く舉行する由。▲第一回戦 四月二十四日(日)午後二時 ▲第二回戦 同三十日土午後二時 ▲第三回戦 五月一日(日)午後二時

T 10. 4. 23

本日の豫選會

蹴球 第一回戦は午後三時より池袋高師校庭

T 10. 4. 24

池袋高師校庭で
關東部蹴球豫選會は本日午後零時、半より池袋高師校庭に舉行選手入場式岸博士の始球式を行ひ午後一時試合開始、番組左の如し。アストラ對埼玉師 全關東對名古屋

T 10. 4. 16

決勝の快

極東豫選大会

【日二第】

快晴無風の今日、櫻は過ぎて初夏気分の一気清涼、極東大会豫選は駒場の陸上競技、芝浦の野球、早稲田の蹴球、池袋の蹴球と、我れこそ参加資格を得んとての熱狂振り、記録は次ぎくに新たな興味と期待を惹きつゝある

蹴球豫選

蹴球豫選アストラ對全關東の第一回戦は二十四日午後二時池袋豊師校庭に舉行レフユエー吉川氏ア軍のキックオフに開始
△前半戦ア軍攻勢を取り三十五分にして安達ゴールインを爲し一點を占め大に優勢なりしが全關東焦らず前半戦に於て三點を獲占す
△後半戦ア軍焦れども振はず全關東無入の境を行く如く八點を占むア軍全力を盡して防げども能はず結局十一對一にてア軍大敗せり兩軍の陣容左の如し

- (全關東) 水木野屋藤塚橋藤染藤橋 清露星守後戸高後井安大
- (アストラ) 武川谷生村村達内田切川 田谷 吉澤坂麻松河安山池小長
- K.F.F.H.H.F.C.F.L.F.F. 田谷
R.C.L.W.R.R.L.L.W.L.W. 田谷

T 10.4.25

全關東一勝

六對零

關西學院敗る

全關東對關西學院の蹴球豫選決勝試合第一日戦は六日午後三時半小雨を肩して開戦したレフユエー和田氏試合は關西方のキックオフに始まる

△前半戦 關東軍稍優勢にして敵壘に近き隅蹴二を得たるも入らず關西ひるまず見事なるパススルに廣田をを試みしも得点なく關東押し返してペナルティーキックを得安藤見事にゴールインし一點を先占す暫くして關東軍敵門近く競合一時守屋の一點又もゴールインして一點を加ふ後關西方奮戦隅蹴を得しも得点に至らず一進一退益々接戦となり關東二、關西一隅蹴を得しが入らず再び奮戦の後安藤のキックに關東又も一點を加ふ、關西大に努め一隅蹴を得しが入らずハーフタイムなる(東三、西〇)
△後半戦 細雨又一しきり降る中を兩々押しつ押されつ苦戦を重ね關東奮く敵門に迫りしも好機を逸せしが遂に後藤勇躍して一點を占

T 10.4.25

T 10.5.7

極東大會豫選

豪雨泥海中の蹴球戦

決勝二回戦に全關東又勝つ

全關東對關西學院の蹴球決勝第二回戦は七日午後二時半豪雨、雨足脚を没する泥濘を肩して豊師校庭に舉行すレフユエー吉川氏試合は關西方のキックオフに開始

△前半戦 關西軍の急進が、關東軍を苦しめ、關西が先占すプレーにより、約六分間もなく關西押し返し敵門に迫りしも又も押返さる關東次に隅蹴を得しが却つて不利に陥り關西の奮戦目覚しく敵門に近づく時又もオフサイドありて機を逸すれど關西の追撃頗る急にして關東方ゴールライン上に猛烈なる押し合ありしが入らず結局隅蹴を得しのみ絶好のチャンスを通す、關東奮然として安藤後藤各一點を加ふ關西再び敵門に迫りしが又得

- 關 西 川生田良井橋本木野村田 門蹴六
早室水會永井橋藤染後不安 自由三
得點〇〇
- 關 東 酒星露野守 大安後井高 門蹴九
水野木津屋 橋藤藤染藤橋 自由五
得點〇〇
- G.K.F.F.H.H.F.C.F.L.F.F. 門蹴六
R.L.C.H.H.R.L.W.L.L.F.C.F.R.I.W. 自由三
得點〇〇

T 10.5.8

極東競技

我が選手

活躍す

第二日記録

卅一日上津野派員選

蹴球 (第二回戦)
支那對比律賓の蹴球戦は一對零にて支那勝つ

T 10.6.1

◆ 婦人蹴球の魁に

起たんごする二女學生

—昨日豪雨中豫選の蹴球見物—

ついで此程東京蹴球國へ二女學生が入團を申込んだ、意外の事に一驚した幹部は種々研究もし相
談もした場句彼女等の希望は頗る眞面目に蹴球を研究し婦人チームを組織したい目的だと判つ
て入團を許した、兩女は共に櫻井女塾の生徒で本科一年生小笹洋子(こ)と河部かね(い)と云ふ
性來の女フアンで極東大會の蹴球豫選開始以來一日も缺かさず熱心な揃ひの洋装で豊島師範の
グラウンドに詰めかけ昨日の如き土砂降を物ともせず熱心見物して居た、蹴球國の佐々木氏は
「驚いたもので十四、五人婦人のMEMBERも拵へ上げ先づランニングから初めてキックに進む環
と頗る科學的にやつてゐる」と語つた



T 10・5・8

極東競技

薄曇りの第三日

一日午前十一時上海渡

蹴球 (日軍敗る)

日本對支那の蹴球試合は五對零にて日本惜しくも敗れたり

T 10・6・2

◆ 蹴球

支那四、日本五支那勝つ

T 10・6・4

(第5日記録)

極東競技終る

◆ 蹴球 (決勝)

上海フットボール俱樂部對友誼チームの蹴球は三比零にて友誼隊が優勝

T 10・6・5

(第6日記録)

蹴球協會

設立さる

十一月頃大會

ア式蹴球奨励の目的で英國蹴球協會から一昨年の春我國駐劄英使館大使館領事館を發付して來たので我國蹴球協会の組織者協議の上日本蹴球協會を設立して徳川家達公使英國大使が名譽會長となり全國的の優勝試合を舉行する計畫の事は當時の紙上に報道した處であるが同會の設立はいよいよ具體的となり十一月頃から同大會を開く事に決定した

T 10・9・18

蹴球豫選

昨日の一勝者

蹴球協會主催日本選手権蹴球東京の豫選第一勝者は十九日午後一時から高師並に高師グラウンドに同時に行はれる結果左のスコアを以つてアストラ、青師、マイガー、高師グラウンド

- ▲アストラ 零 獨逸協會
 - ▲青山師範 四 水戸高校
 - 青師グラウンド
 - ▲マイガー 四 臺灣青年
 - ▲臺灣青年 一 高師師範
- 尚本日は午前八時半から高師グラウンドに於て一勝者の續ぎ及一勝者戦を催す

T 10・11・20

蹴球豫選

廿六日優勝戦

蹴球協會主催の關東社豫選一勝者戦に二勝者は引き續き二十日午後八時から高師及慶師グラウンドに舉行せる結果左の如し

- ▲一勝者戦 負 山
- 早高學院 〇—〇 慶師
- (兩軍スコアせず抽籤の結果早高の勝)
- 寛科大學 零 明治學院
- フロン 四—〇 佐倉中學
- 慶師師範 六—〇 橋本二中
- ▲二勝者戦 負 負
- 早高學院 三—一 ドラゴン
- 慶師師範 一 慶師 南科大學
- (以上高師グラウンドにて)

- ▲一勝者戦 負 負
- 青山師範 一—〇 ギイガア
- 東京蹴球 六—一 慶師師範
- 附屬中學 一—一 アストラ
- (兩軍二點にて抽籤の結果附屬中の勝となる)
- ▲二勝者戦 負 負
- 青山師範 三—〇 埼玉師範
- 東京蹴球 五—〇 附屬中學

T 10・11・21

東京蹴球團

優勝す

蹴球豫選決勝

蹴球協會主催日本選手権蹴球の東京蹴球團の試合は二十三日午後二時より高師グラウンドに舉行レフエリ、高橋氏陣軍奮戦火花を散らしたがハイフタイム前に於て青師のゴールが少し出過ぎたる爲め敵に二點を先占され更に一點を加へたる蹴球團は青師の奮戦を辛うじて喰ひ止めたハイフタイム後なるや兩軍奮戦好守して得點なく結局二對零にて、蹴球團に優勝した閉戦三時四十分兩軍のメンバー左の如し

- (蹴球團) 永本 田橋 齋藤 尾手 原 齋 若 田
- (青師) K 齋藤 山 大 橋 守 崎 富 安 齋 藤 廣 井 山 谷 川 齋 藤 尾 手 原 齋 藤 中 水 齋 藤
- (青) 向 島 齋 藤 佐 山 曾 田 齋 藤 平 齋 藤

T 10・11・24

蹴球準決勝

蹴球協會主催の全日本選手権蹴球東京の豫選は引き續き開戦のころ今日午前九時から大塚高師グラウンドで準決勝を行ひ左の如き成績を以つて青山師範並に東京蹴球に三勝し午後二時から兩チームの決勝戦を行ふ事である

- 青山師範 二—〇 早高學院
- 東京蹴球 二—〇 慶師師範

T 10・11・24

◆本日の運動(廿六日)

▲全國蹴球協會主催の日本選手権蹴球ア式蹴球決勝戦、青師對名古屋蹴球團山口高師對東京蹴球團の試合は本日午後一時より日比谷公園グラウンドに舉行

T 10・11・26

全國蹴球 爭霸戰

日比谷で

全國ア式蹴球争覇戦は二十六日午後一時から寒風吹き渡る日比谷原頭に其第一回準決勝戦を行はれた。定刻蹴球場は四角を取巻く主権者たる蹴球協会の委員は赤宛章を掲げて観かんと準備に忙し、山口高等學校は俄に棄權して来たので東京蹴球團は不戦一勝となり御影師範對名古屋蹴球團の試合が行はれ、其勝者は明廿七日東京蹴球團と決勝を行ふ筈である。委員がラインを引き終らぬ時、ホームを掲げた御影師範のチームが出場し、ウオームアップを始めると観衆は定刻参加三チームの出場式が行はれ、御影、名古屋の兩チーム部署に就き眼望しい戦闘が開始せられ

拍手を浴びせる、観て

御影師範勝つ

蹴球準決勝戦

(夕刊後報)日本選手権争覇蹴球大會の御影師範對名古屋蹴球團の準決勝戦は廿六日午後一時二十分より日比谷球場に舉行し、エリー生田氏御影のキックオフに開始、前半戦御影最初より攻勢をこりて敵を壓迫し見事な走力と輕快なパスに依り巧みに敵陣近く攻めたが名古屋好く守つてゴールを與へず、後半戦に入り御影飽くまで攻勢を取り鮮やかなヘッティングやドリリングで功を奏し強敵に敵を壓し名古屋よく捕へて奮戦したが御影の左翼藤原のキックに名古屋のキーパー遂に防ぎ切れず敵に一點を



昨日の蹴球戦
右ニキョット大崎三山田主将
(日比谷の争覇戦)左ニ三田の全
關東西の試合

先古され御影は益々勢を得たるが名古屋意氣衰へ遂に三點を加へられ結局四對零にてタイムとなる即戦三時

出木多田木野田田内村
偶蹴四
門蹴三
自由二
得點〇

下鈴寄眞鈴管内石松小北
偶蹴四
門蹴三
自由二
得點〇

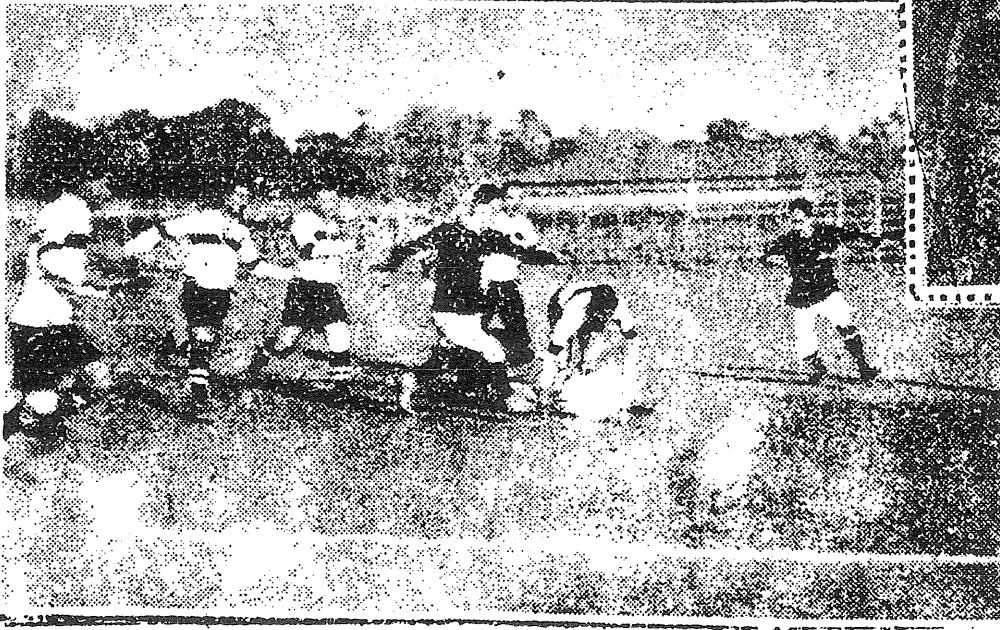
G.R.L.R.C.L.H.H.W.F.F.F.
G.R.L.R.C.L.H.H.W.F.F.F.
G.R.L.R.C.L.H.H.W.F.F.F.
G.R.L.R.C.L.H.H.W.F.F.F.

木橋上瀧里 野上戸山原
偶蹴三
門蹴二
自由一
得點三

御影 三高井澤今 告井城丸藤

今日の蹴球 (廿七日)

▲全國争覇 蹴球協會主催のア式蹴球全國争覇決勝御影師範對東京蹴球團の試合は本日午後二時日比谷球場にて



T10-11-28

東京蹴球團

遂に覇權を握る

昨日の競技決勝戦

ア式蹴球全國優勝競技會第二日決勝戦は廿七日午後二時から日比谷公園グラウンドで高橋氏審判の下に御影の坂戸のキックオフに開始された。前半戦御影は最初から巧みな連絡振りを見せて盛に東京軍のゴールに肉薄して東京軍を脅かしたが東京軍も堅實に防戦に努め一進一退互に秘術を盡して努め、各一を得たが終に得點するに至らず、ハーフタイムとなる。後半戦東西軍位置を代て盛な意氣を以て奮したが開戦後約十分御影軍少し浮足立つ見ると時ライトロイングの菅家の巧みなセンターフオーワードの安藤の巧みなヘッティングが効を奏して一點を先取したのに益々意氣昂りバス其他自由自在になり終に敵を乗せしめず、遂に御影軍のゴールを衝き御影軍も遂に奇蹟を試みたが兩軍得點なく結局一對零で東京蹴球團の勝となつた。開戦三時四十分メンバー及びスコア左の如し

木橋上瀧里 野才戸山原得點零
偶蹴三
門蹴二
自由一
得點三

御影 三高井澤今 林告井城丸藤
偶蹴三
門蹴二
自由一
得點三

東京 清水露星山通守青常安淺忍 偶蹴五
門蹴三
自由二
得點五

斯くて東京蹴球團は全國ア式蹴球の覇權を握り英國ア式蹴球協會から寄贈された大カツプを英國大使エリオット博士の手から花環は岸博士の手から授與された

T10-11-28

T 10 . 11 . 27

大正 11 年

◇回五第◇ 大蹴關 會球東

◇會期と會場 二月十一日(紀元節)十二日(日曜)十

九日(日曜)の三日間日比谷公園芝生グラウンドで

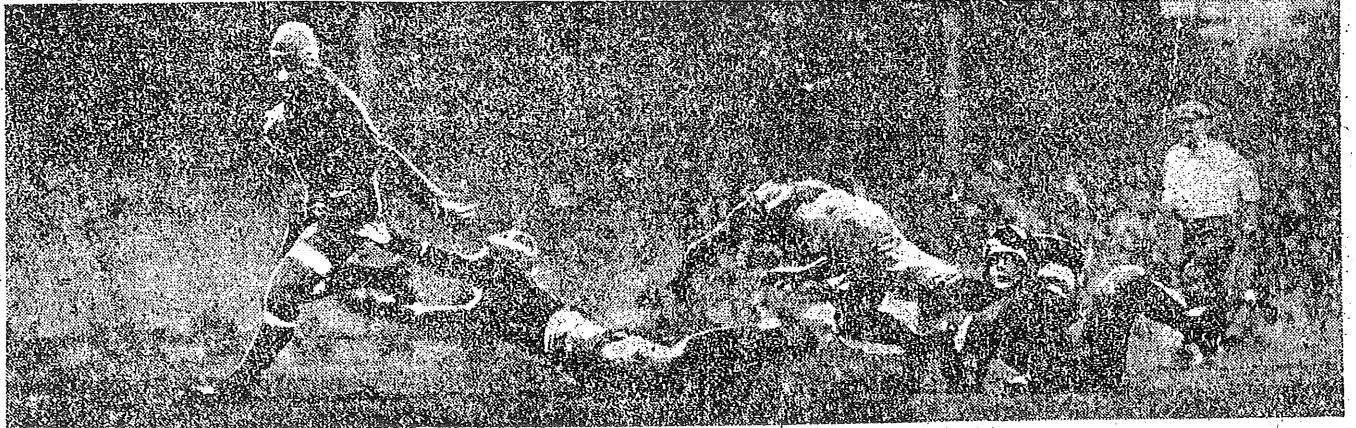
◇参加校

豊師、香師、培師、鎌師、曉星、明學、成城、獨
協、豊山、群師、壽師、砺師、横中、茨師、佐倉、早實の十六
校精銳悉く集る

◇主將會議

今四日午後七時から本社樓上に参加者
一ムの主將會議を開く

東京朝日新聞社後援



米國紐育學生の
フット・ボール競技

ウイントンター スポーツとしてこの フットボール

最近異常の發達 を遂げたラ式蹴球

陸 郎 生

ウイントンター、スポーツとして歐米の戶外に冰雪を踏み、霜柱を蹴つて最も男性的に心身を陶冶するスポーツにはアイス・スケーティングありホッケーありスキーありフット・ボールありで何れも最近異常の普及と急足の發達を遂げつゝある事は多少でもスポーツに心あるものは齊しく認むる處である。中に全盛期に到達した野球に次いで近年著るしく普及發達したフット・ボールはウイントンター・スポーツとして其間に數へても異論がなからう、来る節元節の十一月と十二月十九日の三日間日比谷公園に於て東京蹴球團主催東京朝日後援の蹴球大會が催されるから、これを機會に少しく述べて見たい。

元來フット・ボールは英國の國技である。此の國技を米國人が採用してアメリカン・フット・ボールを案出し、今や米國の國技である野球を凌駕する勢ひを示して居る事は昨日今日ではない。米國に於けるユール、ハーバート全大學のフット・ボール野球蹴球は同大學のポートルニスと共に全米のファンを吸引し、其熱血を湧かして居る同じく西部に於けるスタンフォード、カリフォルニア兩大學の夫れも之に劣らぬ熱狂振りを見せて居る。我が國に於けるフット・ボールの歴史は決して新らしいものではないが傳來の初期に於て野球の人氣に壓倒されて居た爲めか當然來るべき隆盛期が兎角阻止されて居た有様であつた、斯かる状態であつた折大正六年迄滞りて催された第三回の極東蹴球大會で我代表選手であつた高等師範のチームが支那人チームの爲めニツヤク蹴散されて了つた之が、抑我蹴球界の興隆期であつてそれ以來隆盛期が來て漸次隆盛を加へて來たのである。其後昨年五月上海で開かれた第五回の極東蹴球大會には大勝を期し遠征した我代表の全關東チームが又も支那のチームに敗れたをして之が又相當な刺激となつて隆盛を導く事となつた斯の様にしてアツンシエーション式のフット・ボ

ールは大日本蹴球協會の成立を見て昨年十一月には同協會主催で全關東の大會日比谷に開かれ東京蹴球團が優勝して英國の蹴球協會から寄贈のラビングカップを授與せられたのである。以上の歴史を通じて現在我が國に於てア式蹴球を採用して盛んに活動して居る學校チームは東京高師を筆頭として關東には中學の瀨田島師範、青山師範の兩雄を認め成城、明治學院、曉星、高師附屬中學、廣田二中、豊山、佐倉、獨協の各中學、鎌倉、靜岡、坂本、茨城、群馬、埼玉の各師範、關西には御影師範、愛知、同志社、京橋、神戸等の中等學校がある、此外多數の俱樂部チームが生れた。更に最近ラクビー式蹴球が猛烈な勢ひで隆盛を極めて來た從來の慶應義塾大學が、益々味を加へて横浜、神戸の外人チームを一蹴し得る様になつてから京都三高、同志社大學、早稻田大學が勢同し熾最近に至つて東西帝國大學及一高がチームを組織して盛んに挑戦して居る様様である。そして此興味深いラ式蹴球が體てはア式蹴球の隆盛と拮抗し得る形勢を示して來た。此状態から見ても近い將來に興味深い早慶戦が演ぜられ東西兩帝大の争闘戦が全國のファンの血を湧かしむるに至る事は明白な歸趨であらう。我が蹴球は斯くの如くして最も期待され最も意義ある而も最も權威あるウイントンター・スポーツとして歓迎される様になる事は吾人の望みして俟つ處である。



譽れの優勝旗返還
（日比谷の蹴球大会）

蹴球大会 第一日

日比谷に雲集した 一萬のファン

處女球春の光に飛んで 興味深い第一戦は始つた

本邦後援東京蹴球王権の第五回
関東蹴球大会は、待たれた今日の
紀元の佳節に日比谷真頭其第一日
を遂行した例年になき好轉の春日

目覚ししい競技が展開せ

られた、二萬を徐す満都のファン
は場の四圍に購集して試合の開始
を俟つ、午後零時半三越音楽隊の
奏する進行の曲が更ましく響く
頭、前年度の優勝校豊島師範が湖
襷を飾る優勝旗を捧げて先頭を
承り、續く静岡師範、獨逸協會
と云ふ競技の順に精銳十六校何れ
も功績を語るユニフォーム姿凛々
しく壯烈なる

入場式

が行はれた、新
参加の橋本茨城鎌倉各師範に早稲
田密着のチームも前進の意気を見

よと云はぬばかりに強い足並で進
む、浅い春の陽は紅白に彩られた
兩軍のゴール、色彩鮮やかなユニフ
ォームに映して氣持の好い競技氣
分を醸らす、思はず前々観衆の拍
手を浴び乍ら各選手は場を一周し
て正面に優勝旗を直に

優勝旗

の返還が行はれ
た、會長永井道明氏が、後援名譽
會長に代つて開會を宣し蹴球競技
の最も民衆的であり且國際的であ
る所以を説き競技者に對する注意
と激勵とを與へて茲に今日の第一
戦たる静岡對獨協の一勝戦に移つ
た、静岡は純白のユニフォームに
黒のパンツ、獨協は黒赤黄を取り
交せた

奇抜な

上衣に同じく黒
のパンツである、井染レフエリー
のブレいの宣言に永井會長先づ處
女球を蹴つて始球の式を終り、監
判師方のキツク、オフにて午後一
時興味深い試合が開始せられた

静岡三獨協一

審判 井染、鎌倉、鈴木、遠藤

△前半戦——午後零時五十三分靜
師方のキツクオフに始まる、太陽
游雲の陰に入り、微風あり、靜師
のフオワードは烈なる勢にて進み
十四分にして半場の強襲先づ一點
を先取し、獨協の後衛よく防ごも
常に攻めたてられ或はハイフパン
ツの長賊、兩ウイングの強襲に危
地に陥るこゝ數次、静門前の混戦
により又一點を奪取され、獨協憤
然として球を地に倒はせ小さきパ
ツスにて進み、靜師方の業門に迫
り、フオワード、センター中江
肩に頭を當て遂に身を以てゴ
ール内にまで突入して一點を得て
ハイフタイムとなる

△後半戦——に移るや兩軍愈々奮
ひ立ち、攻めつ防ぎつ獨協益々攻
勢に出でよく連絡をとりて進みた
るも得點に及ばず、靜師方これを
返して前衛よく奮闘し又々一點を
奪ひ、時にマイムアップとなり遂
に三對一にて靜師の勝となる

師	花崗亦商 藤月野 藤田川 場	獨協四
靜	小伊勝加佐 望水 齋内 原半	得點三
協	G.F. R.F. L.F. H.H. H.F. R.W.F. R.L.F. C.F. L.L.W.F.	獨協三
協	G.R.L.F. H.H. H.F. R.W.F. R.L.F. C.F. L.L.W.F.	獨協三
協	野村 正廣 江川 松	獨協三
獨	飯島 渡邊 芝 濱西 大 大 中 行 筭	得點一

關東蹴球大會 (第一日)

賞讃と同情

呼物の豊島曉星戦

二萬の觀衆魅殺さる

明治一 鎌師零

審判橋本、線審鈴木、長岡

(夕刊後報) 日比谷原野の關東蹴球大會が第一戦より第二戦に入つて興味漸々と加はつて来る頃、

應援團

取つて激戦し、試合は緊張してレフエリーはプレーの間を縫うて右往左往する、明快なジャッヂに秩序ある紳士的な試合は一刻と進む、観て第一日の呼物たる豊島師と曉星中學の試合が始まつた、

分にて着席の盛況、先二點を叩いて七分満水のキックを交へ一點を加ふ、青師の前進見に足跡を保ちて進み十一分にして平賀の長蹴門に近づくと豊山方守之を外しアウトせんとするを穴倉

△前半戦 午後二時一〇分明治方のキックオフに開戦、時に風勢よりケイムに好適の日相なる豊師の新進、明治の老練なるに封じよく戦ふ攻防共に能く力め、兩軍好い處までの進んでは成功せず結局得点なし△後半戦 一ケイムは益々白熱し互に全力を盡して戦つたが、ゴールラインを得ず、明治愈々攻勢を盛げ好機を逸するも長蹴一大会規定により時間延長され明治追撃益々急、三分にして遂に村田の強蹴力を奏して一點を奪、益々よく戦へども及ばず、一對〇で明治學院の勝ちとなつた、

審判小野田、線審鈴木、安藤 △前半戦青師對豊山の試合は午後三時廿分青師方のキックオフに始まり河川直ちに攻勢に出て開始五分にて着席の盛況、先二點を叩いて七分満水のキックを交へ一點を加ふ、青師の前進見に足跡を保ちて進み十一分にして平賀の長蹴門に近づくと豊山方守之を外しアウトせんとするを穴倉

△後半戦 午後三時三十分、曉星のキックオフに開始した兩軍の長蹴を決定よく戦ひ豊師宇多川の一點にゴールラインを越わ、惜しき一點は豊島方に先取さる、豊島方攻撃を續け奮戦又奮戦、豊師の強蹴にゴールラインと思ふところ三度四度、豊島方の後衛陣の暇なく身を以てこれを防いで入れぬ程なく一變して曉星攻勢の位置に立ち巧なるパスに幾度も攻撃を危くすると救済あつたが惜しき所で機を逃しハーフ、ケイムなる△後半戦になる豊島のパス、豊師も亦よく連絡を保ち、豊師は兩陣地を往復し、兩軍共に、よき蹴蹴を得たが何れも奏功せぬ最近

豊師一 曉星零 審判橋本、線審、橋本、星野 △前半戦 午後三時三十分、曉星のキックオフに開始した兩軍の長蹴を決定よく戦ひ豊師宇多川の一點にゴールラインを越わ、惜しき一點は豊島方に先取さる、豊島方攻撃を續け奮戦又奮戦、豊師の強蹴にゴールラインと思ふところ三度四度、豊島方の後衛陣の暇なく身を以てこれを防いで入れぬ程なく一變して曉星攻勢の位置に立ち巧なるパスに幾度も攻撃を危くすると救済あつたが惜しき所で機を逃しハーフ、ケイムなる△後半戦になる豊島のパス、豊師も亦よく連絡を保ち、豊師は兩陣地を往復し、兩軍共に、よき蹴蹴を得たが何れも奏功せぬ最近

審判橋本、線審、橋本、星野 △前半戦 午後三時三十分、曉星のキックオフに開始した兩軍の長蹴を決定よく戦ひ豊師宇多川の一點にゴールラインを越わ、惜しき一點は豊島方に先取さる、豊島方攻撃を續け奮戦又奮戦、豊師の強蹴にゴールラインと思ふところ三度四度、豊島方の後衛陣の暇なく身を以てこれを防いで入れぬ程なく一變して曉星攻勢の位置に立ち巧なるパスに幾度も攻撃を危くすると救済あつたが惜しき所で機を逃しハーフ、ケイムなる△後半戦になる豊島のパス、豊師も亦よく連絡を保ち、豊師は兩陣地を往復し、兩軍共に、よき蹴蹴を得たが何れも奏功せぬ最近

兩軍死力を盡して戦つたが遂に一對等に接し、曉星は敗れた、 豊師對曉星 午後九時十分 早賀對佐倉 午後十時二十分 豊師對岩田 午後十一時三十分 △二勝一敗 抽籤に依つて午後三時半から

本日試合 △一勝一敗 橋中對成城 午後八時 豊師對美師 午後九時十分 早賀對佐倉 午後十時二十分 豊師對岩田 午後十一時三十分 △二勝一敗 抽籤に依つて午後三時半から

審判橋本、線審、橋本、星野 △前半戦 午後三時三十分、曉星のキックオフに開始した兩軍の長蹴を決定よく戦ひ豊師宇多川の一點にゴールラインを越わ、惜しき一點は豊島方に先取さる、豊島方攻撃を續け奮戦又奮戦、豊師の強蹴にゴールラインと思ふところ三度四度、豊島方の後衛陣の暇なく身を以てこれを防いで入れぬ程なく一變して曉星攻勢の位置に立ち巧なるパスに幾度も攻撃を危くすると救済あつたが惜しき所で機を逃しハーフ、ケイムなる△後半戦になる豊島のパス、豊師も亦よく連絡を保ち、豊師は兩陣地を往復し、兩軍共に、よき蹴蹴を得たが何れも奏功せぬ最近

T 11. 2. 12

雨後の土快く

蹴球興趣愈加はる

梅の日比谷に人垣の観衆

第二日二勝戦に入る

関東蹴球大会第二日の今日十二日は夜来の雨で観衆はれた天候も快晴となり風稍強けれど観衆に

邪魔な程もなくグラ

ンドの濡りも大した苦にもならぬ水溜りを多少手入れをして第一

戦を開始したのは午前八時半、成城対横濱二中的一勝戦だ、成城は例に依つて赤い小旗を手にした

援隊約三百名所を陣取つて軍式式の隊列を興へる、定刻前から詰め

掛けた旗索萬餘之に和して懸接する、横濱二中大に奮戦努めたが空

しく成城に名を爲さしめた、第二戦栃木師範対茨城師範は群馬方の

惜しき

棄権に依つて栃師の一

勝に決し、次に群馬は埼玉に敗れ

佐倉は早稲を一蹴して、午後零時

第一勝戦が済んだ、直に二勝者の

抽籤の結果二勝戦は左の組合に依

つて同時五分開始された、試合

合は益興を加へ観衆も其数を増

し熱狂的喝采が随時に起り日比谷

原頭後頭漲り疲つた、

第一回 成城対佐倉

第二回 栃師對坊師

成城一横中零

審判 鈴木、線審 長岡、井染

午前八時三十分横中中のキックオ

フに開始さる

△前半戦——成城軍は数百の旗接

軍に意氣大に昂り怒ち攻め立て堂

門前の混戦に早速の一蹴で先づ一

坊師對茨師

審判 大橋、線審 星野、清水

△前半戦——午前十時二十分群馬方

のキックオフに開始した最初

ら埼玉方攻勢に出で戦は群馬方

門前に行れゴール線を二度も突破

したか可れもフサードとなり

佐倉六早實零

審判 大橋、線審 星野、清水

△前半戦——午前十一時三十五分開

始、両軍のユニホームが類似して

見分け難い、混戦劇刻十分で佐

倉方前衛センター中村の強蹴が効

を奏し一點を先取する、早實方奮

一勝戦

成城先づ勝つ

佐倉の奮戦

斯くして午後二時戦に入ったが抽

籤の結果第一戦が成城三佐倉の對

戦となった、佐倉は一勝戦の敗を

承はり奮勇も未だ燃へざるに勝

て成城の大敵に向ふ事になった、

成城の援隊は赤旗堂々練り込ん

で来る佐倉も亦勇躍して場面に立

つた、開戦と同時に成城直ちに攻

を取つて敵陣近く押寄せ幾度な

く好機を掴んだが佐倉の門守後衛

巧みに防いで撃退さす、其の上

度は逆に攻勢をさつて敵陣近く目

撃し、宿敵を倒けるので敵地乗込

んで獅子奮迅するその殊勝さに二

萬餘の観衆は遂に幾帳の旗接を佐

倉に興へる、勇を鼓して兩軍攻め

合よ中惜しくも佐倉は敵に一點を

先占されハーフタイム後も佐倉死

力を盡して戦つたが武運拙く遂に

成城をして名を爲さしむるに至つ

宅地

伊田本郷野水内島口

三吉久大川越山中牧

G.R.F.H.H.W.F.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

G.R.L.R.C.L.R.R.C.L.F.L.W.F.

△後半戦

吹き送る小春の風に

びつ奮戦し横濱方は美事なパスを

駆使なドリフリングに進んだが成

城も強固な長蹴に突進再び一進一

退の戦に移つたが双方共得点なく

一対零で成城の勝となる

藤柳川田池出原速 田邊南誠三

成伊小細飯小酒宮早澤澤渡

門前二

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

△後半戦

吹き送る小春の風に

びつ奮戦し横濱方は美事なパスを

駆使なドリフリングに進んだが成

城も強固な長蹴に突進再び一進一

退の戦に移つたが双方共得点なく

一対零で成城の勝となる

藤柳川田池出原速 田邊南誠三

成伊小細飯小酒宮早澤澤渡

門前二

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

得点三

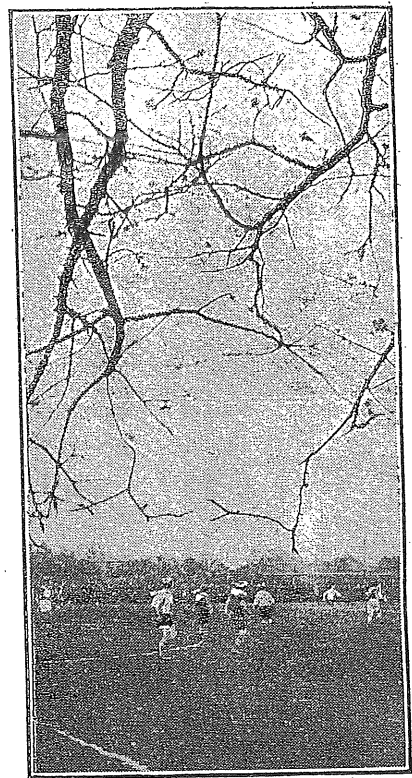
得点三

得点三

得点三

※左のページに大会の
開運を祈る

日比谷公園の試合風景 関東蹴球大会



T11-2-13

壯烈な一勝戦

脚を痛めて涙を拭ひ なむら戦ふ選手

関東蹴球大会 (第二日)

【夕刊後報】 日比谷公園に於ける関東蹴球大会第二日は午後に入り風も吹み観衆益々増して場の四周を千重二十重に圍み昨年来蹴球を始めた蹴須賀の砲術学校の學生約三百名も鈴木少佐に引率されて

見學に

来る、試合二勝戦に入り益々白熱戦を演ずるや選手も観衆も緊張極度に達し中にも佐倉中學が抽籤の結果一勝戦と二勝戦を休戦の暇もなく續け而も善戦能く最後まで奮闘したのは観衆の義侠的聲援を受け、新進の栃木師範が思はざる

技倆を

發揮して勁敵靜岡師範を敗つたのや明治學院が青山師範の大敵の前に勇奮善く戦ひ選手の一、二が痙攣の爲め脚を引摺り涙を拭ひ乍ら戦ひ續けたのは第二日の花とも云ふべきであらう

豊師一埼師零

△前半戦——午後二時十分、豊島方のキックオフに開戦せられ、兩軍直ちに猛烈なる攻勢に出て或は攻め或は守つたが豊島方、隅蹴を得て宇田川の長蹴よく一點を先取したのに勢を得た、豊島勢は攻撃愈々急に埼玉又強蹴長蹴よく防ぎ疾走、敵壁に迫つて好機會を作つたが得點せず、ハーフ、マイムミなる

△後半戦——兩軍渾身の力を出して奮戦し、球は右に飛び左に走り互によく攻めよく防ぎ殊に豊島方の正確な強蹴を確實に捕へて喰ひ止める埼玉の壘守町田の苦戦は見るべきものがある、又埼師右ウイング大原の奮闘は目覚しかつたが遂に恢復の期なく一對零で豊師再勝

(豊師)

池地島林井出川中藤本村 隅蹴二
菊澤福小堀井宇田加松木 得點一

(埼師)

G.K.F.F.H.H.C.H.L.W.R.L.R.C.L.L.W.F
田沼藤樞藤師原本崎木山 隅蹴二
町黒武小齋高岡岩翁鈴 得點零

靜師零栃師一

審判 清水、線審當麻 星野
△前半戦——午後二時二十五分靜岡のキックオフで開始、兩軍共に新進チームの事にて元氣よく活躍を續け、攻めつ攻められつ奮ひ戦つたが試合慣れぬ事にて唯めせるので、ゴールシュートすることもなくハーフ、マイムミなる

△後半戦——栃木忽ち奮つて攻勢に出で常に敵壁を壓し猛烈な肉弾戦を繰りかへし偶々得た隅蹴を荒木が長蹴したので根岸巧に蹴射して一點を収む靜岡奮然と盛り返し再び三度好機會を作つたが入らず遂に一對零にて初陣の栃木師範の勝となる

(栃師)

藤山田井橋村木金岸藤澤 隅蹴一
野杉岡進小中荒大小根小 得點一

(靜師)

G.K.F.F.H.H.C.H.L.W.R.L.R.C.L.L.W.F
花藤和藤藤月野藤田川場 隅蹴五
靜小伊勝加佐望水齋内原半 得點零

青師三 明治零

審判井染 線審(露)木 藤

△前半戦——三時三十分青山方のキックオフにて開戦青師攻め續けて好機會を逸するこゝ數多度の後、富樫の長蹴清水、増尾突進して先づ一點を得、壘門前の混戦は重ねて一點を加へた、後戦は常に明學方の陣地に行はれたが明學能く守つてハーフマイムミなる

△後半戦——明學大いに揮ひ長蹴を以て屢々敵壁に近いが青山方の後衛よく防いで返し、青山方は巧みな連絡と確實な強蹴を以て敵壁を襲ひ敵壁を突かしめ戦ひ愈々酣ならんミした青山、隅蹴を

取り平賀の正確なる長蹴を田中見事なヘッティングで最後の一點を収めマイムミなり三對零にて青山二勝した時に五時三十五分

(青師)

邊山川樞藤田倉中水尾賀 隅蹴五
渡島宮富佐山共田清増平 得點三

(明學)

G.K.F.F.H.H.C.H.L.W.R.L.R.C.L.L.W.F
田垣禾藤塚塚城市西田中 隅蹴〇
津板鈴江鹽戸高古寺浦田 得點〇

準決勝と決勝

第五回関東蹴球大会第二日は二勝戦に入り豊師、成城、枋師、青師の結果左の組合を以て来る十九日(日曜)日比谷公園に準決勝戦を行ひ午後から直に決勝戦に入る筈である

準決勝

豊師對枋師 午前十時
青師對成城 午前十一時十分
決勝戦——午後二時



蹴球の大決勝戦

快晴の日比谷に覇を争ふ

豊師か青師か

關東の蹴球十六校から選りすぐられた四校、豊師、青師、成城、日比谷の快晴の日比谷原野に、衆の中に推決闘戦を演じた、之に依つて第五回ア式蹴球關東の覇を決定する最後の決勝戦に

参加

の名誉を賭す事となるので、選手の意気も自から一勝戦や二勝戦の時とは異り、勝った腕に汗をかけて、ボカ／＼と喉い陽春の微風に梅が香も高く、技良く人も勝はれて人垣に折重なる、第一回の試合は午前十時豊師對青師の對戦に始まつたが新進の折師は相當大敵豊師を露まし、次回の大會に於ける家の者たるを思はせるスコアは遂に二勝零で豊師に敗れたがその

意氣

や實に賞すべきものがあつた、次で青師對成城の一戦となつたが中學の猛者たる成城の奮戦物凄く、青師の作戦意の如くならず、一對一のスコアで最早延長戦に入らんとする形勢を示した

激勵

大に努めたが能はず止むなく膝を捲いて選手と共に足場行々に勝ち誇つた豊師と青師が

午後二時から最後の決勝を試みる事となつた、豊師は二度連続しての覇者青師は頑健に遠さかる事二戦、本年こそ奪還せんとする野心を帯びたるものがあるの、此一戦こそ正に神技の争ひであつて本年度の覇者争ひを飾る絶好の機である

豊師一、折師零

審判 山田 録番 小野田
▲前半戦 午前十時、豊師方のキックオフに開始された、小春の月影かに微風の快よい、キックの音パウンドの反響が殊に長閑だ、豊師先ゴロンパスに進み五分で田中の一蹴よくゴールの左隅を突破して一点を占めた、勇猛よく攻めた新進の折木の勢も老巧な豊師の連絡容易に寄せつけず猛烈な長蹴戦が行はれた、豊師方の宇田川、氣を練つて見事にゴロンパスに進んだが其効を奏する間もなくハーフタイムとなる

の優勢を得て益々猛烈に攻撃を開始したが折木方も奮闘遂に二對零で喰ひ止めたのは見事であつた
（豊師）
菊澤 藤小堀 井田 加藤 田
門前 三
得點 二
（折師）
澤山 田村 畑 瀧 木 金堂 岸 角
門前 三
得點 一
（折木）
野村 中 小 小 荒 大 小 根 羽
門前 六
得點 一

青師一、成城一

▲後半戦 豊師方又猛烈に攻め立て好機會を作つたが得點に至らず、豊師方圍蹴を得て羽角のゴロンキック適宜を得たが惜しい所であつた、折木方又危地に陥りつゝも防いだ、成城門前の混戦に乗じたが後の蹴球効を奏して一点を加へた

身を以て受け止めた、ハーフタイム▲後半戦——成城直に攻勢を取り敵陣に迫つたが青師宮川長根嚴守して近付けず、青師方宮川、清水、平賀馬場を駆へて進み中堅佐藤の強見、宮原等ゴロンパスに進み、速蹴球を襲つたが成城は速速、速蹴球を襲つて戦意も白熱した折師成城方の速見見事なドリブルに、タツチラインに添うて進み、正確なパスを清克く受けて左隅から六隅に向つて強蹴し見事な効を一蹴に収めた、オールドランミなる雨軍益々強ひ起も混戦亂戦暫し青師清水、伏見、ドリブルに進み最後の弱いシュートを成城方守の止めぬんした球は其瞬間を通過して大事の一点を與へ遂に二對一で青師の勝ちとなつたが成城の長足の進歩は見るべきものがある、同時に致命傷を與へた最後の一点は氣の毒であつた

豊師一、成城一

▲後半戦 豊師方又猛烈に攻め立て好機會を作つたが得點に至らず、豊師方圍蹴を得て羽角のゴロンキック適宜を得たが惜しい所であつた、折木方又危地に陥りつゝも防いだ、成城門前の混戦に乗じたが後の蹴球効を奏して一点を加へた

成城一、折師零

▲後半戦 豊師方又猛烈に攻め立て好機會を作つたが得點に至らず、豊師方圍蹴を得て羽角のゴロンキック適宜を得たが惜しい所であつた、折木方又危地に陥りつゝも防いだ、成城門前の混戦に乗じたが後の蹴球効を奏して一点を加へた

◇蹴球の覇者 青師選手



青師優勝す

豊師と二對一

歡呼の群衆に採られた、市長が優勝旗授與

日比谷公園に於ける第五回関東式蹴球の青師優勝旗授與式。決勝戦は十九日午後二時十分から開始し、觀衆が熱狂に兩軍戦術を盡して奮戦したが本年度の覇者は三年振りて遂に青師の手に落ちた。授與された午後四時、大會はこゝに目出度終局を告げた。

青師二、豊師一

審判井原、録音露木、安藤
△前半戦 午後二時十分豊師方のキックオフに開始せられ、豊師

方直ちに攻勢を取つて得點を取つたが効なく連戦の後豊師方攻勢を取つて突如急な佐藤の強襲よく敵を押し前衛の攻撃目覚しく空門を衝いたが入らず、豊師方盛り返して長戦を繰りて攻めたが及ばず青師方密ら巧妙なパスに進み清水の強襲見事功を奏して二十分で一點を入れた、青師之れに勢を得て攻撃に攻勢を加へ進む時豊師方ゴールにミスがあつて青師清水自由蹴を得たが入らず状況混乱に陥入る時豊師方の羽尾強いロンカシューを放つて見事ゴールを突破する時に二十八分、豊師方茫然と進んだが及ばず、青師方も亦中央清水等よく連絡を執つて進んだが得點する間なくハイフタイムとなる

△後半戦 豊師方は勇氣を衰へて退却し敵を壓迫したが青師の鋭い見事な長戦に返して豊師の好防を相以つて清水等を往來して觀衆に固唾を呑まざる、戦は愈々白熱し互に好機を得ながら各選手に漸く疲労の色が見え腰かきに伴ひて機會を逸する事あり、豊師少し焦燥が氣味に出たが大陽を真向に受けて地勢少し不利だ、斯くて後半の五分となるや青師總攻撃に出で猛烈に敵を襲ふ時豊師怒ら返して見事なパスを進み敵の隙を突いて貴座な一點を獲した、それに力を得て益々奮闘したが遂にハイフアップになり三度優勝を奪つた豊師も二對一で敗れ、本年度大會の覇者は青師の手に落ちた時に三時四十五分

邊山川 豊師 田中 清水 賀 潤 九
豊師 宮 富 佐 山 穴 田 潤 增 平
青 K F F H H W F P F 豊師三
G R L R C L R W F C L F L W 豊師二
池 地 島 林 井 出 川 中 藤 本 裕 門 三
菊 澤 瀧 山 堀 井 宇 口 加 松 本 得 點 三

T 11 - 2 - 20

蹴技引分け、ヘルプアストで行はれた愛蘭對ウエールズ杯のフットボール蹴技は双方一、點差を収め引分け(一日國際社會報後)

T 11 . 4 . 4

T 11. 9. 18

秋の運動季節を飾る

關東少年

蹴球大會

十月八日午前七時半

日比谷運動場にて

運動普及と共に今や小學校にも蹴球チームが生まれ
ました、秋の運動シーズンを飾るべく十月八日(日
曜)日比谷原野に於て是等小國民の正式蹴球争闘
戦を開催します、参加希望の向は来る九月二十日
迄に後草原吉野町二五、東京蹴球團宛に御申込み下さい、競技
は第一部(尋常小學校チーム)第二部(高等小學校チーム)と分けてあ
ります

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞

T 11. 10. 2

少年蹴球大會

本大會は關東少年蹴球大會の
一選として、十一月八日(日)
日比谷原野に於て、東京蹴球團
の主催による、尋常小學校
及び高等小學校の蹴球争闘
戦を開催します。参加希望の
向は来る九月二十日迄に、後
草原吉野町二五、東京蹴球團
宛に御申込み下さい。競技は
第一部(尋常小學校チーム)と
第二部(高等小學校チーム)と
分けてあります。

大會規定

- 一、本會は本團制定少年用ルールの依りて行ふ
- 二、試合時間 第一部四十八分 第二部五十分
- 三、皮製靴は一切使用を禁ず
- 四、規定時間内に勝敗決せざる場合は十分間延長戦を行ひ然も決せざる際は抽籤により勝者を定む
- 五、審判に對して一切抗議を申込むを傳ず

組 合 決 定

- 第一部
 - 大崎第一附小
 - 豊師附小
 - 成城附小
 - 青馬附小
 - 有明附小
 - 目黒附小
- 第二部
 - 豊師附小
 - 大崎第一附小
 - 四谷附小
 - 不登附小
 - 龍野川附小
 - 日黒附小

日本代表の蹴球チーム

選定試合

十一月廿五、廿六兩日に
明年度大阪に開かれる関東蹴球選
手權大會に出場せしむべき蹴球
日本代表チーム選定に就ては同
大會の日本總務委員會より大日本
蹴球協會に委任せられ種々考究中
であつたが愈々来る十一月二十五
二十六兩日舉行(場所未定)する全
國優勝蹴球會に於て優勝したチ
ームに代表選手權を與ふる事に決定
した但し此の優勝チームにチヤレ
ンゲンせんするチームある時は左
の方法で試合を行ひその優勝チ
ームに選手權を與ふる筈である
一、優勝チームの指示する時日
場所に於て一切の費用を申込者に
て負擔して之を行ふ
一、申込は大正十一年十二月中大
日本蹴球協會宛
一、大正十二年二月末日迄に三回
ゲームを行ふ

T 11. 10. 4

T 11. 10. 7

愈と明八日午前七時から

日比谷の少年蹴球團

後援 東京朝日新聞

T 11. 10. 8

愈本 日比谷の蹴球戦

◇雨天ならば中止◇ 東京朝日新聞社

T 11. 10. 8

日比谷へ

愈と本日(午前七時から)

本社
後援

關東少年蹴球大會

豊師 優勝す

第一第二兩部とも

本社後援の少年蹴球大会

十五日日比谷の小學蹴球戦は午前
に引續いて午後の二勝戦に入り益
益興味を加へ四周を埋めるファン
に折重なつた散策の人も各々聲援
を始める選手も観衆も全く昂奮し
て日比谷原頭溢れる許りの運動氣
分を漂はした、斯くして第一部も
第二部も豊師附屬の優勝するこ
ろとなり本社寄贈の大銀牌を永井
會長の手から授與された、凱歌揚
り威風凛々、勝者は先聲に輝かれ
て引揚げ敗者は教訓の温い慰撫に
次回の必勝を誓ひ、大盛會の裡
に第一回會は午後五時近く閉會し
た

◆第二勝戦(第一部)

豊師附小一、瀧ノ川高小等

球審安藤 線審(鈴木)

前半戦一蹴のまに大崎を敗りた
る豊師方又も猛然に攻勢に出で、
瀧ノ川方の必死に防く間を突破し
て一點を先取す、巧妙なる技術を
見せつ、豊師方よく攻むるや、瀧
の川又断然攻勢に出でんとして、
並に烈しき肉薄戦となる、瀧の川
方猛烈に突撃するを豊師方巧みに
避けつ、常に攻勢を持してハーフ
タイムなる△後半戦兩軍共に疲
勞の色見ゆる前半戦に於けるが如き
猛烈さも見せず一進一退、唯氣持

(目黒) (大塚)

WLF LWF
CF RIF RWF
RH LH CH RH
LF RF GK
山中崎藤井澤 木部田田藤
村田山後松友 佐阿西持佐

▲前半目黒稍優勢にて開始後直に
戦門に迫り二度の好機も僅にゴ
ールを外れて入らず目黒方のフル
バック大塚方のゴールキーパーよく
防ぎて入れずハーフ、タイムミ
なる△後半戦に移るも戦は依然とし
て一進一退目黒よく攻むれば大塚
よく守りて接戦を續けタイムアッ
プミなる大會規定に依つて延長戦
に移つたが勝敗決せず又も規定の
抽籤に依り目黒方の勝に歸した

▲前半目黒稍優勢にて開始後直に
戦門に迫り二度の好機も僅にゴ
ールを外れて入らず目黒方のフル
バック大塚方のゴールキーパーよく
防ぎて入れずハーフ、タイムミ
なる△後半戦に移るも戦は依然とし
て一進一退目黒よく攻むれば大塚
よく守りて接戦を續けタイムアッ
プミなる大會規定に依つて延長戦
に移つたが勝敗決せず又も規定の
抽籤に依り目黒方の勝に歸した

神藤田崎川山鉢縣畑 村岡
石加龍山石中仲山山 森 門
LWF LWF
CF RIF RWF
RH LH CH RH
LF RF GK
本野櫻本永尾村木宮成田
松細富藤箱中三鈴松竹永得點

◆第一部準決勝戦

目黒小學一、有馬小學等

審判 清水 線審 (清水)

前半戦—目黒方のキックオフ
に始まる目黒輕快なるモーション
に進みゴールシュート其の効を奏
して先づ一點を収む、目黒よく攻
むれど有馬又よく防いで入れずハ
ーフタイムなる、後半戦—目
黒よく緊迫を加へ前衛よく連
絡を保ちて進みたるも稍疲勞の色
見ゆる遂に得點なく一對空にて目黒
の勝となる

藤木部野草 坂中橋島川
加高阿茅大 綱田三横吉
SY LWF
LIF CF RIF RWF
RH LH CH RH
LF RF GK
山中崎藤井澤木部田田藤

▲前半目黒稍優勢にて開始後直に
戦門に迫り二度の好機も僅にゴ
ールを外れて入らず目黒方のフル
バック大塚方のゴールキーパーよく
防ぎて入れずハーフ、タイムミ
なる△後半戦に移るも戦は依然とし
て一進一退目黒よく攻むれば大塚
よく守りて接戦を續けタイムアッ
プミなる大會規定に依つて延長戦
に移つたが勝敗決せず又も規定の
抽籤に依り目黒方の勝に歸した

◆第一部決勝戦

豊師附小一、目黒小學等

審判 大橋 線審 (清水)

前半戦—目黒方のキック、オ
フに始まり目黒方強敵豊島を向
に廻して少しも怖れずよく蹴る豊
島方猛烈に攻めるが目黒方のフル
バックよく防ぎために豊島方もゴ
ール、シュートするに至らずハ
ーフ、タイムミなる

◆第一部準決勝戦

目黒小學勝抽籤

審判安藤 線審(鈴木)

青山方の猛襲を目黒よく防ぎ接戦
のまゝ續けしも、青山方猛烈なる
突撃に一點を得、なほ青山方攻勢
にあるを目黒方猪突的の奇襲効を
奏し一進みもんで一點を収めハ
ーフ、タイムミなる△後半戦青山方
疲勞の色見ゆるや目黒方猛勢に攻
め立つるを青山方守村よく防
ぎ、青山方の前衛等を並べて逆襲
を試みしも及ばずタイムミなる△
延長戦、兩軍密術を盡せし伯仲の
接戦に得點なく、一對一にしてタ
イム、アツプミなり、抽籤は目
黒の利なる△青山方は、準決勝
に出でて第一部も第二部も共にド
ロムゲームなり而も共に抽籤に
敗れたるは氣の毒だが輕快なモ
ーション正確なキック、完きチ
ム、アツプミは流石は斯界一方の雄
たるを失はす

◆第一部決勝戦

豊師附小一、目黒小學等

審判 大橋 線審(清水)

前半戦—目黒方のキック、オ
フに始まり目黒方強敵豊島を向
に廻して少しも怖れずよく蹴る豊
島方猛烈に攻めるが目黒方のフル
バックよく防ぎために豊島方もゴ
ール、シュートするに至らずハ
ーフ、タイムミなる

得たが及ばず兩軍一團となりて緊
ひ續いて目黒よく攻め豊島又よく
突撃したが得點せずタイムミなる
△延長戦—豊島方よく先途を
攻めたて敵陣に迫り好機を得て稍
快なゴール、シュートを繰返すを
目黒方ゴール、キーパー、佐藤の
善戦に自熱戦は續く折柄豊島方の
一蹴よく効を奏して、第一部優勝
の榮冠は豊師附小のものとなる

◆者勝優の部一第球蹴年少

—A—テの學小國附の範師島豊—



※次のページにつづく

◆第二部決勝戦

豊師附小一、日黒小學零

審判 井染 線審(安藤 木)

前半戦、日黒方のキック、オフに開始せられ、直ちに混戦となり、一進一退前衛よく攻めれば後衛よく守り、兩軍共に得るどころなく混戦を繰り返して、ハーフ、タイムとなる。後半戦、兩軍いよゝ混戦を盡すも共に疲れたるにや、折角の好機も逸して遂に長戦に移り、双方見事なる、ロングキックに或は進み、或は退き奮闘を重ねる折柄豊師いよゝ襲撃して遂に負き一點を収む之に力を得た豊師方いよゝ奮ひ、取り返さんとする目黒方益々鋭め、兩軍疲勞も打ち忘れ劇戦善く闘み、猛烈なる白熱戦となる目黒の奮闘も甲斐なく遂に第二部の優勝は豊師附小の擔ふところなる。

T 11-10-16

(豊師附小)(日黒)

井村田島田町木水井
石木森中澤菊柳清荒林

偶蹴二
門蹴三
自由一
懲罪一
得點一

少年蹴球大會

本日は雨のため中止
来る十五日日比谷で

少年蹴球

経過

日比谷の試合

◆豊師附小三、第二日野零

午前七時半大崎のキックオフに開始、豊師方巧妙なドリブルにまで正確なキックにより攻勢に出で七分にして先づ得點十二分。豊師の一蹴を大崎ゴールミス。又一點を失ふ。後半大崎は漸く偶蹴を重ねて一時壘門前に戦つたが豊師方小西輕快なドリブルに球を運び一點を加へ結局三零で豊師勢の勝利を得た。

(日野小)

桐杉山塚中田田井安崎子川
片小富大田富角松高山金小

偶蹴二
門蹴三
自由一
懲罪一
得點一

◆青師附屬二、成城零

八時半青師のキックオフに開始
六分にして柳の長蹴に青師一點を
収む、混戦暫時にして青師自由蹴

を得て、この球を巧妙に送りて重ねて一點、亂戦の中成城亦自由蹴を得て力附き攻め立てたが惜しくも球はゴール、ボールを越へて入らず△後半成城猛烈に而も迅速に一氣壘門に迫つたが又々機を逸す青師稍優勢に壓迫を續けたが成城之に對し猛烈な奇襲を試み幾度か敵陣に迫つたが及ばず、タイムアップとなり成城惜しくも二對零で敗る。

木木高井島中田島山田田偶蹴二

佐青日土中田吉中有秋慶

偶蹴二
門蹴三
自由一
懲罪一
得點一

坂阿小 矢宮金三横中末

偶蹴二
門蹴三
自由一
懲罪一
得點一

(大崎日野高等)
奥川上枝井賢場山崎下木
小宮三花櫻知馬内山村節

偶蹴四
門蹴七
自由二
懲罪一
得點七

本野榎木水尾村木富成田
松細富藤稻中三鈴松竹永

偶蹴二
門蹴五
自由一
懲罪一
得點五

有馬小一、泰明小零

前半泰明稍攻勢に出でたが及ばず遂にハーフタイムとなる△後半有馬奇襲して泰明後衛の隙を衝き一點を先取す、泰明奮然として攻勢をまり敵壘を衝いたがタイムアップとなり一對零で有馬に勝を讓る。

藤木部野草 坂中橋島川
加高阿茅大 櫻田三横皆

偶蹴八
門蹴八
自由二
懲罪一
得點八

(泰明) 島水塚原山原澤施富山口
小清石野柴岡西布矢杉山

偶蹴三
門蹴三
自由一
懲罪一
得點三

◆青山附高五、四谷高等零

前半青山巧妙に進み三分にし一點續いて七分に二點を重ね愈々猛烈にして七分又一點を加ふ△後半青山ハナルテイキック、ロ西郷一蹴して一點再び四谷の疲勞に乗じ後衛の間を抜いて一點計五點を算したので四谷、稍操り氣味となり得點せず結局五對零で青師勝つ。

高沼林口林川中崎岡稻村良
大若關小宇田岡吉生岡竹

偶蹴九
門蹴九
自由二
懲罪一
得點九

青山高 木村郷口藤橋田塚田豊村

偶蹴一
門蹴一
自由一
懲罪一
得點一

青師 青師 青師 青師 青師



◇選手のお父として

有島武郎氏の遊技振り
 成城學校の一選手として合意の行光君が後援を承つたので有島武郎氏は朝早くから、來賓席の椅子をはなれず「ヤ、ッ、ッ」なまじ、思はず「父らしい」姿を出して遊技につきまめた(寫眞上は編を削る四谷對尚師附屬、下は左から有島武郎氏、行光君、永井會士)

舌を捲かせた 少年の蹴球

秋晴れの日比谷に

勇ましい第一日の試合

運動シーズン雪入れの日曜日、十日はボカ／＼と暖かく秋晴れの日比谷公園で本日は東京蹴球大会主催の第一回關東小學校蹴球大会の幕が切つて落された、この小國民の活動振りを見やうと

多大の期待を以て集まつた兩部のファンは午前七時といふに無数の手で選り場の中は早くも熱気の色が漲り、定刻戸山學校蹴球隊の勇ましい進行曲の

訓話

吹奏に連れて参加十四チームは大勢第二日野小學校を先頭に壯麗な極めた入場式を行つた、見物席からは退出のやうな拍手が湧き起り、會長永井道明氏の開會の挨拶及び運動精神の

容易に

第一第一勝戦大輪第二日野附屬の試合が開始された少年選手は又もや突する軍樂の音律に響か上には胸を躍らせつ、夫々部室につく、レフエリー清水氏の笛音が響くと共に試合は大輪のキツクオフで開始されたが何れも意氣凛々しく小學生とは思はれぬ理見事な手際でゲームは刻一刻と進展する、豊師附屬は流石に先達の指導よろしく盛んに攻勢をとつたが大輪も

攻勢をも演出したが遂に豊師附屬に凱歌が揚がった豊師の小國民は狂喜する、一方敗れた大輪方も立派な態度を見せる、斯くて試合は第二戦、第三戦と進み午後からの第二部は二勝戦に入るや各選手は洗練された妙技をすく／＼發揮されて觀衆の熱狂も極度に達した(午後二時記)

運動欄

蹴球關東北 豫選大會

蹴球協會主催の全國選手権大會を控へた關東北豫選大會は來る二十八日から引續いて四日間更に十一月四五の兩日東京高師球場に舉行する筈だが参加チーム二十一組合は左の如く決定した

- 一勝戦
- ▲二十八日午後零時半から
- A 帝大 B 豊山中 C 明大
- 豊師 C アストラー
- 北農
- ▲二十九日午前八時から
- D 水高 E 朝鮮 F 豊師

群他の十一チームは不戦一勝因に準決勝は四日午後零時半から決勝戦は五日午前十時から行ふ

T11-10-16

T11-10-26

蹴球選第二日 關東

北蹴球選大會第二日二勝者戦は廿九日午前八時より高師球場に舉行勝負左の如し

- 早高 一 一 登 澤 零
 早高 二 一 登 澤 零
 朝鮮 二 一 水戸高 一
 明大 一 佐倉中 一
 (東信勝)
 成城中 三 一 横 中 零

大阪の蹴球選 日本

蹴球協會大阪支部主催大阪朝日新聞社後援の極東大會蹴球選大会第一日は廿九日午前八時から鳴尾運動場で舉行した勝負左の如し (大阪電報)

- 明星商業三 一 武陽俱樂部 一
 御影蹴球團三 一 關西大學 一
 神戸一中九 一 和歌山中學 一
 關西學院中學二 一 海草中學 一
 奈良師範二 一 天王寺師範等 (抽籤勝)

- 大阪サツカー一 一 堺中學 一
 高師サツカー四 一 市立中學 一

蹴球選大會 關東北蹴

蹴球選大會第一日は廿八日午後一時から高師球場に舉行勝負左の如し

- 大東 一 一 藤山 一
 明大 一 一 登 澤 零
 アストラ 一 一 七 廣 一
 (抽籤勝)
 けふの運動

蹴球選第二日 本日進決勝

關東北蹴球選大會第三日二勝戦は三十日午前八時から高師球場に舉行勝負左の通り

- 帝大 一 一 群師 一
 青師 八 一 法政 一
 慶應 三 一 神師 一
 全高師 一 一 ベカー 一

準決勝戦は本日午前八時から左の取組で舉行

- 成城 一 明大、高師 一 青師慶應 一
 應 一 アストラ、早高 一 帝大
蹴球二日目 本社後援ア式蹴球大會第二日は三十日午前八時鳴尾球場に開催左の戦績で午後五時半第一日を終つた(大阪電報)

- 甲陽中學二 一 桃山中學 一
 市立工業三 一 岸和田中學 一
 京都師範二 一 池田師範 一
 御影師範二 一 全關西學院

一勝者戦
 サツカー三 一 明 星
 奈良師四 一 二 甲 陽
 京 師 一 一 市立工業

けふの運動

關東北蹴球選大會準決勝戦は八時から高師球場
 ▲早大對全關東蹴球戦は三時から戸塚球場

- 蹴球選四日目**
 關東北蹴球選大會第四日三勝戦は廿一日午前八時より高師球場に舉行勝負左の如し

- 成 二 一 一 明 大
 アストラ 二 一 一 登 澤 零
 帝 六 三 一 一 〇 早 高

高師勝つ 關東北蹴球戦

三勝戦 一 二 對 零
 關東北蹴球選大會三勝戦高師青師戦は四日午後二時より高師球場に再開(レフアリー清水氏、インスマン古田、守屋兩氏)▲前半 青師方のキック。オフに開始最前攻勢に出たが及ばずたちまち感返されて生田の巧脚に先づ一點を奪ひ續いて高師益々攻勢に出で生田のパスを後藤を受けて又一點を重ねハーフ。タイムとなる△後半戦 敵戦益々盛ん青師度々好機を掴んだがアセツテ入らず總にタイム。アツプとなり結局二對零で高師勝つ勝戦三時三十分

サ俱樂部優勝す
 大朝社主催極東大會ア式蹴球選大會優勝戦御影師範對大阪サツカー俱樂部の試合は二十日午前十時四十分から神戸市東灘區地で行行兩軍は技倆伯仲して荷を見る大接戦を演じた。一對零で大阪サツカー俱樂部が優勝し同チームは來る二十五六兩日東京で舉行する最後の決勝戦に出場の権利を獲得した(大阪電報)

けふの運動
 第二回全國ア式蹴球優勝戦 第一日は午後一時から池袋豊田球場で名古屋蹴球團對大阪サツカー廣島高師クラブ對アストラ

優勝戦引分

極東大口選ア式蹴球最後の優勝戦たる御影師範對大阪サツカー俱樂部試合は一日午後 尾延球場で舉行サツカーの先攻で二時三十五分開始一進一退兩軍共好機を逸し一對一で三十分春色色濃くなる時に午後五時十五分春色濃くなる時に時間を延長する事が出来ないのでドロンゲームとし更めて日を定め決戦を行ふ事となつた(大阪電報)

けふの運動
 第二回全國ア式蹴球優勝戦 第一日は午後一時から池袋豊田球場で名古屋蹴球團對大阪サツカー廣島高師クラブ對アストラ

蹴球準決勝

大日本蹴球協會主催第二回全國ア式蹴球優勝戦大會は廿五、廿六の兩日(不雨晴雨)池袋豊田師範學校庭に舉行する此の試合は來春開催される極東オリエンティック大會に出席すべき日本選手権争奪戦を兼ねて居るものだから非常にエキサイティング。ゲームを豫期されて居る。組合番組は二十五日名古屋蹴球團對大阪サツカー俱樂部(午後一時)廣島高師俱樂部對東京アストラ俱樂部(三時)決勝戦は二十六日午後一時より開始する

けふの運動
 第二回全國ア式蹴球優勝戦 第一日は午後一時から池袋豊田球場で名古屋蹴球團對大阪サツカー廣島高師クラブ對アストラ

けふの運動
 第二回全國ア式蹴球優勝戦 第一日は午後一時から池袋豊田球場で名古屋蹴球團對大阪サツカー廣島高師クラブ對アストラ

けふの運動
 第二回全國ア式蹴球優勝戦 第一日は午後一時から池袋豊田球場で名古屋蹴球團對大阪サツカー廣島高師クラブ對アストラ

運動欄

ア式蹴球 優勝戦

(第一日)

大日本蹴球協会主催、第二回全国ア式蹴球優勝戦第一日は廿五日午後一時から豊師校庭で入場式終了後同十分名古屋対大阪サツカー戦(大阪方のキック。オフ)を開始した

◇名古屋二、大阪一、

審判 峯岸 線審 安藤、清水

▲前半戦 大阪方面に攻勢に出で河合長蹴を以て壘門に迫つたが入らず、一進一退、遂にハーフトアイミなる△後半戦 兩軍共に疲労の色なく三十五分名古屋方相原、黒田のパスを内田、壘前二間よりシュートして見事一点を挙げたが大坂方亦よく戦つて一点を奪ひタイム。アツプミなる

▲延長戦 大阪方の追撃益々急に名古屋危しき見わたがタイム。アツプに更に十分の延長戦となり二分形勢逆轉、名古屋方内田ドリアルに進み肉弾を以て壘門に迫り、野のヘッドを壘手逸して貴重な一点を挙げ其後大阪方最後の守備も空しくタイム。アツプミなり二對一にて大阪惜しくも敗る

(大阪)

合積田利守	田田林田立田	門蹴	六
河安山由	柴木神山八日原	自由	三
LWF	CF RIF	CF RIF	CF RIF
LH	CH RH	LH	CH RH
RF	RF	RF	RF
原田野野	田田倉知野多山	門蹴	二
得點	自由	得點	二

(名古屋)

◇広島高師三、アストラ一

審判 山田 線審 生田、露木

▲前半戦 午後三時十五分アストラのキックオフに開始、最初アストラ大いに奮ひ敵陣に突進五分足立のコーナーキックを山内のヘッドイングに先づ一点を取ったが広島方怯るまらず倉澤巧なドリブルに進んだが川村の好守に阻まれる、事數度得點に至らずハーフトアイミなる△後半戦 広島方意氣盛ん連戦は見事に保たれ四分宮原のコーナーキックを倉澤福永等肉弾を以て敵陣に突き一点を恢復其後もアストラ常に壓迫を感じ形勢常に不利で各選手漸く疲労の色見振はすに反し広島方は益々攻勢に出で敵の虚を突き壘門に迫り二十分又宮原の巧みなるコーナーキックに福永ヘッドイングして一点を取らぬに二十五分宮原倉澤林等パスして進み福永のゴール。シュートにゴールを突破す其後アストラ總攻撃に移り戦は広島方陣地のみに繰返されコーナー。キックを利用して襲撃數度敵陣を寒からしめたが四時四十分遂にアストラアツプミなり三對一にて広島高師俱樂部の勝利に歸す

(アストラ)

川馬内畑立川	村谷利村邊	門蹴	九
長辰山	大足澁杉板甘川渡	自由	一
LWF	CF RIF	CF RIF	CF RIF
LH	CH RH	LH	CH RH
RF	RF	RF	RF
原澤永田	藤田重澤縣中	門蹴	四
得點	自由	得點	三

(広島)

宮倉福成	齋村福野山野	門蹴	二
得點	自由	得點	一

けふの運動

▲広島對名古屋蹴球決勝戦 は午後一時より豊師校庭で

ア式蹴球戦に 名古屋優勝す

一退一進の大接戦

スリーステツプが敗因

大日本蹴球協会主催第二回全国ア式蹴球競技大会第二日名古屋蹴球團對広島高師俱樂部の決勝戦は廿六日午後一時二十三分より豊師校庭で細雨煙る中に舉行し一對零の接戦で名古屋選手権を掌握し今村次吉氏よりトロフ井一を授與された

名古屋一、広島零

審判 清水、線審 峯岸、小野川

▲前半戦 名古屋方のキック。オフに開始、先ず接野敵の虚を衝きドリアルに近く進んだがキーパーの壁を受けてから戦線は重に名古屋方ゴール附近に移り名古屋方進を續け宮原慶々長蹴を放つたが名古屋方の後衛好守して得點を許さず進んで逆襲を試みた名古屋方の本營も堅く依然広島方常に優勢でゴールに迫つたがオフ。サイドをく裏々好機を逸す混戦のまゝ、ハーフトアイミなる

▲後半戦 ゲームは最初から白熱化し広島方コーナー。キック二度を得たが成田、倉澤等の奮戦も効なく名古屋方前衛パスして進み接野のシュートをゴール、スミ。ステツプし壘前二尺フリー。キックを得られ必死の防禦に危地を脱れたが二十三分名古屋方ドリアルに進み坂倉のパスを黒田キックして見事ゴールの左隅を破り一点を挙げ其後広島方戦努めたがアセツテ

原田野野	田田倉知野多山	門蹴	三
得點	自由	得點	一

ア式蹴球挑戦 規定決まる

今秋舉行したア式蹴球日本選手権大会優勝組に對する挑戦規程は左の如く決定した

- 一、挑戦せんとするチームは姓名年齢職業、住所等を書添へ日本蹴球協會宛十二月中に申込む事二、挑戦せんとするチームは大会優勝組の指定する時日場所(名古屋の豫定)に二月末日迄に三回ゲームを行ふべし三、挑戦申込チーム多數の時は大會優勝組の指定する時日場所にて各自一回ゲームの豫選をなし最後に大會優勝組に當る事以上二三項の費用は一切挑戦者各自の負擔す四、既に大會豫選又は大會に出場し敗れたるチームは挑戦せんとするチームのメンバーは既に出場して敗れたる同一チーム中より五人以上加はることを得ず六、メンバーの資格は極東大會規定に據る七、挑戦を受けたる優勝チームのメンバーは大會の際のものたること

戦の後に

名古屋蹴球團

は幾多試合の経験あるだけ其の實力を十分に現してゐた、チーム、ワックもよし又コントロールも巧なもので、殊に接野が短軀をもつて勇敢に球と共に突進する意氣、兩ウイングの相原、内田の正確なるロング、キックはよく攻勢を續けるに力があつた、又松田淺倉の勇奮も特筆に値する▲広島方は此の槍舞臺に初陣であるにも拘らず、猛烈に而も敏速なる試合振を見せ殊に兩フルバックの正確な強蹴は立派なものである、然し後衛の好防に對して前衛の攻撃が幾分弱いやうに思はれたが成田のコーナー、キックの正確なのはその度毎に敵陣を寒からしめた、實力は広島の方が勝つてゐたかも知れぬとさへ思はれたが未だ銃練されて居ない様に思はれた(原崎、井染)

帝大勝つ——ア式蹴球
 部下専門學校ア式蹴球リーグ戦は三日午前十時より高師校庭に舉行。慶應對高師、明大對商大戦は都合に依り延期し、帝大對法政は六時零にて帝大勝つ

T 11. 12. 4

けふの運動

▲獨協主催部下小學校蹴球爭覇戦
 第一日は今後二時より同校庭で

T 11. 12. 9

小學校蹴球爭覇戦 獨協主催
 優勝一回部下小學校蹴球爭覇戦は九日午後一時半から同校庭に舉行。勝負左の如し

青師附屬二——大塚
 青師附屬四——泰明
 大崎 養徳 田原

尚準決勝戦成蹊對大崎青師對慶應は本日午前十時開始

▲獨協主催部下小學校蹴球爭覇戦準
 及び決勝戦は午前十時より同校庭で

▲帝大對早高ア式蹴球戦 は午後二時半より高師校庭で

T 11. 12. 10

七専門校の對抗蹴球

日割決定す

帝、商、慶、明、法、早高、高師の七専門學校より成るア式蹴球リーグ戦日割は左の如く決定し土曜は午後二時半、日曜は午前十時より何れも高師校庭に舉行

○十二月三日 ▲慶應對高師 ▲明治對商大 ▲法政對帝大
 ○十二月九日 ▲明治對慶應
 ○十二月十日 ▲明治對高師 ▲法政對商大 ▲早高對帝大
 ○一月二十日 ▲早高對高師
 ○一月二十一日 ▲慶應對早高 ▲高師對商大 ▲明治對法政
 ○一月二十七日 ▲帝大對商大
 ○一月二十八日 ▲法政對早高 ▲慶應對商大 ▲法政對高師
 ○二月四日 ▲明治對帝大
 ○二月五日 ▲早高對商大 ▲慶應對法政 ▲高師對帝大

T 11. 12. 3

高校蹴球 (一月四日)

東大主催全國高等學校ア式蹴球爭覇戦は一月四五の兩日高師校庭に舉行。参加校は一、七、八、山口、松江、水戸の各高校。明大、早高、兩蹴球團上京。京大ラ式蹴球團は来る廿七日、上京廿八日、東大と試合し、続いて早慶と争ひ、三高チームも明春一月三日、上京四日、帝大と試合し、早慶、横濱外人團と試合

蹴球の紅白試合

大日本蹴球協會役員紅白試合は二十四日午後二時から小石川大塚高等師範グラウンドで舉行。審判内野、白軍のキックオフに初まり、白軍の安藤先づ一點を収め、井染重ねて二点を先取して、ハーフタイムになる。後半戦は大混戦裡に吉川、熊坂等の老将よく防ぎ遂に四對四の同點で終る時に三時半

T 11. 12. 25

大正 12 年

T 12. 1. 5

全國高校の蹴球戦

一高、水戸高
まづ敗る

帝大主催全國高等學校ア式蹴球大會は四日午前九時半より高師校庭に舉行午前中の一勝戦は次の如し

八高二、水戸高

◇審判野津、線審太、渡邊

▲前半戦 午前九時三十分水戸のキック。オフに開始直ちに攻勢を執り屢々門前に逼つて數度チャンスを得たがアセット入らず、八高も二十三分頃水戸陣地前にて中村よりのパス高山ゴール。シュートが放つたが惜くも左にソレ得点せずその儘ハーフ・タイムとなる

▲後半戦 八高最初より優勢で長蹴を以て水戸方を壓迫し十分水戸方後衛の失に乗じ鈴木下山のパスを轟門の左隅に入れて一點を先取しその後水戸恢復に努めたが空しく二十五分更に八高方下山、鈴木の連絡美事に保たれ、一點を加へて大勢を決し水戸最後の攻撃も効なくタイムアップとなり結局二對零にて八高勝つ

高尾下木山村木本藤田山

八 寺山鈴高中鈴山佐堀岸藤

戸 原賀賀平島間郡村中生野

水 鹽須羽小中峰西小田朝藤

山口高二、一高一

◇審判岸本、線審山崎、小林

▲前半戦 十時四十五分山口のキック。オフに開始、山口は一高方に進入し十分前混戦裡に武越シュート。キックを利して美事一點を奪ひ、その後一進一退一高、稍優勢を感じる中十九分木村、河野轟門に進み轟手の球を返す際に河野のキック効を奏し同點と成り接戦裡前半戦を終る

▲後半戦 猛烈なる長蹴戦に移り兩軍數度の好機に接したが得點に至らず、二十分の延長戦にも得點なく更に二十分の延長後山口方武越左隅より巧みなるドリブルに進み九時貴重なる一點を得てその後兩軍入り二對一の接戦に一高惜敗す

高村野 本村田川平 川島白蹴

一 木河王中植内西三羅提武

口 中越藤木藤原津上尾安正

山川武藤正加萩野井剛武兒

全國高蹴球

帝大主催全國高等學校ア式蹴球優勝戦は四日高師校庭に舉行午後の一勝成績は次の如し

早高一、松江高零

◇審判渡邊、線審浦生、別所

▲前半戦 午後一時十五分松江の先蹴に開始、松江稍壓迫を感じ早高の開始好く連絡を保つて轟門に肉薄し度々隅蹴を得て攻勢に出たが松江の防禦もまた巧みに危機を脱し反つて數度早高方に迫つたがこれまた得點のチャンスなく前半はたゞ輕快な前衛戦を續けたのみ

▲後半戦 一進一退球は交互の陣地に往復する中十三分早高漸く敵陣に猛襲を加へ、尹のドリブルを有馬受け後衛の際に乗じシュートすれば見事轟門の中央を抜いて一點を奪む、その後松江必死的攻撃に移つたが早高方後衛の守備堅く、早高は前衛のパスに泌は長蹴に破戦を演じたがタイムアップとなつて結局一對零にて松江惜敗す

早 高

馬 木本子 井本田藤

鄭 有 鈴山金 玉荒山伊

WF LFW RFW LHB RHB

LFW RFB LHB RFB

田野野藤原岡本海上島

黒大水杉伊森松阪内村高

松 江

七高二、明治豫零

◇審判山崎、線審大、久保田

▲前半戦 二時三十分明治の先蹴に開始、七高終始明治を壓迫したが無理なゴール、シュートとオフ、サイド多く前半は僅に十三分隅蹴を利して荒田のヘッディングと杉原のシュートに一點を得たのみ、明治には全チャンス無し

▲後半戦 相變らず七高元氣で十五分また隅蹴を得て敵陣前密集混戦中安黒のパスを野鳥キックして一點を奪ね更に二十分ドリブルに進んだ安積が門前六七間のところよりシュートした球は見事効を奏して一點を加ふその後何等の變化なく三對零にて七高勝つ

七 高

島島田積本上原田原戸藤

様野荒安松井杉内小水佐

LFW RFB LHB RHB

LFW RFB LHB RHB

飯黒田林田 章 廣澤

飯神安山小島 章 森藤

明治豫科

けふの運動

▲帝大主催ア式蹴球大會準決勝及び決勝戦は午前九時より高師校庭に

▲京都一商對慶應ラ式蹴球戦は午後二時より慶應球場で

▲大阪YMCA對立教大學、大阪YMCA對東京YMCA、パスケットボールゲームは午後二時より青年會館で

▲三高對慶應ラ式蹴球戦 午後二時から三田球場で

▲帝大主催全國高校ア式蹴球大會 午前九時から高師球場で

T 12. 1. 4

高等學校

蹴球戦

午後は山口

早高の決勝戦

帝大主催第一回全國高等學校蹴球優勝戦第二回決勝戦は五日午前九時半より高師校庭に舉行し左記の經過により午後二時より山口對早高の決勝戦に移つた

山口高一、八高一(抽勝)

審判渡邊、線審浦生、窪田

▲前半戦 九時卅分山口のキックオフに開始、高猛烈なるキックで前衛を突破し、越前に進つたが、奮くも機を逸し、越前に至らず、山にも難度攻勢を欺つて、敵陣に接近したが阻れて入らず、一進一退の中、ハーフ、タイムとなる

▲後半戦 激戦を荷じ山口方左隅を襲ふ中、八分スローインの球を武越野津にパス、野津見事動手の隙を突き、一点を先取したが十分八高も鈴木の隅蹴を門前肉蹴を以て、恩返し同調をなし、戦は愈々壯烈を極めたが、其後兩軍共に得点なく、タイムアップとなる

▲延長戦 十分間利變らず、激戦を繰返すばかりで得点なく、更に十分の延長戦に入つたが、兩軍の戦士、漸く疲弊して、戦力鈍り、無得点のまま、閉戦、抽籤で山口高勝つ

(山口) 中野藤木、藤原津上、原玉

川竹賢正、加藤野井、武見

LWF CF RWF LH RH RF GR

寺山木、山科、木本、藤田、岸

尾下、鈴鹿、中、鈴山、佐、堀、山、越

早高二、七高勝

審判野津、線審大、岸本

▲前半戦 十一時卅五分七高キック、オフに開始、早高の前衛山本、鈴木の活躍目覚しく、十三分堀前澤、堀前鈴木、尹等のパスを山本シュートして、一点を先取し、更に十七分尹のドリブルと鈴木のキックに、一点を加へ七高は終始壓迫を感じ、ハーフ、タイム

▲後半戦 一時七高隅蹴を利して、野津あつたが、早高の機快なるドリブルと巧みなパスに、際倒されて、意氣昂らず、早高も午後の試合を控へて、か強いて攻勢に出で、二タイム、アップとなり、二野津にて早高勝つ

(早高)

馬 本本子 井本、山藤

鄭有尹、鈴山、金、藤、末、芝、山、伊

LWF CF RWF LH RH RF GR

鳥、島、田、増、本、中、原、田、原、戸、藤

藤野、荒、安、松、田、松、内、小、水、佐

T 12 / 6

早高優勝

全高校ア式蹴球

早高二、山口零

帝大主催、全國高等學校ア式蹴球決勝戦なる早高對山口高戦は五日午後二時四十分より高師校庭に舉行、審判高橋、線審山崎、岸本の三氏、山口キック、オフに開始

▲前半戦 早高は五分足らずして二度目の攻勢を執り、堀前に分デチャンスをつかみ、堀前キックを越えて入らず、反つて山口の猛襲を受け、堀前キックのドリブルに一時危機に陥つたが、堀前の奮闘に幸くも噴止め、その後、十分早高有馬のパスを山本強襲して、一点を得、更に五分、よりりの大きなパスを山本、堀前約二回中央よりシュート、一点を加ふ、山口方は常に壓迫を受けたが、廿六分堀前ドリブルに進んで、正木のゴール、シュート、堀手が身を以て、速す時更にシュートを放つたが、ゴール、ポストに當つて入らず、また閉戦、近く高橋ドリブルに進み、正木のシュートに見事ゴール、インとなる

▲後半戦 相變らず早高の山本、鈴木、尹の高躍目覚しく、早高の本防壁も、山口方も、堀藤、川中等の奮戦に、数度敵陣近くドリブルに進んだが、何れもシュートの隣に、廻れ、感返されるのみにて、兩軍戦士、何れも數度の激戦に

T 12 / 6

早高二	山口零
馬 本本子	井本、山藤
鄭有尹	鈴山、金、藤、末、芝、山、伊
LWF CF RWF LH RH RF GR	
鳥、島、田、増、本、中、原、田、原、戸、藤	
藤野、荒、安、松、田、松、内、小、水、佐	

ア式蹴球戦 昨年十二月

東京で行った全国蹴球大会で優勝した名古屋蹴球団に對し規定によつてチャレンヂした關西サッカーリーグ及び東京蹴球団は左の時日に名古屋で對戦する

一月十九日午後 鎌 選
一月二十日午後 決勝第一回戦
一月二十一日午前、午後第二、三回戦

T12-1-19

ア式蹴球代表 決定の試合

關西サッカー 勝つ

関東オリンピック大会に出場するア式蹴球代表決定の試合は二十日名古屋鶴舞公園グラウンドに於て舉行東原を申し出てゐた東京蹴球団も共に参加する事となり午前十一時若原レフェリーの辭に東京蹴球団對關西サッカー俱樂部の試合が開始され三對二にて關西勝つ時に零時五十分(名古屋蹴球勝)

T12-1-21

名古屋大敗

名古屋蹴球團關西參加リーグ第二回戦及び三回戦は二十一日午前十二時五十分名古屋光臨にて開始(遠刈吉川氏)したが關西方始めから激を壓迫し兩向とも名古屋蹴球團の大敗に歸した(名古屋蹴球勝)

T12-1-22

T12.1.29

第六回 關東ア式蹴球大會

二月十七、十八、廿五日の三日間

日比谷公園グラウンドにて

参加申込

關東地方中等學校チームにして二月五日迄に
海草原吉野町三五東京蹴球團申込の事

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

二月十七、十八、廿五日の三日間、日比谷で

第六回 關東ア式蹴球大會

参加申込 二月五日迄 東京蹴球團(後原區吉野町三五)宛

主催 東京蹴球團 後援 東京朝日新聞社

蹴球組合決す

本社後援第六回大會

試合愈々旬日に迫る

本社後援東京蹴球組合の第六回蹴球ア式大會は、旬日の間に迎つたウィンター・スポーツとして特色ある此競技は昨今蹴球が上にも隆盛に赴き、今回は参加費に十五ナーム、何れも關東の銘々たる中等學校チームで十七、八、二十五日の三日間行はれる日比谷原頭の人技戦は思ひやられる、八日午後六時から本社樓上に抽籤會を開き大會規定に關して打合せを遂げ更に一勝戦の組合を抽籤で定めた結果左の如く決定した

○第一日(十七日午後零時開始)
1 桐師 (成城) 2 豊山 (豊山)
3 附中 (附中) 4 佐倉 (佐倉)
5 豊師 (豊師) 6 豊師 (豊師)
7 二中 (二中) 8 群師 (群師)
9 豊師 (豊師)
不戦一勝 獨協

T12-2-9

日比谷の争覇 日本 愈

T12-2-1

第六回 關東蹴球大會

待たるゝ日比谷の争覇戦

来る十七、十八、二十五の三日間

主催 東京蹴球團 後援 東京朝日新聞社

第六回 關東蹴球大會

入場式午後零時半(第一日)

本日の組 合(荒天順延)

桐師—附中(二時) 成城—曉星(二時五分)
豊山—神師(三時十分) 佐倉—美師(四時十五分)

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

明日(十七日) 關東蹴球大會 一時日比谷

T12-2-17

T12-2-17

T12-2-15

關東蹴球戦

第一日遠征軍揮はす けふの大接戦

日比谷の蹴球大会第一日は、先陣戦の如く、熱戦に第一戦に入つたが、甲中は折衝を破り、明星は成城に折れ、豊山は鎌倉を一蹴して最後に佐倉對茨師の試合に入つたが、一対一にて激戦を演じ、近き戦ひを演じた。明星は予ドローンチームとなり、本日は第二日の第一回目に再び戦つた。甲中は折衝を破り、明星は成城に折れ、豊山は鎌倉を一蹴して最後に佐倉對茨師の試合に入つたが、一対一にて激戦を演じ、近き戦ひを演じた。明星は予ドローンチームとなり、本日は第二日の第一回目に再び戦つた。

附中一折師零

○審判清水、警備吉永、大衛、
▲前半戦附中のキックオフに開始直ちに左翼に突入し、折木の後衛を牽制した。附中の前衛は、折木と好機をつかみながら得点に至らず、反つて折木の猛襲に一時危かつたが、二十分附中の前衛見事な連絡を保ち、小島のフラインク、シュートに先づ一歩を先取りす。▲後半戦依然附中優勢でゴール、シュートを三度も放つたが入らず。其中折木猛烈に進み、敵陣門に逼つたが、折木とシュートは、忽ち附中方に奪はれ、好機を得ず。折木はスリ、スナップにフット、キックを得られたが、早くも守りの奮闘に危地を脱し、附中を逼迫したが、パスを失して、返り返され結局一対零で附中一折師零二時四十五分

成城一曉自零

○審判井原、警備、露木、安藤、
▲前半戦 二時四十分成城キック、オフに開始、早くも明星陣を破り、成城の防線に難を脱し、一氣に明星方に逼り、渡邊定のロング、シュートは惜くも外れ、更に突破も入らず。其後一進一退の接戦を演ずる中、明星長蹴を利用して門前に至り、密集ヘツディングに逼つたが、奏功せず。成城も渡邊廣ゴールシュートを放つたが、守手身を以て、止める等、激戦を演じた。明星陣は、折木とシュートは、後半戦、激戦又激戦を演ずる中、十三分成城は、明星陣のドリブルに進み、其のパスを清水和後衛の處に乘じて、身門前に突破、シュートして、貴重な一得点を奪ふ。明星は其後形勢の挽回に努め、前衛はドリブルにパスに敵陣を襲ふたが、徒らにシュートの機に遅れ、成城後衛に名を成さしめ、得点に至らず。其後タイムアップ、一対零にて、明星敗す。明星三時五十五分

豊山四、鎌倉零

豊山對鎌倉の試合は午後三時五十五分レフェリー大島氏ランスマン、中野、清野氏鎌倉先陣に開始
▲前半戦豊山最初押されて門前を襲はれ、守りも攻勢をとつて進み、更に敵のオフサイドに自由蹴を得た間もなく、押し返され、鎌倉のグッドシュートあつたが、ゴールの外に出で、豊山門前を得見事なヘツディングにゴールインとなり、十五分にして、一得点を先占す。

茨師佐倉無勝負

茨師對佐倉の試合は午後五時レフェリー安藤氏ラインスメン井原中野兩氏茨師のキックオフに開始
▲前半戦 井原攻勢に出で、明星陣を得た後、茨師陣の激戦から、折木のフラインク、キックに、折木が一歩を先取り、明星攻勢を演じた。明星陣は、折木とシュートは、後半戦、激戦又激戦を演ずる中、十三分成城は、明星陣のドリブルに進み、其のパスを清水和後衛の處に乘じて、身門前に突破、シュートして、貴重な一得点を奪ふ。明星は其後形勢の挽回に努め、前衛はドリブルにパスに敵陣を襲ふたが、徒らにシュートの機に遅れ、成城後衛に名を成さしめ、得点に至らず。其後タイムアップ、一対零にて、明星敗す。明星三時五十五分

本日の組合

▲後半戦 黒衣の侵襲に乘じて、又も攻勢を演じたが、明星陣は、折木とシュートは、後半戦、激戦又激戦を演ずる中、十三分成城は、明星陣のドリブルに進み、其のパスを清水和後衛の處に乘じて、身門前に突破、シュートして、貴重な一得点を奪ふ。明星は其後形勢の挽回に努め、前衛はドリブルにパスに敵陣を襲ふたが、徒らにシュートの機に遅れ、成城後衛に名を成さしめ、得点に至らず。其後タイムアップ、一対零にて、明星敗す。明星三時五十五分

T 12. 2. 18

関東十五チームが

物凄い接戦

曇りの空に荘麗な入場式

けふ日比谷の争覇戦

今季ウインタースポーツ界神懸の活躍として本社後援東京蹴球協会の主催の第六回関東蹴球(ア式)大会は今十七日午後一時から日比谷原野にその第一日を挙行した、雨は歇んだが寒風肌を刺す、曇り日に関東の精鋭十五チームは熱火の如き大接戦を演じ雄々しくも劇を争はんとするのだ、一隅に陣取つた戸山軍楽隊の奏樂が起ると選手の間には赤き血が躍り、四周を圍める満都のファン熱狂の拍手を逐る、かくて定刻軍樂隊行進の曲が響き渡ると昨年度の優勝チーム青山師範が優勝旗を保持して先頭に進み附屬中學新木師範と参加十五チームの壯麗な入場式が行はれる

T12-2-18



日比谷の蹴球選手入場式

雪辱戦に豊師

惜しくも再敗

快晴の日比谷に

選手の意気は揚る

関東蹴球第二日

今十八日快晴の日比谷は、本社後援の関東蹴球大会第二日は第一日無勝負に終わった。佐倉、豊師の再戦、青師、豊師の試合に人気が集めて、選手は意気揚々として、日比谷に臨み、試合に定数前戦に場を四圍に士氣二十歳の

人垣を造って開始を待った。佐倉の意気が選手の手を動かす事だ。だが元氣の活動は、選手は物ともせず、佐倉の選手は、午前八時五分開始せられた。新進の豊師は、佐倉に依つて必死の肉薄

二勝戦組合

以上の経過を以て一勝戦は終り二勝戦の番組は各校主將本部に委嘱抽籤の結果左の如く決定した

佐倉—獨協(一時)
附中—成城(二時十分)
崎師—靜師(三時廿分)
青師—豊山(四時卅分)

佐倉一、茨師〇

審判清水、観審吉水、永井。前半戦八時五分茨師方のキック、オフに開始され、茨師方が倉方の好防に迫り、専ら防禦につとむ。佐倉方の前衛よく進み、中衛後衛よく後を固め、猛烈に攻め立て、殆ど敵をして味方の陣地に寄せ附けず、其の間茨師方も防衛を固めて敵を退けて及びず、佐倉方總てを擧げて攻勢を續け、今倉の猛烈なシュートに茨師方のゴール、一旦止めて軽く返す機を逸せず、橋川體を以てもみ込み先づ一點は佐倉方收む、茨師方進みてコーナーキックを得たが及びず、ハイフ、タイムとなる

後半戦、佐倉方猛烈と、み幾度かの好機會を得るも得點に及びず、茨師方も及びず、一進一退、両軍拮据、元氣よく進退するも球の自由を失ひ遂に一對等に茨師の勝となる、閉戦九時十分

(茨師)

沼野内	FW	得点	三
大寺小	FW	得点	二
藤村川	FW	得点	二
安市橋	FW	得点	一

崎師五、横二中〇

審判井染、観審露木、大橋。前半戦九時十五分横中キックオフに開始、勢頭より壯烈なる

青師一、獨協〇

審判露木、観審清水、井染。前半戦十一時十五分豊島方のキックオフに開始され、豊島一蹴、青山方に迫らんとしたが、青山方の中堅止で寄せず、返した。豊島方中堅も抜かれず、盛り返し、激戦の中に、ハットトリックとなる。後半戦に移るや、兩軍、一進一退何れが防ぐともつかず互に攻撃を續け、球は兩陣地を往來し、選手よく動き、痛快なる接戦となる。時、青山方フリー、キックを得て、富樫の長蹴するをゴール、井上前進して止めんとせしめ同時に、センター清水も進んだので、球は兩人の間を抜け、豊島方のゴールの前進運、一旦すべつた清水、體を返すと同時に蹴り、功を奏してゴール、インとなり、豊島方先取する所となる

青山方の先取する所となる。それより兩軍奮戦し、巧妙なるドリブルに進めば見事なるキックに防ぎ、ゲームは愈々白熱せしがタイム、アップとなり、青山方の勝となる、閉戦九時十五分

後半戦、佐倉方猛烈と、み幾度かの好機會を得るも得點に及びず、茨師方も及びず、一進一退、両軍拮据、元氣よく進退するも球の自由を失ひ遂に一對等に茨師の勝となる、閉戦九時十分

後半戦、佐倉方猛烈と、み幾度かの好機會を得るも得點に及びず、茨師方も及びず、一進一退、両軍拮据、元氣よく進退するも球の自由を失ひ遂に一對等に茨師の勝となる、閉戦九時十分

(獨協)

野村保岡	FW	得点	三
平瀬久吉	FW	得点	二
野村保岡	FW	得点	二
武岩高岡	FW	得点	一

靜師棄權勝

靜師師範對靜師師範戦は群馬方より棄權中止みがあつたので大會規定により靜師一勝者となる

(靜師)

堀尾高宇	FW	得点	三
馬渡木高	FW	得点	二
賀尾水中	FW	得点	二
平増清田	FW	得点	一

二勝戦

審判養老、観審露木、松井。前半戦正一時獨協のキックオフに開始、兩軍の技術は伯仲、前半戦、獨協の技術は伯仲、後半戦、獨協の技術は伯仲

後半戦、獨協の技術は伯仲、後半戦、獨協の技術は伯仲

後半戦、獨協の技術は伯仲、後半戦、獨協の技術は伯仲

後半戦、獨協の技術は伯仲、後半戦、獨協の技術は伯仲

(獨協)

江塚松崎	FW	得点	三
中大笠山	FW	得点	二
中野川田	FW	得点	二
安村橋	FW	得点	一

佐倉一、獨協〇

審判養老、観審露木、松井。前半戦正一時獨協のキックオフに開始、兩軍の技術は伯仲、後半戦、獨協の技術は伯仲

(獨協)

江塚松崎	FW	得点	三
中大笠山	FW	得点	二
中野川田	FW	得点	二
安村橋	FW	得点	一

兩外人團の ア式蹴球

引分けとなる
巧妙なる激戦

インター・ボートの競技として
兩港居留外人連を熱狂せしめる
神戸外人團對横濱外人團のア式
蹴球定期戦は一勝一敗の後十一
日午後二時四十五分より濱本
牧運動場に發行した、試合はエ
リツッド審判の下に横濱キック
オフに開始し、兩軍皆仲の技術
は終始激烈なタタカル戦と長戦
の中、巧妙なるパスとドリフ
ルを繰返して進退激しく得点
を見ずしてタイム・アップを告
げた、神戸のワイドは辛辣なシ
ュートを持つて居たが横濱のワ
イドに比し連絡に缺く所があり
又裏オオフ・サイドを演じてチ
ヤンスを造した嫌ひがあつた、
横濱のワイド殊にブラウン、デ
イクソン、バークハウスの三人
は勇敢に味方の主力となつて神
戸側に向ふ頻りにキープを
着して居たがシュートは常に
を外れた、神戸のフルバック
フエイが前後左右にあの老練を
動かしたのもアビエットの猛烈
なるタツクル振りも印象の深い
妙技であつた、横濱のフル・チ
ヤリスは昨年度の主將、此の日
の好防は目覚しく兩キーパーの
通らざる態度とフェイスティングと
パンチングの巧妙なるは賞讃に
値した

FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW
FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW	FW

競技の記録

(日二第)

蹴球は比軍

民軍敗る—三對零
△經過 午前十時十五分開
球賽竹内、練松田、露木兩氏比
軍先戦

△前半戦 比軍キックオフの球を
その儘ゴール間近まで運んだが
民軍アルバックの強襲に追返
され兩軍一進一退の裡に兩軍共
に美しきパスを繰返して居たが
開戦後十分にして民軍の右翼手
彭錦榮のパスをライトインナー
葉九草シュートして見事にゴー
ルイン、先づ一點を挙げた、こ
れに勢を得た民軍更に續けさま
に強球を送つたがゴールキーパ
ーの好防に得點するに至らずし
て前半を終る

△後半戦 開戦後三十分、民軍の
ライトオフワードの強襲ゴール
のポストに當つて跳ね返るとこ
ろをライトインナーの李煥堂再蹴し
てゴールイン更に一點、次で同
じく李煥堂のシュートをゴール
キーパーが跳返したところを葉
九草すかさず飛込んで又一點を
得三對零で民軍の勝利に歸した
時に正十二時

極東大会の記録

民 國 隊 員 芳 堂 耀 堂 松 泉 榮
彭 錦 榮 楊 錦 培 王 光 惠 柏 九 錦
劉 雲 吳 實 榮 梁 陳 李 黃 葉 彭

比 國 隊 員 芳 堂 耀 堂 松 泉 榮
彭 錦 榮 楊 錦 培 王 光 惠 柏 九 錦
劉 雲 吳 實 榮 梁 陳 李 黃 葉 彭

比 國 隊 員 芳 堂 耀 堂 松 泉 榮
彭 錦 榮 楊 錦 培 王 光 惠 柏 九 錦
劉 雲 吳 實 榮 梁 陳 李 黃 葉 彭

競技の記録

(日三第)

蹴球

日軍惜敗す

日本蹴球連盟の蹴球は廿三日午前
九時四十分開始、球賽竹内、練松
田、露木兩氏、比軍先戦
前半戦 比軍のキックオフの球を
ハイフで喰止めた日軍は其儘ゴー
ルに攻め立て開戦後五分にしてゴ
ール前の接合から出た球を清水
（隆）軽く一蹴見事にゴールインし
て日軍の勢大に揚る、比軍奮起して
猛烈なゴール前のシュートを屢繰
返したが遂に得點するに至らずし
て前半戦を終る

後半戦 日軍に漸く疲弊の色が見
えて来たのに乘じて比軍巧妙なパ
スを利用して盛んに攻め立て、オ
ワード、レントインナーのエステ
バ中央線よりのドリブルに先づ一
點、開戦後十五分更に左翼よりの
パスを受けたダイラレアルのシュ
ート見事に届つて遂に一點を勝越
し日軍は大に奮起したが及ばず二
對一惜かも敗れた

東京蹴球團遠征

東京蹴球團は今回新入團員を加
へて卅一日午前八時十五分發列
車で廣須賀に赴き左の日定で同
地チームと對戦す
▲三月卅一日午前對海兵團▲同
日午後對海軍機關學校▲四月一
日午前對海軍水雷學校▲同日午
後對軍艦廣瀬校

極東大會 第四日

蹴球の選手権

民國キームに落つ

第二日比島を敗退せしめて一勝せ
る民國對日本の蹴球戦は二十四日
午前十時四十分開始、球賽竹
内、練松田、露木兩氏、日本先戦
前半戦 ライトインナーから右翼に廻
た日本のキックオフの球をフルバ
ックの強襲で追返した民國は忽ち
右翼手のパスをライトインナーの黃
柏胸で押込んで一點を先取民國の
應援激狂真す、日本奮起して前衛
と右翼手のパスとドリブルで敵前
深く食込んだが再びフルバックが
追返されてゴール前に名狀すべか
らざる混戦を演じた、此間隙を狙
つた民國、葉九草の斜球見事に届
つて又一點時に開戦後十五分、日
本奮起、左翼十五碼越りて民國の
シュート右翼手清水（隆）見事に
ゴールインして一點を快復、スタン
ド湧返る、此頃よりゲームは愈々
白熱して息のつまるやうなゴール
シュートが互に繰返されたが、兩
ゴールキーパーよく防いで入らし
めず、其儘タイムアップと見えた
が開戦前五分民國後衛に右翼の
コナーキック、黃柏松のヘッドシ
ュートでまた一點を加へ四對一で
前半戦を終る

日 民 日 民

原 深 日 澤 神 井 安 清 水 清
2 1 5 0 0 5
FK GK PK OS
1 3 1 8 2 0 3

日 民 日 民

田 山 高 潤 田 林 上 住 水 坂 直
2 1 5 0 0 5
FK GK PK OS
1 3 1 8 2 0 3

T 12 . 5 . 25

けふの運動

▲神戸外人團對横濱外人團ア式蹴
球戦は午後二時より本牧運動場
にて舉行

T 12 . 3 . 10

けふの運動
▲附中對アストラ蹴球戦は二時
り高師校庭で日本醫學對明徳
院對抗陸上競技は九時より帝
トラックで

▲蹴球 附中對アストラのア式蹴
球は午後三時から高師球場にて

ヘーグ氏追悼
ア式蹴球戦

東京蹴球主権ヘーグ氏追悼ア式蹴球大会は廿三日午前八時より青山師範学校グラウンドに於て舉行するに決まつた。その参加チームは深尾、築部、堀玉、立大、早高、明学、目白、青山師、水島、聖山、アストラ、獨協、法大、東京蹴球、成城、成城蹴球、全東京の十六チーム。

大學専門校
ア式蹴球大会

東京蹴球主権の第一回全國大學専門校ア式蹴球大会は二十六、二十七の両日青山師範学校運動場で舉行するに決まつた。参加チームは北大、明大、立大、法大、神高、慶應、東大、水高。

全國高校の
ア式蹴球戦

参加十二校
香大主権朝報後援の第二回全國高等學校ア式蹴球大会は来春一月三、四、五の三日間大塚高等球場に舉行するに決まつた。参加チームは松本、松江、水戸、松山、静岡、山口、一高、八高、明大、早高、南大、早大、北大、大塚科の十二校に決定した。

蹴球大會打合

本社後援の全日本のア式蹴球選手權大會大阪協議會は既報の通り一月四日から大阪市立運動場で舉行する筈であるが同大會に出席すべき各チームの打合會は来る二十六日午後六時半本社會議室で開催することに決定した。出場チームの主將は定刻までに本社に參集されたい。(大阪電話)

T 12-12-21

T 12. 12. 20

T 12-12-14

今日の運動
帝大七。B。對早大 G。B。式蹴球第二回戦午後二時半から早大グラウンドで

追悼蹴球
ヘーグ氏の

九月一日震災の爲横濱で物故した我國ア式蹴球界の恩人ウキリアム。ヘーグ氏の追悼蹴球大会は二十三日午前八時から青山師範校庭で舉行された故人の岳父ギル氏を始めとして大使館のデビッド夫妻も來場して廣る盛會であつた本社も大花輪を贈つて故人の靈を慰めた。永井道明氏の莊重なる追悼演説終つて試合は開始された、成城左の如し

水戸 高校二二〇〇 目白中學
アストラ 六〇〇 豊山中學
全 豐 島 三一 獨協中學
成城蹴球團 二二 青山師範
科 教 大學 一一〇 早 高
琦 玉 師 範 二二〇 明治學院
慶 應 大學 一一〇 成城中學

T 12. 12. 22

T 12. 12. 24

中學蹴球大會

大朝蹴球通信局後援神戶高爾主権の全國中學學校蹴球大會は二十三日午前八時から霞ヶ丘グラウンドにて第一回を舉行した。(大阪電話)

▲阪神一中〇〇〇 大阪市立工業
▲陽明一中〇〇〇 陽明
▲梅影師範四一 市岡中學
▲京都師範四一 神戸商業
▲神戸二中六〇 滝草中學
▲廣師附屬三三 桃山中學
▲姫路師範二二 淀田中學
▲神戸一中五〇 小野中學
▲明星商業九一 塚中學

T 12. 12. 25

T 12. 12. 27

日本選手權
關東北選

ア式蹴球大会

一月六日から四日間の選手權蹴球協会の主催の選手權蹴球大会が都府県選抜選手權蹴球大会として東京高等球場に於て一月六日、七日、十二日、十三日の四日間に亘つて東京高等球場に於て加十五チームで、アストラは優勝が抽籤で不戦一勝となり次の組合で行ふ事となつた

成城蹴球團 豊山中學
東京蹴球團 漢濱ベアーズ
水戸高等學校 埼玉師範
神奈川師範 群馬師範
東京高等師範 全豊島
掘沢蹴球團 全豊島
△七日午前八時から
早高學院 豊島師範
一勝者戦は更に抽籤にて組合を
決し引續き舉行
△十二日午後一時から準決勝戦
△十三日午前十時から決勝戦

T 12. 12. 26

大學専門校
ア式蹴球戦 (第一日)

東京蹴球主権第一回全國大學専門校ア式蹴球大会は廿六日青山師範校庭で舉行した
法政一水高等
法政一水高

法政のキツクオフに開始されたレフエリー安藤氏前半兩軍優る機会があつたが得点なく後半に到り三十一分法政の澤田のシュートでゴールミスして法政一勝を挙げその儘一對等で法政の勝ちとなる
(法政)

田部田田柳木中山宮野下 門部 得点
林澤山小野田東中 門部 得点
黒田開東島井山野宮吉野 門部 得点
石濱神小荒中佐藤辰屋 門部 得点

野藤島條川川 門部 得点
中安手東中 門部 得点
川多井西川野田木田唐 門部 得点
黒野櫻小千下鈴山五瀬 門部 得点

法政對明大(抽籤勝者一勝者戦は一時から明大のトックオフに開始)フレイリー清水氏前半明大善戦したがF。W法政に壓迫され二十六分法政中野のロングシュート見事成功して一点入れ續いて三十分澤田のヘッドに更に一点を加へ前半を終り、後半明大元氣なく法政は十二分間斷を渡部のヘッドイングで二十分間斷部のシュートで三十九分ダブルを挙げ山田のシュートで三十分を投入五對等で法政對明大二十七日法政は慶應を洗勝戦で進行した

門部 得点
門部 得点
門部 得点

門部 得点
門部 得点
門部 得点

門部 得点
門部 得点
門部 得点

門部 得点
門部 得点
門部 得点

T 12-12-28

大正 13 年

T13-1-4 → T13-1-3

けふの運動

運動界

全國高校の蹴球大會

第一日

○第一回全國高等學校ア式蹴球大會 第一日午前八時高等師球場で

松山第一

大蹴球部主催全國高等學校ア式蹴球大會の第一日は高等師グラウンドで三日前八時から参加校十二校の入場式終つて松山第一に開始された

野津氏レンエリーの下に山口先鋒に開始、優勝候補開志で終戦大接戦で此日第一の好試合であつた前半後半共に剛毅よく攻めよく守り遂に三十分の延長戦を行つたが更に優勢なく引分けとなり抽籤の結果山口の負けさつたが一高、法政、松本の抽籤により復活して第二日早高と激突する事となつた

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

八高 本山高山村本江崎本山湯 5 7
鈴育小高中鈴入杉山小 5 7
LE LF CF RIF RH LF FB GK 自由門
LF LF CF RIF RH LF FB GK 自由門
村野 陸村上井田田本 3 1
西河王山橋井土花内橋岡 3 1

○大蹴球部主催全國高等學校ア式蹴球大會の第一日は高等師グラウンドで三日前八時から参加校十二校の入場式終つて松山第一に開始された

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

運動界

全國高校の蹴球大會

第二日

けふ決勝戦

全國高等學校ア式蹴球大會の第二日一勝者戦は四日前午前九時三十分から舉行、得点左の如し

○早高 山口
レンエリー渡谷氏の下に山口先鋒に開始、前半早高優勝で五分後観谷のコーナーキックを山口蹴返したが早高は混亂に乗じて前鋒の好コンビネーションに一點を先取しその後入らず後半山口奮起して早高を最後まで壓迫したが早高よく守つて點を入れず一點〇で早高の勝ち

中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田 0 6 9
W LF CF RIF RH LF FB GK 自由門
W LF CF RIF RH LF FB GK 自由門
倉戸 井木谷島子本田岩 0 5 5
朝安 玉荒板有金芝山手
早高

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

つて南大のゴールを蹴返し前鋒のシュート多く前半高山二點野木、青山、尾寺、各一點を入れ後半に高山又一點青山一點合計八點で八高大勝す

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

松山 本光橋谷本島藤 3 18 8
一 藤則湯水浦小佐 3 18 8
中越和木藤上安原 津玉 2 3 8
川竹大正加井武蔵 野田
八高七一 一高幸
松本氏レンエリーの下に十時四十分一高先鋒に開始一高は防戦に努めが食力の差で一高惨敗した前半十一分に青山十七分二十八分に高山のシュートに八高三點を挙げ後半更に三分に青山三分に小高二九分三十分三十分のシュートに掛け終に四點を入れ七對七で八高大勝した

名古屋蹴球團

辛勝

ア式蹴球の 選手権大會

蹴球協會主催の第二回全國ア式蹴球選手権大會第一日は二日午後一時から高師球場に舉行された。参加チームは東京、大阪、名古屋、廣島の四地方で予選に優勝して上京した名古屋蹴球團(名古屋代表)帝商サツカ(大阪代表)廣島一中(廣島代表)と東京のアストラ俱樂部の四チームで、アストラ俱樂部は相手廣島一中の奮戦に依つて勝者となり第一日は名古屋蹴球團サツカの試合となり降雪虎渡の中に大接戦を演じ左の記録名古屋蹴球團の辛勝した

名古屋蹴球團

名古屋蹴球團サツカの試合は午後一時二十分ソウエリ清水氏線井梁、鶴田氏名古屋のキツ、オフに開始した

前半戦 名古屋蹴球團が優勢で敵陣深く突進し、計の内田(兄)はよく奮闘し五分十分、十一分に連続してチヤンスを掴むが、商の門守よく防いで得点を與へず十四分逆に商敵陣前に迫り、T.W.吉保のドリブルの球を名古屋の門守よく止めたがモーション前キックはタイムのあつたのにつけ込み、T.平野見事に敵陣に突込んで一點を先占した、名古屋蹴球團は焦り気味になり猛烈に突込み中央線を境に進退行戦を繰り返したが二十分名古屋蹴球團の内田(弟)のシュート

をT.内田(兄)が射撃してゴールに突込み、第一點を發進し、続いて二十一分又も平野、石川のパスの球を内田が突込んで一點を加へた後商陣内に盛返して二十八分平野見事なシュートにゴールインし、三つやポストから一尺も外れが入らず三十四分又機あつたが門守の好防に得点を奪はず、ハーフタイムになつた(名古屋、商一)

後半戦 商陣を起し名古屋を迫り五分、T.W.吉保ドリブルに進んだ球を大賀受けて見事にシュートしてゴールインとなり一點を奪還し再び同野なる十七分名古屋蹴球團は好機あつた、商陣に混戦となり好機あつたが得点を奪はず、二十七分中線附近のオフサイドから商陣自由線を得て進む敵陣前にドリブルに進み見事なシュートがあつたが之も外に外れて得点を奪はず、後半一退に疲勞を來しそのまゝ二對二でタイムアップになり、名古屋蹴球團は五分の延長戦に入る、T.W.のシュートから敵陣前見事にシュートに突進し門守よく防いで敵陣に突進したが門守の未だ立直らざるに時を移さず内田(兄)突進してゴールに突込み、貴重な一點を加へた後商陣を境に押し空しく奮闘して得点を加へず結局二對二で商陣を取った(名古屋)

名古屋蹴球團	5	2	5
帝商サツカ	1	2	5
廣島一中	1	2	5
アストラ	1	2	5

蹴球大會

組合せ決定

来る九月十一日の三日間戸山學校グラウンドで開催する東京蹴球團主催、本社後援の第七回關東中等學校ア式蹴球大會は参加チーム十七校の多數に上りその組合せは左の如く決定した

九月(一勝戦) 正午から
佐倉中一勝戦
(二勝戦) 一時五分から
陸軍一中二時十分から
日白中一核二中三時十五分から
▲十日(一勝戦)
神戶一中七時十分から
英師一師八時三十分から
青師一師九時十分から
群師一師十時十分から
▲十一日(一勝戦)
陸軍一中七時十分から
英師一師八時三十分から
青師一師九時十分から
群師一師十時十分から

◆全國ア式蹴球決勝戦のアストラ對名古屋は零時半から高師で

T/3-2-3

あすの戦

關東中等學校蹴球大會

東部蹴球團主催、本社後援の第七回關東中等學校蹴球大會は、九月正午から、戸山學校グラウンドで開催される。参加學校は既報の通り神奈川、栃木、茨城、群馬、埼玉、藤岡、千葉の各縣下を初めとして東京の師範、中等學校などを合せて十七校、案より勝敗の数は今から豫測する事を許さないが年を越して其後の進歩しつつある各チームは必らずや前段相持つの内海戦を演ずるに違ひない。十日、十一日の三日間を通じて一つも見逃かせない面白い試合のみである。三日間の試合開始時間左の通りで、入場料は例年と同様である

第一日(九月)	正午より
第二日(十日)	午前七時半より
第三日(十一日)	午前十一時より

主催 東京朝日新聞社
後援 蹴球團

T/3-2-8

第七回 關東中等學校 蹴球大會

期日 運動青年中行事の一である關東中等學校ア式蹴球大會は左の期日で第七回大會を開催します

▲二月九日(土) 正午より
▲二月十日(日) 午前八時より
▲二月十一日(祭) 午前十一時より

場所 戸山學校グラウンド

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

参加チームは左の十七校に決した

神奈川師範	群馬師範	埼玉師範	藤岡師範	千葉師範
神奈川中	群馬中	埼玉中	藤岡中	千葉中
神奈川小	群馬小	埼玉小	藤岡小	千葉小

T/3-2-3

第七回 關東中等學校蹴球大會

二月九日(土) 十日(日) 十一日(祭日)

陸軍戸山學校グラウンドにて

主催 東京朝日新聞社
後援 蹴球團

T/3-2-6

第七關東中等學校蹴球戰

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

Table with 2 columns: 今日の番組, 選手名 (佐倉一樹, 星一明, 豊師一附, 目白二中)

T13-2-9

帝大對慶應ア式蹴球戦は午後三時から一高球場で

壮烈な肉薄戦

栃木師範と佐倉中學の劈頭戦



堂々たる競技

兩者火花を散らす

エキサイティングゲーム

本社は援中等學校蹴球戦【第一日】

【夕刊新聞】 本社後援、東京蹴球團主催の關東中等學校の十七チームを兼ねた關東蹴球大會は愈々九月を第一日として第七回大會を臨軍白山學校グラウンドに開催した...

栃師二・佐倉零

栃師對佐倉の一勝戦は午後零時十五分レフリー清水、練審藤木、井染三氏佐倉のキックオフに開始...

雲集

一週老練の佐倉が新進師範に壓迫されて一敗地に墜れ、次いで豊師がフラインプレーを見て明學を一蹴する頃から益々興を増し選手も観衆も熱しくエキサイトする...

最後

に横濱二中は目白中學を屈して第一日は了つたが勝考も敗者もその堂々たるフエヤイ

Scoreboard for the first match: 栃師 3 4 3, 佐倉 0 0 0

晩星四・明學零

晩星對明學の激戦はレフリー井染練審藤木、神坂三氏の下に午後一時二十分明學方のキックオフに開始...

横二中一目白零

横濱二中對目白中學の一勝戦は午後三時四十分レフリー安藤、練審清水、井染三氏目白中のキックオフに開始...

豊師二・附中零

豊師對附中はレフリー藤木、練審清水、安藤三氏の下に午後二時十七分豊師のキックオフに開始...

Scoreboard for the second match: 豊師 8 7 1, 附中 4 10 4

T 13 . 2 . 9

中等蹴球のつづき

第二日

○茨城師範と群馬師範は徴兵關係上棄權を申出でられましたから番組のゲーム時間を變更した

【一勝者戦】

靜師一城 九時

青師一獨協 十時十分

豊山一枋師 十一時廿分

【二勝者戦】

曉星一豊師 零時半

横一中一城勝者 四十分

鎌師一青勝者 五十分

埼師一豊勝者 四時

T/3-2-10

帝大勝つ

帝大對慶應 業部ア式蹴球戦は九日午後三時三十分からレフエリ小野氏統率吉田、嶋田兩氏慶應のキック。オフに開始、慶應方はアオワイドサイド、フル、バック弱いため常に帝大方に壓迫され慶大危地に陥いつつてゐたが必死の防戦に前半は兩軍無得點に終わった後半慶應方稍々盛り返したが十一分頃帝大がWからF.O.U.に、パススした球を須賀ハツデングのブツシユで一點を先取してより更に三十分後米谷のシュートに一點を加へ後に帝大は二對零で慶應方を破つた。

T/3-2-10

泥塗れの奮戦

凄壯を極むる少年

氣鋭連の蹴球戦

本社後援の第二日目

夜來の大雨は今朝になつても歇まぬ、それに烈しい風までが手僅つて頗る酷烈な天候だが陸軍戸山學校のグラウンドでは引續いて本校後援の關東蹴球大會第二日を決行した、グラウンドは泥濘測を没し球も選手も泥に塗れて行動意の如くでないが選手の氣氣は物凄い許り緊張して居る、主催者は最初この荒天を氣づかつて中止する意もあつたが、若い選手の悲壯な受けなげな意氣に感じて決行を敢てしたのである、而も此の種のスポーツの時機を愛するファンも亦強風雨を曾して參差し熱心に見物する程で定刻より稍遅れて今日の野明戦たる關東師範對成城中學のゲームが午前十時から舉行、れた、成城一校の素晴らしい元氣に於らぬ遠來の師範の奮闘振りには忽ちにして雨中の白熱戦となり、その光景は正に悲壯と言はんか壯快と言はんか以て観る言葉を知らない

池	井原清林澤尾川持							
青	酒大岩神米妹大創	9-3-4						
LW	CF	RH	CH	FL	RF	GK	FK	CK
池藤田藤内	田田藤亦谷田	11-4-1						
小岩岩後山徳	杉藤藤藤							

(勝師)

T/3-2-11

總動員して

躍氣の應援團

關東中等學校の蹴球大會

けふ準決勝に入る

豊師成城延長戦

雨は降むたが泥濘深い戸山學校グラウンドに關東蹴球大會第二日は引續いて今日午前十時から行はれたゲームは激しい決勝に進み参加十七チームから選り抜きの四チーム、豊師對成城、青師對枋師が先づ午前中その雌雄を決して午後の決勝戦を目指し、最後の奮闘を勝ち得んもの死力を盡して戦ふのが、早朝から晴れかけたファンは喜の四圍に燃えし

各校の

應援隊は今日は

總動員、何れも小旗を手にして形勢の地を占めてゐる、戦て十時半豊師對成城のゲームが始まり元氣の成城若者の選手を壓迫する意見るや兩校の應援隊はやつ氣になつて豊師の限りを盡しその壯絶言はん方なく一進一退ゲームの進行につれてファンは如度熱狂する、死物仕ひの選手は活動振りは凄情を秘め今年季蹴球に於て稀に見る緊張振りを示して居る

T/3-2-12

雨中の壯烈戦

物凄い選手の意気

本社後援中等学校蹴球戦(第二日)

【夕刊報】 強風をつき流すを踏んで戦をつづける本社後援の蹴球大会第二日はゲームの進行に遅れて白熱的に緊張し思ふに交せぬ選手の活動振は寧ろ男性的の選をてくる程だ、雨は歇まない、風は強くなる、泥はますます深くなるが運動精神に燃はれた選手の意気は物凄くゲーム順次に進む

青師二、獨協零

青師對獨協の一勝者戦は午前十一時三十分レフエリー安藤線審清水増尾三氏、青師のキックオフに開

始

○前半戦 青師後援の如く最初から優勢で風下の悪いコンディションにありながら敵陣近く常に壓迫を加へ再三再四好機あつたが獨協が十八分途にI山内飛蹴中からキックしてゴールインとなり一點を先取す

○後半戦 青師益々勢力を得て終始壓迫を続け絶えず敵陣前に内陣戦を演じ十二分三十八分にゴールを傳二點を加へ結局二對零で青師の一勝

(青師) 田口賀中樫田藤林内部上 0 1 1
花山平田富飯佐若宮殿村
LW LCF RL RH LH CH RH LF RF GK FK CK
井塚松橋井水村田野藤田 13 3 0
荒大笠高中清西町遠佐岩 (獨協)

枋師一勝す

豊山抽籤で敗く枋木對豊山の一勝者戦四十分ゲームは午後零時三十分レフエリー清水線審井梁、山田三氏、豊山のキックオフに開始、前半戦は後半戦は枋師伯仲の両チームは往々に混戦を続けるのみ、両チーム前後して再三チャンスがあつたが守るも攻めるも必死の奮闘振りにつひに得点を傳えず各十分の延長戦に入り

両チーム決死の内戦に決まり散らしたか何れも選手は疲労に飽し之れ亦得点をなすに至らず大會規定により抽籤の結果枋師の勝となつた

(枋師)

山山瀬田田沼澤藤澤平野 1 9 6
北大高藤時柿八佐増小
LW LCF RL RH LH CH RH LF RF GK FK CK
藤木瀬野野田田谷藤原 5 11 0
近佐高天捕吉岡真伊市 (豊山)

二勝者戦

豊師は二勝す

引續いて豊師對豊星の二勝者戦を行ふ筈だつたが晴星方戦に重難を申出た結果大會規定により豊師は三勝を決した

成城一、横二中零

成城對横二中の二勝者戦は午後一時五十分レフエリー藤木線審清水神坂三氏、横二中のキックオフに開始

○前半戦 成城は午前の番闘にもめげず混戦劇の極限の途つた球を運んで前出せるFJを抜いてドリブルに無人境を行つたが豊師前陣近でFKのはずさんとする球は惜しくもアウトして絶好のチャンスを得ず横二中一度も返した

が及ぼす亂戦に乗じて成城中央突破のドリブルに進みGK飛出し一度は止めたが深遠にシュートして一點となる時に十分

○後半戦 両チームいよくふるひ立つたがボール飛ばす選手亦活

動自由ならず横二中よく攻めたが及ばず遂に一對零で成城の勝となる

(成城)

池井久林澤尾川時 5 0 1
青 瀬大對神來味大綱
LW LCF RL RH LH CH RH LF RF GK FK CK
野藤野井田川保藤田田瀬 2 5 2
平瀬岡石石久伊掛藤川 (横二中)

青師一、鎌師零

青師對鎌師の二勝者戦は午後二時五十分レフエリー井梁線審清水安藤三氏、青師のキックオフに開始

○前半戦 青師のキックオフで點を陥入れたがオフサイドで點ならずこれより青師方攻勢に出で鎌倉方の陣前で敵味方陣員密集しての混戦を演じたが両チーム得点なくハーフタイムとなる

○後半戦 青師の猛烈な攻撃を鎌倉F、GKよく喰ひ止め折から豊師球をこつた青師方F平賀の強襲をGK加藤防がんとすれば平賀敢然突進して一場敵機を陥れて一點を先取した、且且よりのロングパス豊師に落ちるや花田サイドキックして一點を豊師鎌倉方差勢めだが盛返へせず遂に三對零で青師方勝つ

(青師) 田口賀中樫田藤林内部上 1 3 8
花山平田富飯佐若宮殿村
LW LCF RL RH LH CH RH LF RF GK FK CK
林藤田口谷名宮藤藤田正 9 3 0
小加飯小川三岡藤石加 (鎌師)

枋師一、崎師零

枋木對崎玉師の二勝者戦は午後三時五十分レフエリー清水線審藤木、井梁三氏枋木のキックオフに開始

○前半戦 枋木陣風に乘じて猛烈な攻勢に壓迫し十七分枋木益々優勢に壓迫し七分枋木、C高瀬中央より進んでシュートし球は敵陣前に追つたところを藤木がR、I藤田飛込んで蹴込み一點を占む

○後半戦 崎玉奮然として猛襲を欲み再三再四チャンスを得たが枋木死力を盡し崎玉陣に得点を與へず結局一對零にて枋木の勝となつた

(枋師) 高山瀬田田山澤藤澤平野 6 4 0
川大高藤時北八佐増小
LW LCF RL RH LH CH RH LF RF GK FK CK
井岡師本木澤瀬田藤川田 4 0 2
武片高岡除廣黒石石古可 (崎玉)

今日の番組

豊師一 成城 午前十一時
青師一 枋師 午前十一時
決 勝 戦 午後一時半

けふの運動

▲本社後援東蹴球大會(第二日)準決勝及決勝戦は午前十時から月山學校々庭で
▲大對高師ア式蹴球戦は午前十時半から高師球場で



豊島師範優勝

二對一の白熱戦で

青師から覇権を奪還す

本社後援の關東中學校蹴球大會終る

【夕刊報】準決勝で敵を一蹴し遂に決勝戦に参加の榮を得た豊島師範と青山師範とは、前六回の大會に

何れも三回宛の優勝校であるから今大會は決勝でもあり一戦で、蹴球界にも亦期待される絶好の試合である、さればフアンは試合開始午後二時半には立錫の餘地もない程に押寄せ

白熱戦 二満場の血を流かして、蹴球は遂に豊師方に揚つた、應援隊も選手も相繼して泣く、二年續けて青師に占められて居た覇権を奪還し榮ある優勝旗を本社寄贈の優勝牌は永井會長より豊師の主將に授けられ萬歳高く唱和して第七回關東蹴球大會は終了した

準決勝戦

豊師一、成城零

豊師對成城の準決勝戦は遂に延長

邊場川野中 荒出谷田野上 7 8 13
 渡馬宇高田江中池保佐井
 LWLFRWRHCHRHFFGK GKFKCK
 池 澤保清林尾土川持 23 7 4
 菅 久
 青 米大岩神林白大創 (成城)

青師一、栃師零

青山師範對栃木師範の準決勝戦は午後零時十分レフエリ清水線審清水、安藤三氏青師のキツクオフに開始

前半戦 栃師最初優勢に進んだが押返され一進一退の後栃師敵壘前の接合ひから長工藤田シヨートシヨートに奇功を奏したと思ひきやバーから一尺も高く外れて入り

本間もなく青師押返し花田、山田のパスを栃師Bが後進しGKが一蹴にゴールインとなり一先取のシニートに二先取を加へハーフタイムとなる

後半戦 栃師が然攻め入つたがすぐ押返へされ青師秩序よく攻勢をこつて悠々追つたが栃師も時時チャンスをつかんで肉薄し敵壘前の接合に敵隊を牽からしめたが遂に得点するに至らず結局二對零で青師勝つ

(青師)
 田口賀中樫田藤下内郡上 2 5 11
 花山平田富飯佐山宮殿村
 LWLFRWRHCHRHFFGK GKFKCK
 島山瀬田山田堀藤澤平野 17 15 1
 川大高藤時北八佐増小小 (栃師)

豊師一、青師一

豊師對青師の決勝戦は午後二時五十分レフエリ安藤氏、藤澤氏、木、井梁兩氏豊師方のキツク、オフに開始

前半戦 豊島方一氣に中央を突破して追つたが、青山方速り返し豊島亦返すなと暫くは中央線を左右しての長戦戦を繰り返す、豊島方LHよりのロング、キツクを青山方LHミスして抜くやH高野捕へ持つたま、豊師目掛けて一頂線に進み青山方のFB焦り、パスするも及ばず高野そのまドリップして豊師十脚よりシニートし、しかも豊島方トラウンド、コンデシヨンよく又攻勢を續けたが青山

邊場川野中 荒出谷田野上 16 4 6
 渡馬宇高田江井池保佐井
 LWLFRWRHCHRHFFGK GKFKCK
 田口賀中樫田藤林内郡上 23 12 0
 花山平田富飯佐山宮殿村 (青師)

方後衛死守して入れず

後半戦 青山方攻勢に出で、中央突破に成功した平野のシニート増しくもボールをかすめて外れ(五分)それより再び激戦に陥り偶々攻撃に在つた青山方、右隅のスロインよりの混戦中、田中巧に球を抜き出し、豊師にあつた佐藤にパスすれば、佐藤これをキツクしボールは豊師の敵隊方の頭上を越つて左隅に入り、一先取を得(五分)同點となる、青山方遂に攻勢に出で敵壘を襲するも機を捕へざる中豊島方破返し一進一退互に好機を掴めず得点せず兩軍愈々緊張して白熱戦を續ける中タイムアップとなる

延長戦 大會規定により延長戦に青山方のキツク、オフに開始、陣を換へてから豊島方、猛烈な総攻撃を開始し、混戦中豊島方馬場、巧に球を得て進み豊師五六碼まで近き見事なシニートに二先取へ遂に二對一を以て豊島方の勝となる

早大勝つ

對アストラ

早大對アストラのア式蹴球戦は午後二時十分戸塚球場に舉行レフエリ野津氏、線審岸本(兄弟)兩氏アストラのキツク、オフに開始した

前半戦 兩軍最初から一進一退の接戦を續け機を得なかつたが四十二分早大のL、H竹内が左側を抜きLwにパスし之をHcにパスすれば尹巧みに之れを蹴込んで一先取を得た

後半戦 アストラ勢を得て攻勢をこり二十分間許り敵を壓したが廿二分早大破返し右側中央のスロインから球をHcにパスさせ尹ドリブルに進み敵壘前の混戦から同じく見事にシニートしたが惜しく球はバアの上一尺を掠めて入らず二十五分アストラ依然として、Cディーン中央からドリブルに敵陣を抜きゴールに廻る時早大辛くも防いでコーナーキツクとなりその球をL、H杉村シニートすれば早大G、Kノックに防くもその球ポストに當つてゴール。インし一先取を奪還して同點となる三十分早大コーナーキツクを得敵壘前の混戦からH、C鈴木シニートしたが敵の體に當つて入らず尹拾つて又シニートしたがGKをよく防ぎ愈々肉薄戦となるを更に尹が球を拾つてアツシユに二先取を加へ後兩軍機曾なく結局二對一にて早大の勝となつた(早大)

T 13. 2. 18

戸内 井木内木師本田君 1 4 2
 朝安 玉荒竹鈴國芝山平 1 4 9
 W L I F R W R H C H R H F F G K GK GK FK
 L L C F R I W L C H R H L R H (アストラ)
 野 野 畑 立 村 馬 兄 吉 川 達
 ジ 平 大 足 杉 辰 本 雄 進 彦

T 13. 2. 13

けふの運動
 早大對高師ア式蹴球戦は午後四時から高師球場で

T 13-2-12

蹴球大會評

原島好文

第七回關東中等學校蹴球大會は終つた。十七日チームが目指した榮冠は豊島師範の手に歸した。今年は何處も豊島が實山か、それも中學チームに移るか、期待された如くは豊島師範の躍る所となり同校、金文字牌かに四度目の校名を彼の優勝旗に印すことになつた。

○今大會の出場チームは十五各チーム共に一回より二回、二回より三回と、心に於て統一され、技に於て精練され、今年に至つては、チーム全體が著しく整つて來た。不揃ひなチームが無くなつただけ各チームの差が少なくなつて來た、ゲームの結果から見ても一番大きかつたスコアが四對〇である。特に各プレイヤー何れもが眞のスポーツを解して來たことは嬉しい。

○第二日雨天烈風の際、第三日泥濘の中、グラウンド・コンディションの頗る悪いにも係らず各チームが善戦してゐる。天候も悪く又グラウンドも悪い故、さんだ番狂はせがあるかと思ひの外、勝敗は順當に決せられてゐる。試合中個々の場合に就いては幾分の不利有利があつたらうが、これを全體から見ると、天の時も地の利も實力の致すところは左右すること

が出来なかつた。

○決勝戦。豊島師範對青山師範。兩チーム共第六回迄に二度優勝してゐる。何れも数百の校友の熱烈なる聲援に圍まれてゐる。そして彼師範の試會だこんなエキサイティング。ゲームは豊島師範の空射の多であらう。こんなゲームが繰返されることによつて、プレイヤーもプレイヤーの眞鍮に觸れることが出来るのだ。

○優勝した豊島師範チームは流石に算したるものだ。個人個人として傑出せる者を見出せない程の精進を遂げて前衛後衛共にキツクも固く少々の危なげがない。兩フルバック安田、佐野の正確なる頭長隊には前衛は全く安心して敵陣に突入する事が出来たらう。此のチームの美點は粘り強いこと即ちこんな球でも思ひ切り諦めて傍観することなく、最後のパススなりシュート、なりまで執著してゐる事である。

○決勝戦に替しくも敗れた青山師範チームは鮮やかな輕快な技を持つてゐる。大會最近にして熊倉渡邊其他二三選手に専攻があつてベストメンバーを以て出陣出來なかつたこの事だが、各ゲームに善戦してゐる。對豊島戦に於て、自己のチームの弱點を知り過ぎて後を心配しつゝあつたためか、フオワードに平賀富樫の猛者があつながら十分な活動をしなかつたやうだ。ハイフセンターの佐藤の活躍が目覺ました。タツクルにキツク

に、出足早く攻めること、バック早く守ること、ハイフセンターにして今日我が國此の右に出づるものはあるまい。初陣のフルバック官内の奮闘も目に附いた。サブメンバーを混へてゐながら而も一點を先取されたのを同點に盛り返し延長戦まで続け最後まで奮戦した奮氣は十分賞してやらねばならぬ。昨作戦上の缺點はあつた線だ。

○セミ。ハイナルに於て強敵豊島とタイム延長戦も戦つた成城中學チームは何處も元氣で行く實に活々としたチームだ。それだけ一方に荒削りの感がする。各プレイヤーがきびく活動してゐて氣持がよい。對豊島戦に於て中野神林の活躍は光つてゐたが猛將幡の活躍が物足りなかつた。

○新進栃木師範の活躍は今次大會を飾つてゐる。對佐野中學、對豊山中學、對埼玉師範、對青山師範と何れもよく戦つてゐる。地方チームの誰もが持つ缺點、試合慣れぬ點はあるが併し連続統一がよく取れてゐる。キツクも正確だつた。フオワードの何れもよい中で、オイト、ウイングの藤田の如きは申分ないプレイヤーである。オナタの藤田、大山の敏捷な活動も驚異を感ずる。

○其他のチームに就ても言ひ度いことが多く、精しくは何れの機会に落着いて書くことにする。附屬中學が學校の都合でベストメンバーを揃へて出陣することの

出來なかつたことは氣の毒だ。併し四年以下の人選であつただけの奮闘を續けたことは偉いとする。若しベストメンバーを揃へたらうと思ふ。豊島中學が第二グラウンドのみで天候の都合棄權したことも物足りなかつた。豊山中學が對栃木師範戦に於て抽籤の結果敗れたことは同チームとしては諦め難いことであらう。併し如斯大會では他によい方法がないのを私どもは残念に思つてゐる。昨年の豊島の影響を受けて練習不足である鎌倉師範が立派な試合を見せてゐた。横濱二中も同様。目白中學が對横二中戦に於て終盤まで加へつゝあつて敗れたのは角力に勝つて勝負に敗れた感がある。第一回以來の雄、埼玉師範、佐倉中學が一敗の下に退いたのは時に利あつたか幸に自重を望む。獨逸協會中學も異常の進境を見せてゐるが未だしり感がある。靜岡師範チームが大層整つて來た。堀田昌、杉田等の好選手何れも立派な技を持つてゐる。明治學院中等部の對豊島戦の苦戦中に於けるゴールキーパー大竹の活躍固守は目覺ましいものであつた。

○一年毎に進歩し、一年毎にプレイヤーを見せる選手。一年毎に熱心に、一年毎に理解を持つ観衆の増して行くことは喜びに堪へない。

小學校蹴球

参加チーム

三月一二日舉行

來る三月一日二日神山師範グラウンドに舉行する東京蹴球團主催本社後援の關東小學校蹴球大會の参加チームは左の通り決定した

第一部(尋常科) 第二日 日野、目黒、成城、青師附小、瀧野川、豊師附小

第二部(高等科) 第二日 日野、目黒、成城、青師附小、瀧野川、牛込、豊師附小、桃野

T/3-2-22

小學校の

ア式蹴球

三月一二日の

兩日舉行

主催 東京蹴球團
後援 朝日新聞社

東京蹴球團主催、本社後援の第二回小學校ア式蹴球戦は三月一二兩日神山師範學校校庭で舉行するが第一日たる一日の試合組合せは左の如くである

第一部(午後等時)

青師附小——瀧野川小學
豊師附小——日黒小學
第二日野小學——桃野小學
成城小學不戦一勝

第二部(午後二時)

青師附小——野川小學
第二日野小學——豊師附小
桃野小學——日黒小學
桃園小學——牛込小學

T/3-2-25

決勝戦 けふ午後二時

日比谷の蹴球(第二日)

▲準決勝(四勝戦)

青師——青師(午前九時)

青師——野中(午前十時十分)

注意 佐倉中學對附屬中學の三勝戦が午前八時からの推定でしたが佐倉業繼を申込んで來たので附中が準決勝に出場する事になりました

主催 東京蹴球團
後援 東京朝日新聞社

T/3-2-25



埼師が青師か

晴れの球場日比谷に

本社後援の關東蹴球戦

午後いよく決勝

本社後援第六回關東蹴球大会第三日は好天にめぐまれて今日日比谷日比谷グラウンドに催された。参加十五チームに佐倉附師の二中學チームが決勝戦参加の

光榮に

浴すべく午前練習をける雲であつたが惜いかな左舟中隊は驟然の驟然上乗せ止むなきに至つたのは氣の毒の極みであつた。定刻前から詰めかけた観客のファン群れの決勝を見んと場の四周を十重二十重に圍んで開始を待つ折しも午前九時十分開演の観客附師の試合は開始せられた。三勝戦に於て一対一の延長戦に入り向以て勝敗決せざりし此の接戦

如何ん

と興味頗る深い果せる哉又も大接戦が演ぜられ妙技が繰返され、ファンは益々

造り

に於ては、観る附中のメモ

は、附師となつてブツかつて行くその見事なコンビネーションに押して行くところ、流石青師も一時

タデ、の姿であつたがタイムアップ間際となつて、一瞬を占めた、斯くして青師は附師と共に決勝戦に参加する權利を獲たが

附中和青師の選り手は、賞識の的となつた、羨ある接戦、午後二時

と青山附師の蹴球は、午後二時

埼師二附中零

審判 井柴 練巻(吉水)

△前半戦——午前九時十分、埼玉方のキック。オフに開始、埼玉方一撃に蹴球に迫るも及ばず、

観開方も又攻めて、コーナーキックを得たるも蹴球とならず、

たま、埼玉方のシュート、弱くボールに當り、跳ね返りもせず止まるを、観開方ゴールを捕

へんとして捕、得ず、まごつく慮に乗じたる埼玉方シュート、イ

ンナー突進してもみ込み先づ埼玉方の得点となる。兩軍愈々元

氣よく戦へども兩軍の球何れも高く、又パスも正確を缺き混

戦を繰るも、好機を得ることなく、ハーフ、タイムとなる。

△後半戦——埼玉方攻勢を續け

レフト、ウイングより進、ウイングの巧妙なるパスをインナー

受け、シュートせる。蹴球強く見事に列を穿し、ゴールインとなる

廣いて、埼玉方、コーナーキックを得、球はよく、ゴール前に落ちたるも、アード達のボ

ディジョン悪く得点する機會を得ず、我は愈々亂戦となり球も人

も右往左往すれど兩軍共に球に振舞はれる事多く、シュートするまでに至らず、時を經る中埼玉方にたま、シュートありし

も弱くして、ゴールインとならず、タイム、アップとなる。

審判 井柴 練巻(吉水)

△前半戦——午前九時十分、埼玉方のキック。オフに開始、埼玉方一撃に蹴球に迫るも及ばず、

観開方も又攻めて、コーナーキックを得たるも蹴球とならず、

たま、埼玉方のシュート、弱くボールに當り、跳ね返りもせず止まるを、観開方ゴールを捕

へんとして捕、得ず、まごつく慮に乗じたる埼玉方シュート、イ

ンナー突進してもみ込み先づ埼玉方の得点となる。兩軍愈々元

氣よく戦へども兩軍の球何れも高く、又パスも正確を缺き混

戦を繰るも、好機を得ることなく、ハーフ、タイムとなる。

△後半戦——埼玉方攻勢を續け

レフト、ウイングより進、ウイングの巧妙なるパスをインナー

受け、シュートせる。蹴球強く見事に列を穿し、ゴールインとなる

廣いて、埼玉方、コーナーキックを得、球はよく、ゴール前に落ちたるも、アード達のボ

ディジョン悪く得点する機會を得ず、我は愈々亂戦となり球も人

も右往左往すれど兩軍共に球に振舞はれる事多く、シュートするまでに至らず、時を經る中埼玉方にたま、シュートありし

も弱くして、ゴールインとならず、タイム、アップとなる。

青師一附中零

審判 清水 練巻(小野田)

△前半戦——十分分附中のキック

オフに開始し、青師直ちに蹴球を執つて隅蹴を利し、蹴球に

逼つて蹴球を流したが、附中好防して敵前線の隙を伺ぎ、附師

ルケイ、エリアに突進、フリーキックを得たが、こられた青師後

頭の堅退する所となり、果して豫期せる接戦は行はれ、青師の

前線中の中線の活躍且願しく蹴球は益々白熱化して行く中、

俄然青師猛襲を試み蹴球又蹴追頻りに蹴球を繰返したが何れも

ゴール、インに至らず、附中死力を盡して防禦に努むる時、ハ

フ、タイム。

△後半戦——附中折り春山兒島等の前線巧妙なるドリブルに單身

奇襲に出たが、頑強なる青師後衛の敵に非らず、常に逆襲を受け

依然青師優勢を示し、攻勢を執るが附中の善戦も驚嘆すべく、

漸く廿五分の経過後青師、富隆のパスを清水受け、ヘツズイン

に蹴球を放き、附中方後衛前線奮集して防く時、清水後衛田中

等の奮闘効を奏し、ゴール左隅を破つて貴重な一點を奪ひ青師平

勝す、開演十一時廿五分

審判 清水 練巻(小野田)

△前半戦——十分分附中のキック

オフに開始し、青師直ちに蹴球を執つて隅蹴を利し、蹴球に

逼つて蹴球を流したが、附中好防して敵前線の隙を伺ぎ、附師

ルケイ、エリアに突進、フリーキックを得たが、こられた青師後

頭の堅退する所となり、果して豫期せる接戦は行はれ、青師の

前線中の中線の活躍且願しく蹴球は益々白熱化して行く中、

俄然青師猛襲を試み蹴球又蹴追頻りに蹴球を繰返したが何れも

ゴール、インに至らず、附中死力を盡して防禦に努むる時、ハ

フ、タイム。

△後半戦——附中折り春山兒島等の前線巧妙なるドリブルに單身

奇襲に出たが、頑強なる青師後衛の敵に非らず、常に逆襲を受け

依然青師優勢を示し、攻勢を執るが附中の善戦も驚嘆すべく、

T 13 2 26

平増清田 山佐富 鹿島 得点

賀屋水中 倉田 藤原 谷山 得点

伊藤春兒 眞木本 和田西 得点

藤谷山鳥 藤井田 川川 得点

井崎師本 藤澤 藤澤 藤澤 得点

武岩高岡 大廣 黒石 武所 得点

埼師善戦空しく

青師優勝す

二對零の大接戦

本誌関東蹴球戦終る
後關東蹴球戦終る



◇争覇の飛躍

日比谷の開幕
蹴球の決勝戦

前年度の優勝者青山師範チームが再び関東中等蹴球大会の覇を握った。見事な技術と奮闘の運動精神に依つて最後の勝利者たる栄冠を戴いたのだ。斯くして東京蹴球王権大会の第六回関東蹴球大会は青山師範の優勝で玉師範以下十四チームの。

◇武者振 り理解ある 都のファンに依つて日比谷原頭に歸られた。去る十七日の第一日以來善戦を續けて決勝戦参加の光榮を授けた青山師範玉師範の闘争は二十五日午後二時五分、敵の善戦に相見ゆる事になった。第一回の大会以來惜しくも善戦に近づくを得なかつた玉師範チームは今年こそと。

◇腕を撫し勝を誇らして 立ち向つた。之に對する青山師範チームは此の一戦に勝者の名譽を奪はれてはと誓り、長必死の勢ひに臨戦する。斯くの決戦を見送がしてはと許りに續々詰めかけ、敵隊を突破せん勢ひ、青山師範の陣取りは小隊を手にして一方に重まてを引連れ、鉄柱立つた陣取り勇ましく堂々たる進軍を示す。

◇凱歌は 青師方に揚がつた。敵隊は狂気に陥る。ファンは善戦の拍手を送る。斯くて名譽の優勝旗は永井會長の手から青師チーム主席の手に授けられ、賞牌に花束記念品に飾られた。初めて我に對つた、青師の選手ニコと笑つて敵隊に贈せられた。

◇優勝旗を先頭に掲げた。勝負は戦士の常とは云へど善戦精神をつけた青師方の無念思ひやるだに氣の毒の極みである。斯くして第六回大会は午後三時四十分未嘗有の盛況裡に閉會した。

青師一埼師零

◇審判 齋不 練達(清水)

▲前半戦 青師對埼師優勝戦は二時五分青師キックオフに開始。青師の前面依然強く怒り突進自由戦を得て、敵門に逼つたが清水の頭蹴は惜しくも横木を越して先づ機會を逸し、再度の猛襲は清水ドリブルに突進、シュートを過す身を以て排す時増尾肉弾にて過るを、敵手敵手にスローして危地を脱す。爾後青師は再三猛烈なシュートに見舞われ、後衛の奮闘に死守したが十六分中右翼よりのロングパスを捕獲、左手の左に蹴射して功を奏し、先づ一戦を先んず其後快なる長蹴戦に移り、青師形勢恢復に努める中、武井無人の野を差すが如きドリブルに進みシュートを放つたが、入らず、敵隊に尙もチャンスに接したが、前衛のヘッドインが失敗に了り、敵隊は中央線を度ひに一進一退激戦は續く其後度師

◇見事な ゴールインに一戦を先取して善戦を拂つた。青師も然るもの此の一戦に依つてひるまない。青師方にも時々好機會を作つたが得點に至らず、ハーフタイムとなつた息のつきまる大接戦に臨衆は先づ一息する選手は苦相に顔を露し、直に後半戦に移つた。青師は益々攻勢に出ると、青師は

◇死物狂 ひの防戦に違ない。敵陣は激戦して進む折り返し、青師方のゴールインに一戦を加へ、最早青師は敗軍の運命づけられた如く振はない。なれど青師は並を先登と必死に奮闘し、青師もその後援會なく遂に二對零にて青師善戦空しく敗れ

は前衛の連絡見事に保たれ、三度敵陣に逼つたが後衛のタツクルに阻まれ一度はゴールを外る。青師数度中堅清水の活躍に肉薄したが、青師黒潮の逆襲常に奏功し、容易に得點を許さず。

▲後半戦 膠着なる青師前衛はパスにドリブルに青師を壓迫し、其間清水のゴール・シュートは、敵守門を牽からしむ、廿分後漸く青師の勢より脱した青師は總攻撃に出で、反つて優勢を示し、黒潮のロング・シュートは強烈な勢を以てゴールに飛んだが、惜しくも横木に當つて戻る。青師は正確なる長蹴に、青師は優れた疾走力で攻防に努め、敵隊は益々白熱化する。青師は陣取を利し、青師も好く守つたが、閉戦近く二分富原のロング・キック、ゴール前に一蹴し、敵守の頭上を越し得點。其後青師、奮戦努めたが及ばず結局二對零にて青師優勝す、閉戦三時卅五分

農大勝つ 對法政蹴球戦

法政對農大のア式蹴球戦は廿七日午後三時から下谷の農大運動場にて舉行、結局四對一の差を以て農大の勝利に歸した

T 13. 2. 28

雪霽れの日を

小選手の奮戦

女生徒迄も可愛い拍手

小學蹴球戦第一日

東京蹴球会主催、本社後援の第二回關東小學校ア式蹴球大會は、一日午後零時五十分から青山師範校庭で第一部(尋常科)の青師附小對龍野川小で開始された。朝まだき夜來の露を混せた雨に雌雄を決する晴れの大會が流れやしないか。小さい胸を痛めてゐた可愛いブレイヤー達は、晝頃からカラリと晴れた。お天気に



勇敢な小選手たち
きのふ本社後援の蹴球戦で(下野野)



濡れ

過ぎもせず蹴球戦に絶好なグラウンドを眺めていづれも自信ある嬉れしきうな微笑を林檎のやうな頬に浮べてゐた。フキールドは各校の熱狂する應援團で取り圍まれその中に赤、青、緑、白の色彩り美しい可愛い女生徒達の群も混つてゐた。そして小さいブレイヤーのフライン。ブレイは

場内

は試合が進むにつれて緊張し夕闇迫る中に二部の牛込對桃園の猛烈な白熱戦が終る頃まで熱心に聲援してゐた

第一部(一勝戦)

青師附三瀧野川
審判山田氏 青山方キックオフ
前半戦—青山方一氣に攻め寄せ豊前の混戦の裡にGKのミス

を衝きて一點を先取す。後半戦—瀧野川方奮戦し、青山方の鋭鋒を巧に避けて好防に努む。偶々青山方の中井の好パスを國安受けて、シュートし一點を重ね二對零にて青師附小一勝す

第二日野一桃野

審判山田氏日野方キックオフ
前半戦—日野方總攻撃に出で、混戦中に一點を先取し、それより兩軍入り亂れ戦ふ。後半戦—兩軍奮戦し、日野方、機會あるも入らず。一對〇にて第二日野一勝す

豊師附小勝つ

審判清水氏 豊島方のキックオフ
前半戦—兩軍フライン。ブレイを見つ、一進一退兩軍得點なく後半戦—愈々白熱戦となり兩軍秘策を廻らし奮戦を續け共に機會あれど入らず。延長戦—大會規約に依りてタイム延長され、兩軍攻防よく努め遂にドロム。ゲームとなり、抽籤の結果豊師附小第一勝者となる

第二部(一勝戦)

豊師附一第二日野
審判安藤氏 日野方キックオフ
前半戦—豊島方、強い長敵に終始壓迫を加へたが、日野方防禦よく努めて入れしめず、ハーフタイムとなる。後半戦—日野方實力の相違に如何にも術なく防禦唯努め、折柄學前に球を圍んでの密集から轉り出づる。豊島方シュートして一點を占め其後無得、遂に一對〇にて豊島一勝す

本日の組合

(第一部) 準決勝—決勝
青師附小—豊師附小
第二日野—成瀬小學
(抽籤一勝)
決勝戦—午後一時二十分

(第二部)

青師附小—第二日野
目黒小野—牛込小學
決勝戦—午後二時

けふの運動

本社後援少年蹴球大會 第二日は午前九時から青師球場。近歩一對高師のラ式蹴球戦。は午前十時から早大球場。慶大對慶大。O・Bのラ式蹴球戦。は午後二時から三田球場。體協練習會は午後二時から帝大トラツク。ボブラ俱樂部の庭球大會は午後二時から田端コート。歩一對近歩四ラ式蹴球戦。は午前十一時から早大球場で

青師附一瀧野川

審判芳介氏青山方のキックオフ
前半戦—青山方攻勢を保ちて常に敵壘を壓し、偶々中島の右よりパスを本橋巧にシュートして一點を納め。後半戦—瀧野川方断然攻勢に出で、長敵に攻め立つるも機會なく見事なロングシュートありしも、青山方のGK危くも止めて入れず、結局一對〇にて青師附小一勝す

目黒三桃野

審判井染氏 目黒方のキックオフ
前半戦—目黒方直ちに攻勢に出で、偶々桃野方GK球を捕くこれをチャイデセンにして進み来る。目黒方石井に投げつけし故却つてゴール。インとなる。續いて目黒方壓迫を續け、中村の好敵、見事に極り一點を重ぬ。後半戦—桃野方壘前に集つて守る中目黒方、石井シュートして又一點、其後目黒方よく攻め三對〇で目黒一勝

牛込二一桃園

審判増尾氏 キックオフ、牛込方
前半戦—混戦を繰り返すのみにて兩軍無得。後半戦—牛込、總攻撃を開始す、猛烈に壓迫を續け豊前の混戦に乗じて、一點を占め、引き續き攻勢に出でRWの見事なドリブルに進みて一點を重ね結局二對〇に牛込一勝となる

目黒小學優勝す

第一部は青師附屬

緊張した小學蹴球戦

本社後援の關東小學校蹴球大會第二日は引續き青山師範の校庭に開かれた、春まは云へば北風はまだ冷たい好晴の日曜日、第一日に勝ち誇つた小選手は勇みに勇んで出陣する是等我子等の上に幸あれこスポーツに理解を有つ親達も美しい姉妹等を連れて早朝から詰めかける『お兄さんシツカリー』と聲援する黄色い

可愛い聲が

轟然たる威聲のうちから聞かれるのも此大會を一層温い家庭な感を起させる、定刻九時から開かれた試合は一刻と緊張し接戦が演ぜられ延長戦が繰返され猛烈な肉弾戦が目前に展開される。聲援も又一しきり熾んになる、かくて第一部は青師附小が優勝し第二部は目黒小學校が覇権を握つて何れも本社寄贈の大銀牌を授與され盛會裡に夕闇の迫る頃會した

第一部

青山一豊師零

第一部第二ラウンド劈頭たる豊師附小對青山附小戦は午前十時二十分より審判山田氏、青山方のキック、オフに開始
◆前半戦——流石は共に優勝候補のチームだけに、巧に球を操りて、面白いゲームを見せる青山方稍優勢、よく攻めて機會あれど、唯一度のロング、シュートあるのみ
◆後半戦——豊島方断然攻勢に出で敵壁に迫りしが、好機なく、青山方返して攻むるも亦機會なくタイム。アツプミなる

成城一日野零

審判露木、キック、オフ成城
◆前半戦——日野方、攻勢に出で左側より猛烈に壓迫せしが、成城方又よく守りて機を與へずハーフ。タイムミなる
◆後半戦——成城方巧なるパスに進めば大崎方勝れる體力に強引に返す、成城方R、W山口右隅よりライのセンター、パスツを送れば、F宮田鋭きシュートに一點を納む、タイム。アツプ前一分、一對〇にて成城も二勝す

決勝戦

青師附一成城零

勝戦は午後二時五十分、審判井染氏成城方キック、オフに開始
◆前半戦——青山方最初から巧みな連絡を保つて攻め立てるを成城方正確なキックで防ぎ容易に機を與へずハーフタイムミなる
◆後半戦——攻めつ守りつ兩軍の活躍は愈々輕快に試合は益々緊張し火の出るやうな奮戦は繰返され兩軍得點なくタイム。アツプミなる
◆延長戦——延長戦に入るこゝに三度遂に青山方壓迫に壓迫を加へ成城方必死の防戦も隅隅を與ふるこゝ多く、青山方も亦幾度か機會を逃してゐたが坂巻のニーナー。

キック曼前に直撃するや〇、Hの宮田好敵しゴール、インミなり大接戦の後實き一點を収め結局一部〇にて青師附小勝ち今大會第一部の榮冠を贏ち得た試合時間一時間三十分互る

(成城小學)

岡池田見口町中村島口藤	4	3	3
長小宮立山深田中山山加	3	3	3
W I F I W H H B B B	K	K	K
L L O R L O R H L B G	G	O	F
坂中御國崎太宮大梅中黒	1	7	3
(青師附小)			

第一部

青師一豊師零

審判、芳介氏、キック、オフ、豊島
◆前半戦——兩軍長戦に攻防よく努むるうち、攻勢の青方。I内藤のキック、シュート美事にゴール左隅へ突きて一點を先取す
◆後半戦——豊島方、追風に乘じて、長戦に攻め立て、幾度か得點する。至らず結局一對〇青山方二勝の儘タイム。アツプミなる

目黒一牛込零

審判、増尾氏、牛込キック、オフ
◆前半戦——牛込方常に總攻撃に出で壓迫を續けし連絡に乏しく得點を爲さずハーフ。タイムミなる
◆後半戦——目黒方敵壁前に攻め寄せ敵味方密集して球を圍み採み合ふ中遂にもみ込み目黒方一點を占む、目黒尚攻撃を續けI、W山村のシュートを敵のF、B、C。

決勝戦

目黒一青師零

第二部、決勝目黒對青師附小戦は午後四時五十分、安藤、審判目黒方キック、オフに開始
◆前半戦——目黒方、長戦を以て攻め寄せ、七分隅のチャンス逃し尙元氣よく攻めしが得點を爲さず
◆後半戦——兩軍攻勢をこりたれば、ボールは前後左右によく飛び、形勢は一瞬毎に變ず、而して勝敗なし
◆延長戦——目黒方優勢、四分中央より突撃し、偶々C、F石井の強敵一點を収む、目黒方勢付きて活躍目覚ましく、青山方必死となつて攻防に秘策を盡しが及ぼす一對〇にてタイム。アツプミなり第二部の優勝者は目黒高小の獨り所となつた

林藤本島木瀬幡野目川島	1	4	3	6
小内橋中鈴高乙高久長古	1	3	6	
W I F I R W L H C H R L B B G	G	K	K	F
L L O F R L W L H C H R L B B G	G	K	K	F
村田井村野松村中木原永	6	3	2	
山竹石中目村島田鈴菅宮	6	3	2	
(目黒高小)				

けふの運動

法立野球一回戦は午後三時から中野球場で東京高師對青山師範ア式蹴球戦は午後二時から青師球場

T 13. 4. 19

帝大勝つ 季節外れの帝大

對青師ア式蹴球戦は十八日午前十時から高師運動場で行なわれ二對零で帝大勝つ

英國勝つ

ムビツク大會の對佛ア式蹴球「巴里國際廿七日發」本日の英佛ア式蹴球試合は三對一で英國の勝利を収めた

T 13. 5. 19

帝大勝つ 季節外れの帝大

對早大ア式蹴球戦は廿五日午後三時から高師グラウンドで行なわれ三對一で帝大の勝利を収めた

T 13. 5. 26

けふの運動

駒澤球場A帝大對早大ア式蹴球戦は三時から高師でA朝東インター

T 13. 5. 25

ア式蹴球戦

いよいよ開始

廿二箇國參加の上 注目されるチエツコ、スロヴァキヤの活躍

オリムピツク大會から

「二十四日巴里にて開都小太郎氏發」二十五日アツシエーション蹴球オリムピツク競技がいよいよコロンブ、パーシング、パーキングの三箇所に分れて開始、ラグビーが僅三國だったのに反し今度は參加國二十二、選手は總數五百六十人以上の大規模のもので、今度は毎日練習をやり三十日から最強チームの準優勝戦に移り、九日コロンブで優勝戦の勢、目下のチエツコも強く見られるのはチエツコ、スロヴァキヤでウルグワイも強、ミルチンがある、尙英國が前のラグビーにも今度のア式にも出ないのは注目すべきだ、コロンブでやる伊太利、西班牙が去る三月ミランに於ける試合に際し客隊で無勝負に終わったものに對し興味がある

T 13. 5. 26

ア式蹴球戦

「巴里國際廿七日發」發入回國際オリムピツク大會のア式蹴球試合第一回戦の結果は左の通りである

△伊太利 一― 西班牙 零

△スロヴァキヤ 一― エストニヤ 零

△チエツコ 一― 西古 二

△スロヴァキヤ 一― 西古 二

△スロヴァキヤ 一― 西古 二

△スロヴァキヤ 一― 西古 二

△スロヴァキヤ 一― 西古 二

△スロヴァキヤ 一― 西古 二

T 13. 5. 29

見事な水泳場

ア式蹴球は大混戦

オリムピツク會場一巡記

「巴里東口持派員三十日發」第八回オリムピツク大會參加國は四十七の多數に上り(前回は二十七箇國)其中陸上競技には四十二箇國、水泳には二十五箇國、水泳には二十一箇國參加する。右の中間より日本を除き、印度及び支那が比較的遅延には印度及び支那が参加するだけ、だ佛國本部の大會準備は既に九分通り進捗してラツク、フールドも完成し現在ア式蹴球に使つて居る五百米のトラックは三和土も工合良く出来、新設にも抑らずよく固まり如何にも堅げささうだ、チエツコも其周囲のスタンド工事半ば終り、水泳場は實に見事な程、世界無類だらうと思はれる程廣大である。予は主任技師の案内で完成を急いで居る場内を一巡した、五十米に十八米のプールを圍む四方のスタンドは鐵筋混煉土の四層建で一萬人を容れるその外最上層にも

少年ア式蹴球

少年蹴球大會 全日本少年ア式蹴球大會第一回は三十一日午後一時から高師運動場で行なわれ左の通り

第一部

青師附小6―1―日暮小

桃園小6―1―日暮小

大崎小6―1―日暮小

▲第二部

青師附小1―1―桃園小

日暮小 加養 大崎小

T 13. 6. 1

けふの運動

I、Cコート全日本少年ア式蹴球大會 第二日は午前九時から豊師球場で關東學生相撲 第二

T 13. 6. 1

多數の觀覽席

ハイドグレイヴンズは十米で四層になり其他萬般の設備が完備して居つてコロンブの中央ステヂウムよりも堂々たるものだ目下進行中のア式蹴球は番狂はせて前回の優勝チームたる白耳義は瑞典の爲めに八對一で脆くも敗れるウルグワイ、佛蘭西、埃及、瑞典、伊太利、瑞西、芬蘭、和蘭の八チームの中何れが番狂を収め得るか豫想に苦しむ今の所ウルグワイと瑞典が優勝候補チームらしい

瑞西勝つ

「巴里國際廿七日發」國際オリムピツクア式蹴球大會第二回瑞西對チエツコ、スロヴァキヤの再試合は本日舉行され瑞西は一對零でチエツコ、スロヴァキヤを破つた

T 13. 6. 1

ア式蹴球戦

「巴里國際廿七日發」國際オリムピツク大會ア式蹴球は本日から第三回戦に入つた本日の結果は左の通り

▲瑞 典 五― 埃及 零

▲ウルグエイ 五― 佛蘭西 一

T 13. 6. 3

ア式第三回戦

「巴里國際廿七日發」國際オリムピツク大會ア式蹴球は本日から第三回戦に入つた本日の結果は左の通り

▲瑞 典 五― 埃及 零

▲ウルグエイ 五― 佛蘭西 一

T 13. 6. 3

運動界

關早蹴球戦

關西大學對早大のア式蹴球戦は四日午後四時から巨塚球場に舉行レフエリー橋岸氏早大のキツク、オに開始、前半戦は十六分早大本多のシエートに一點を加へたが後半は六分早大又一點を加へたが關大も亦二十三分三十二分に各一點を加へ結局二對二でドロンゲ

T 13. 6. 5

けふの運動

關西大學對早大のア式蹴球戦は四日午後四時から巨塚球場に舉行レフエリー橋岸氏早大のキツク、オに開始、前半戦は十六分早大本多のシエートに一點を加へたが後半は六分早大又一點を加へたが關大も亦二十三分三十二分に各一點を加へ結局二對二でドロンゲ

ア式準決勝

【パリ】國際五日鏡、國際オリムピック大會ア式蹴球決勝戦第四(ラウンド)は、本日瑞典、瑞西兩チーム間に行はれ、瑞西は、二對一を以て瑞典を破り決勝戦に参加し、和蘭ウルチエの勝者ミ職ふ事になつた

T 13-6-7

ア式準決勝

【五里】國際六日鏡、國際オリムピック大會ア式蹴球準決勝戦に於てウルゲイは二對一を以て和蘭を破つた。ウルゲイは決勝戦に於て瑞西と相見ゆる事になつた

T 13-6-8

外語勝つ

東京外語第一高のア式蹴球戦は七日午後一時四十五分から青師校庭で舉行、レフエリ山之内氏、外語の先鋒に開始、初め外語を迫されてみたが十二分して一點を入れて一先づ氣勢を挫け、一高十七分後一點を入れた。同點になつたが前半戦外語更に一點を加へ後半戦は双方得點なく、二對一で外語の勝となる

T 13-6-8

ウルグエイ

優勝す

ア式蹴球戦に【パリ】國際九日鏡、國際オリムピック大會ア式蹴球決勝戦は本日舉行されたがウルグエイチームは三對零で瑞西を破りア式蹴球優勝の榮冠を得た。又瑞典對和蘭の三對一で勝利した即ち第一等瑞典が三對一で勝利した即ち第一等から三等迄の入賞圖は左の通りである

T 13-6-11

關東小學蹴球大會

愈々けふ開戦

午後一時半から青山師範下

東京蹴球團主催、本社後援の第三回關東小學蹴球大會は、よく本日の午後一時半から青山師範の校庭に舉行する。参加二十餘校の入場式及び優勝旗返還式を行つた後直に試合に入る順序であるが試合組合は抽籤の結果左の如く決定した

【第一日】廿一日午後一時五十分開始

第一部(尋常科)

- (A) 目黒 (B) 青師附屬
 - (C) 成城 (D) 青山小
 - (E) 桃野 (F) 有馬
 - (G) 桃野 (H) 日本
 - (I) 十思 (J) 大崎
 - (K) 板橋 (L) 青師附屬
- 【第二日】廿二日午前八時より開始
- 第一部(高等科)
- (A) 本郷 (B) 牛込
 - (C) 武蔵野 (D) 青師附屬
 - (E) 瑞穂 (F) 日野
 - (G) 大正 (H) 桃野
 - (I) 目黒 (J) 豊師附屬
 - (K) A, Bの勝者 (L) C, Dの勝者
 - (M) 豊師附屬 (N) 金谷
- I, Jの勝者 I, K, Lの勝者
E, Fの勝者 I, G, Hの勝者
A, Bの勝者 I, C, Dの勝者

T 13-9-20



大選手にも負けない元気で
小學蹴球大會の可愛い肉薄戦

關東小學

蹴球大會

尋常科の競技開始さる

東京蹴球團主催、本社後援の第三回關東小學蹴球大會は、二十日午後一時三十分から青山師範校庭に於て舉行、豫定の如く廿五チームの入場式に次いで優勝旗の返還式あり、永井團長の始球式によつて第一部(尋常科)の競技は開始された、當日の成績左の如し

【開戦午後一時四十分】審判(清)

水窪(練筆)井原(富樫)埼玉先鋒
青師 (前) 0 (後) 1380
目黒 (前) 0 (後) 1410
成城 (前) 0 (後) 1410
有馬 (前) 0 (後) 1410

【開戦午後三時】審判(高橋)練筆
(清水)安藤(佐藤)有馬先鋒
有馬 (前) 0 (後) 1500
桃野 (前) 0 (後) 1140
青小 (前) 0 (後) 1110

【開戦午後三時四十分】審判(井原)練筆
(高橋)佐藤(桃野)先鋒
本出 (前) 0 (後) 0620
桃野 (前) 0 (後) 1140

【開戦午後四時廿分】審判(井原)練筆
(清水)安藤(日野)先鋒
日野 (前) 0 (後) 0440
十思 (前) 0 (後) 2221

【開戦五時】審判(安藤)練筆
(藤平)板橋先鋒
板橋 (前) 0 (後) 0251
青師 (前) 0 (後) 402

【開戦午後三時】審判(高橋)練筆
(清水)安藤(佐藤)有馬先鋒
有馬 (前) 0 (後) 1500
桃野 (前) 0 (後) 1140
青小 (前) 0 (後) 1110

T 13-9-21

關東小學 蹴球大會

第二日成績

東京蹴球團主催、本社後援の關東蹴球大會第二日たる二十一日はつひに雨となりグラウンドのコンディションを悪くした。小勇士の血は烈々燃焼した。秋雨の中に奮闘しながら若衆(子)のために聲援する先生の心持、勇壯な競技の裡にも阿まなく涙ぐましいシーンを見せてゐた。成績左の如し

<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 0 0 (前)得(後) 2 4 (前)得(後) 4 1</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>	<p>【一部】開戦八時十分—審判(菅澤)線審(清水芳、清水隆)有馬先取(再試合)</p> <p>有馬 0 0 (前)得(後) 3 6 (前)得(後) 3 3</p> <p>【二部】開戦九時三十分—審判(佐藤)線審(井染、平賀)牛込先取</p> <p>牛込 0 1 (前)得(後) 1 7 (前)得(後) 6 6</p>
--	---	---	---	---	---	---	---	---

T 13-9-22

神宮競技彙報

野球、相撲、柔道、蹴球の
四競技豫選規定決す

蹴球

ア式蹴球協会は日本蹴球協会本年度の全日本選手権競技をそのまゝ適用する事となり十月三十一日に神宮トラツク内球場で舉行する事に決定したが豫選は關東北、中國、四國、關西、名古屋地方の四區に行ひ關東北は十月十一日、十二日(高師球場)十七日(豊師球場)十九日(高師球場)に行ひ中込縮切は九月三十日迄東京高師内大日本蹴球協會宛十月五日に主將會議を催す等又中國四國地方豫選會は十月三、四、五の三日間廣島に關西地方豫選は十月十一、十二、十七、十八、十九の五日間大阪に、名古屋地方豫選は十月十二日名古屋にて行ふ事に決定した

T 13-9-23

小學蹴球決勝戦

本日準決勝戦から東京蹴球團主催、本社後援の關東小學蹴球大會は本日午前八時からいよいよ準決勝戦を行ふ筈である。番組左の如し

【第一部】準決勝
 青師附—豊師附(午前九時)
 成城—桃園(同九時四十分)

【第二部】同
 日黒—桃園(同十時廿分)
 青師附—桃野(同十一時十分)

因に前回青師對本日は本田兼輔のため青師不戦勝者となる

けふの運動

○本社後援關東小學蹴球大會は午前から青師球場

T 13-9-23

少年蹴球 準決勝

可愛い應援團
 本社後援の第三日
 東京蹴球團主催、本社後援の關東小學蹴球大會の第三日たる廿三日は朝來秋晴の好天氣に、青師の運動場は小勇士の豪傑や他の見物で賑はつた。準決勝戦最初の青師對豊師の(一部)試合はホームチームの出場があつて、小さい應援團は緑の小旗を打振つて頗る無邪気な應援振りを見せる成績左の如し

青師附—豊師附

【一部】開戦午前九時—審判(井染)線審(清水芳、高橋)青師先取

青師 0 0
 (前)得(後) 3 10
 (前)得(後) 5 5
 (前)得(後) 7 6

T 13-9-24

青師 目黒

優勝す

【夕刊報】 關東小學蹴球大會最後の午後、見物も刻々に増して知々の盛況であつたが一部にあつては青師附屬小學、二部にあつては日黒高等小學が再度優勝して永井團長から優勝旗及本社優勝牌を授與、一喜の訓示があつた後折衝飛來する飛行機にまで連せよとばかり萬歳を三唱して第三回大會を無事終了した時五時十五分

成城 1-0 桃園

【一部】開戦十時半一審判(清水芳) 清水、清水、清水、成城先攻して延長戦に入る

桃園 (前後) 5 13 5
成城 (前後) 1 1 2

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻

目黒 (前後) 2 3 4
桃園 (前後) 1 1 5

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻し三度試合を延長す

青師 (前後) 7 13 3
目黒 (前後) 6 22 3

因に抽籤の結果青師附屬の勝

決勝試合

青師附屬 1-0 成城

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻守を破かしたものがなら先づ盤に備置を得たがチャンスを通し

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻して延長戦に入る

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻守を破かしたものがなら先づ盤に備置を得たがチャンスを通し

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻して延長戦に入る

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻守を破かしたものがなら先づ盤に備置を得たがチャンスを通し

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻して延長戦に入る

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻守を破かしたものがなら先づ盤に備置を得たがチャンスを通し

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻して延長戦に入る

【一部】開戦午後二時五十分一審判(安藤) 綿密、井染、佐藤、成城先攻守を破かしたものがなら先づ盤に備置を得たがチャンスを通し

【二部】開戦十一時四十分一審判(佐藤) 井染、富澤、目黒先攻して延長戦に入る

ア式蹴球

明治神宮

【一回戦】 帝大 3-1 2 埼玉蹴球部

【二回戦】 水戸高 2-1 1 アストラ

【三回戦】 東京蹴球部 3-1 1 神師

【四回戦】 帝大 7-1 0 拓新

【五回戦】 全豊島 2-1 0 東

【六回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【七回戦】 全豊島 1-0 東

【八回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【九回戦】 全豊島 1-0 東

【十回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

ア式蹴球豫選

明治神宮

【一回戦】 帝大 3-1 2 埼玉蹴球部

【二回戦】 水戸高 2-1 1 アストラ

【三回戦】 東京蹴球部 3-1 1 神師

【四回戦】 帝大 7-1 0 拓新

【五回戦】 全豊島 2-1 0 東

【六回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【七回戦】 全豊島 1-0 東

【八回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【九回戦】 全豊島 1-0 東

【十回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

全國中等學校

蹴球大會開催

【一回戦】 帝大 3-1 2 埼玉蹴球部

【二回戦】 水戸高 2-1 1 アストラ

【三回戦】 東京蹴球部 3-1 1 神師

【四回戦】 帝大 7-1 0 拓新

【五回戦】 全豊島 2-1 0 東

【六回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【七回戦】 全豊島 1-0 東

【八回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【九回戦】 全豊島 1-0 東

【十回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

新西蘭大勝

【ロンドン国際二十一日】

【ロンドン国際二十一日】 ニューランド遠征ア式蹴球チーム。オーストラリアは、本日マンチエスタに於てランカシャー。チーム試合を行つた二十三日ゴール対等を以つて大勝した

英蘭ア式勝つ

【ロンドン国際二十一日】

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

【ロンドン国際二十一日】 インタリオンナルア式蹴球は、本日リヴァプールに於て舉行され、イングランドチームは、三ゴール一を以つてアイルランド。チームを破つた

全豊島優勝

ア式蹴球豫選

【一回戦】 帝大 3-1 2 埼玉蹴球部

【二回戦】 水戸高 2-1 1 アストラ

【三回戦】 東京蹴球部 3-1 1 神師

【四回戦】 帝大 7-1 0 拓新

【五回戦】 全豊島 2-1 0 東

【六回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【七回戦】 全豊島 1-0 東

【八回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

【九回戦】 全豊島 1-0 東

【十回戦】 東京蹴球部 1-0 水高

關西豫選優勝戦

【大阪電話】

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【大阪電話】 ア式蹴球選手権大會關西豫選大會優勝戦は十九日午後大阪府立第一中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

上野中優勝

【名古屋電話】

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

【名古屋電話】 名古屋高等工業學校主催東海中等學校ア式蹴球大會優勝戦は十九日午後上野中學に於て八對零で御影師範俱樂部桃山中學を破り同大會並明治神宮蹴球大會参加権を得た

けふの運動

【高師主催】

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

けふの運動

【高師主催】

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

けふの運動

【高師主催】

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

【高師主催】 全國中等學校ア式蹴球大會は午前十時から高師校庭

愈けふ火蓋を切る

神宮競技大會の壯觀

翻へる國旗や綠門も華かに

活氣漲る外苑一帯

本日の競技

◇フアレーボール(午前十時)

外苑競技場

◇バスケットボール(同)

同場

◇ア式蹴球(午後一時)

同場

◇庭球(午後一時)

帝、慶兩コート

明治神宮競技大會は、今日廿九日から開始される、廿九日はその準備で朝から内務省造營局の人々に學生迄交つて準備に多忙を極めてゐた、三箇所の入口は

綠門で飾られ細いシン

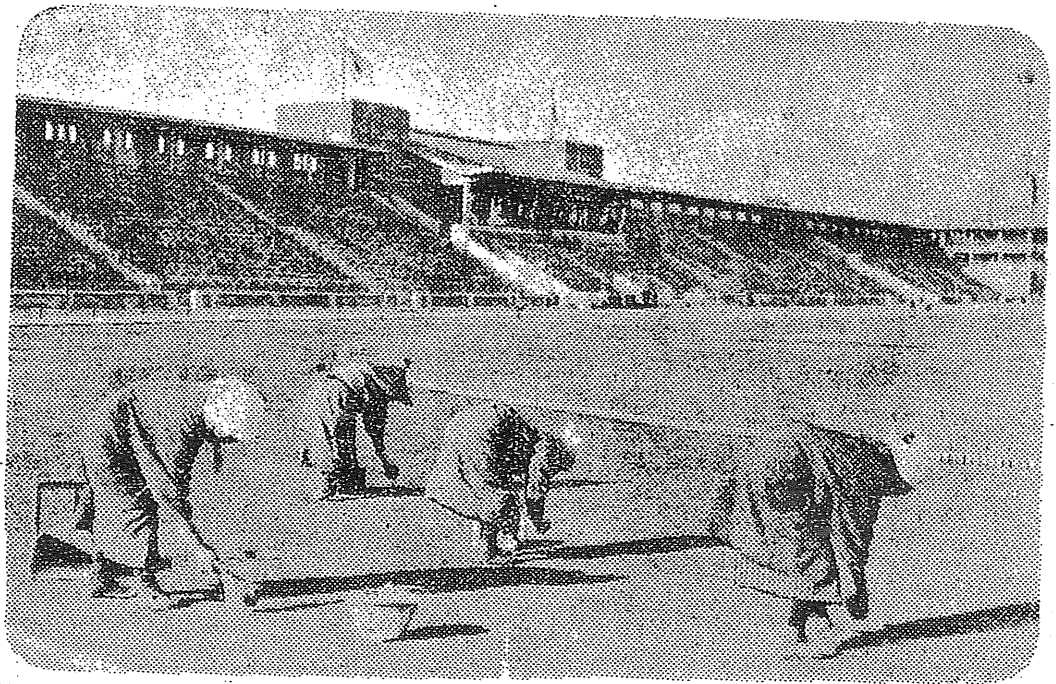
ダアを布かれ右トラツクは座一本もこいめず緑色のヴェールを布いた様なフィールドでは各競技の白線が次々に引かれて今日の壯觀を偲ばす、會館内には接待準備で廊下に出張する十數軒の賣店は早くも商品を持ち込み麗らかな秋の陽が會館屋上に照る六本の國旗に反映してスベアロー君をして「二年

も経つてフィールドが固まれば

有數の「競技場だ」

ばしめたのも成程と首肯される程の壯觀だ、三十日は式は午前九時から初まり選手はそれ迄に入場する、入場料はスタンドが一圓、芝生が三十錢で團體入場は割引され場内には前記賣店の設備の外二箇

所の救護所もあり、記念スタンプを押捺する二箇所の郵便局出張所もあつて繪ハガキ、メタルも販賣される



けふの準備 神宮競技場

肉躍る兩者の接戦に

動搖めき渡る大競技場

關東の覇者豊師、廣島に屠らる

神宮競技第一日記録

◇ア式蹴球

大阪 4-1 名古屋

【夕刊後報】明治神宮競技大會は午後一時五十分ア式蹴球が始まつてからは特に興趣を加へ、大阪、名古屋兩軍に續く、豊師對廣島一中の接戦は觀衆の手に汗を握らせ豊師から送る懸球の聲は物凄かつた卅日の見物席には婦人一人も學生でないのが可なり多くスポーツの一般普及を思はせたがこの婦人たちは際どい接戦になつて来る「アツク失敗つた」と叫んだりしてその熱心さは一段た、高聲電話は競技の結果を一々會場に報告する。柔か過ぎてどうかと思はれた球場は此頃程よく堅まつて懸球だけに終らしめた、夕陽の餘輝が競技場から消ゆる頃三對零で中國の健児が勝利を誇る午後四時四十分第一日は閉ぢられた、第一日競技の記録は左の如くである

大阪代表對名古屋代表の試合は午後一時五十分審判清水、線審清水、佐藤三氏、大阪方の先鋒に開始、前中、最初より兩軍一進一退の好ゲームを演じ開始十五分にして大阪方山口のシュートで先づ一點、數分後名古屋は川田のシュートに一點を入れて同點となり名古屋は屢々敵壘に迫つたが入らず大阪方はハーフタイム前三十秒又も一點を重ぬ

關東(全豐島)代表對廣島代表(廣島一中R蹴球團)の試合は午後二時二十分、線審清水、線審本、齋藤三氏、廣島方の先鋒に開始、前中、開戦後四分にして廣島方香川のシュートに一點を入れ、其後も連絡巧みにハーフライン前に終始攻め合つたが、關東方も屢々敵壘を奇襲し兩軍必死の巧防に觀衆狂喜す、兩軍の力量相伯仲し好機ありしも得點するに至らず、混戦裡に前半終る

後半 大阪方ますます元氣に巧みなパスミドリブルを以て攻め立て開始五分敵方の防備不完全に乗じ丸山又もシュートして一點を加ふ、名古屋方攻防共に稍派はず四十分にて中田のシュートに又一點をスコア一され結局四對一で大阪代表チームたる全豐島のさなる

後半 八分廣島方ハーフライン前に寄せて来た相手方の猛襲を巧みに切り抜け左翼より一氣に躍進して一點をさる、更に五分後清水のシュートに一點を加へ、齋藤昂れるに對し關東方奮起地回に努めたが廣島方の守備固く遂に零敗を喫す、廣島方のコンビネーションの巧妙さをハーフパツク、センター深山の活躍は特筆に値する

古原出(野弟)	73
(名)田(出)地野	
相黒(淺内)川下倉備	森
WIFIRWHHFF	自隅
ILCRRLRLLRC	75
井丸山中森五山中筒庵	

廣島(清水)香田中深	伴	前	20
WIFIRWHHFF	由		
ILCRRLRRLRG	自隅		
東邊場崎文中尻地野田野出	1181		
關涉馬柳勝田江澤星保佐山			

神宮競技

【日二】

秩父宮にも 御興深げに

ラ式蹴球の壯觀
暮れる日も忘れて
芝生を埋めた觀衆

【夕刊報】神宮競技の第二日(三十一日)午後一時から始まつた廣島一中蹴球部と關西御影蹴球部の激戦は遂に四對二で中國の健兒に榮冠下り廣島選手代表清水君は直ちに實況三日本蹴球協會を通じてロンドン蹴球協會からの大カツプを滿場の拍手裡に受け、場内ますます熱氣に午後三時から愈々此日最も期待されたラ式蹴球戦に移り、激戦を遂に兩者の妙技に清水君を打つたる如く、秩父宮殿下も殊の外御興味を覺わられた様であつた。觀衆はあの廣い芝生の三分の一以上を占め、スタンドも充滿して午後四時から更にラ式第二回日の關東紅白兩軍の戦ひが始まり舞はれる日も忘れて觀衆は熱狂した

ラ式蹴球

廣島優勝す

T 13・11・1

ラ式蹴球決勝は廣島の醜城クラブ對御影師範で午後一時から外苑フィールドにレフエリー高橋氏線審吉田、玉井剛氏の下に御影師範のキツクオフに開始
 ○前半戦 二十分頃醜城のCF清水の蹴つた球をJKがフアンブルしてゐる際に醜城のSI一顧重すかさず蹴込んで一點を先取す、その後三分清水また一點を加へ醜城二點をリードす
 ○後半戦 十六分醜城の清水巧みなヘツディングに一點を加へ醜城からのパスを香川受けてネットの隅へ蹴込み更に一點を加へたタイムアップ間近に御影師範は好闘しKIからのパスをSIの丸山蹴込んで一點を奪還したが遂に四對一で御影師範敗る

- 城山石 山部川水 9 9 3
- 鹿本大前 深塚山香 清福加
- GK RB RH CH I RW R I LW CK GK FK
- 影井原井井 井田山 丸山 2 2 6
- 御酒塚初中山 五森中山 丸山 2 2 6

全國中學蹴球

高師主催の第一回全國中學學校ラ式蹴球大會第一日は二十二日午後一時から高師校庭で舉行、第二回戦の成績左の通り、豊山中(抽籤勝)3-1 横濱二中(府立五中(棄權)府立二中(棄權)成城中(抽籤勝)1-1 附屬中

けふの運動

○高師主催全國中學學校ラ式蹴球大會第二日午前八時から高師球場

T 13・11・23

全國中學ラ式

高師主催第一回全國中學學校ラ式蹴球大會第二日は午前八時より第一回戦の續午後一時より第二回戦を高師グラウンドに舉行各成績左の通り

第一回戦

不動丘 1-0 赤坂
 佐倉 2-1 目白
 明治 3-1 水海道
 鳴尾 1-0 調協
 浦和不戦一勝

第二回戦

豊山 3-1 浦和
 鳴尾 4-0 明治
 佐倉 4-0 不動丘

T 13・11・24

全國中等學校

ラ式蹴球戦

第二日の績成

高師主催全國中等學校蹴球大會第三日は二十九日高師グラウンドに於て第一部(中學校)の第二回戦の續々第二部(師範學校)の準決勝を午後一時より舉行した

けふの運動

○(第一部)第二回戦 成城2-1 五中

○(第二部)準決勝

豊島對埼玉の第二部準決勝は吉田氏審判にて午後二時四十分開始
 ○前半 豊島埼玉を押しに押したが埼玉好守して疲退す、豊島老巧に危地を抜け馬場先づ一點を入れる時に八分埼玉好機を得たが得點に至らず
 ○後半 埼玉方無理に豊島に追つたが豊島の好防に得點なく、一進一退を繰り返すタイムアップ一分前豊島方7人馬場身敵を抜いてゴールインし結局一対一にて豊島の勝となる

○高師本誌編輯青山師範は栃木師範兼權して青山師範の勝となる

けふの運動

△高師主催の中等學校ラ式蹴球大會決勝戦は午前七時から高師球場

T 13・11・30

全國中等學校 ア式蹴球

一、二部決勝

高師主催第一回全國中等學校蹴球大會最終日は昨日午前九時より高師球場に挙行、第一部(中學)は曉星、第二部(師範)は豊島が優勝した、各成續左の通り

準決勝(第一部)

曉星2、佐倉0、第一部準決勝の佐倉對曉星は午前九時吉田氏の審判、曉星の先鋒に開始、前半戦は開始後十五分に曉星先づ得點して佐倉方を常に壓迫しハーフタイム近く向一點を加へ二點をリードし、後半に佐倉方好機を得たが入らず結局二對〇で曉星勝つ

豊山3、成城2、豊山對成城は北村氏の審判で十時卅五分成城先鋒に開始、始め成城優勢に一點をリードしたが十七分豊山方も一點を得、後半に至つて二對二となり延長戦に入つて兩軍好戦したがタイムアップ一寸前に豊山一ゴールを得結局三對二で豊山の勝

決勝戦

豊師優勝(部) 第二部 決勝戦は豊師對青師で、十一時四十分より後藤氏審判、下に豊師先鋒で開始△前半青師のL.V飯田活躍目覚しく加ふるに風上を利用し大攻撃師を壓迫し十五分L.V渡邊のゴールインに一點を先取、豊師方優勢を繰り返さん△一進一退する内三十五分青師V飯田見事なシュートに向一點を加へてハーフタイム△後半は廿六分豊師のR

I田中のシュートに一點を取り返しL.H江尻のロングパスに好機を作つたが青師方の好防に付くも入らずタイムアップ前哨射師方I.I馬場好機を作りしかも青師方F.C山口のキックは却つて豊師に得點を與へ二對二延長戦は五分豊師馬場のシュートで一點を勝越し、青山方は風下の駕か全く振はずバツクのミツス多く結局三對二で豊師優勝した

(青山師範)

田邊口上木林津田中内田 204

飯渡山村鈴若高濱道宮有 W.I.F.I.W.H.H.B.B.K.K.K.K.L.L.C.R.R.L.C.R.L.R.G.C.F

邊場又中瀬尻谷邊多野田 917

渡馬野田永水池池津得佐山 (豊島師範)

曉星優勝(部) 第一部 決勝戦の曉星對豊山は午後三時四十分より吉田氏審判、曉星の先鋒で開始△前半二分頃曉星方I.W松永ライン際を單身ドリブルして危地を抜け、豊山方の反則にフリーキックを得て益々攻勢に移りコーナーを得たが豊山方G.K市原好防して入れさせず、H.C渡谷の勲に曉星に迫りコーナーを得たが功なし、曉星△好連絡に進み廿五分豊山方D.Bのキックは反て敵に機を與へ曉星容易に一點を先んず△後半曉星敵方渡谷の好防に壓されたが好く返返し豊山方の壁に迫つたが豊山も亦好守して得點を與へず九分曉星D.W好バツスに敵を振り、I.I秋山のシュートに敵を振り、山麓燃敵を危地に導いたが曉星のバツクの長嶺、F.Wの連絡固く常に危地を脱し廿五分敵野のバツス

を永高シュートしてゴールインとなり結局三對〇で曉星の勝となる (曉星中學)

永山宮野田(出谷井金) 1422

松秋永牧富足渡福元足池 W.I.F.I.W.H.H.B.B.K.K.K.K.L.L.C.R.R.L.C.R.L.R.G.C.F

野藤原藤山野 森折 3163

天伊保近丸浦 奥市 (豊山中學)

一高勝つ 専門學校ア式蹴球リーグの一高對東園の試合は二十日午前十時中から一高球場に挙行、一高のキックオフに開始、四對二で一高勝つ (一高前)1(後)2 東園(前)1(後)0

運動界

早大對關西 學院引分

ア式蹴球戦

早大對關西學院ア式蹴球定期第一回戦は六日午後二時四十五分より戸塚球場に挙行レフェリー野津ラインズメン小村岸本ゴールルステン朝中村の五氏試合は兩軍協定の上七十分間天候は曇西北風稍強く關學風下に位置す早大キックオフに開始

前半 開戦直ちに早大は風上を利し前進したがチャンスなく關學方も前衛の巧みなる聯絡を以て突進し内田のシュート等あつたが効を奏せず其後早大稍優勢を感じ乍ら混戦を續ける中漸く廿七分本日よりのパスを玉井シュートすれば球は左より右へ後衛の間を縫ふて走り最初の得點を挙げ得て廿九分本出復たドリブルで進み左側六七碼進よりシュートすればキイパ一球を持つたままゴール内に在つて得點を加ふハーフタイム前約一分關學は大隅のロング・シュート早大方ゴール・キーパーの股を滑つてゴール・インとなり思はぬ得點を拾ふ

後半 三分頃學球を中央に送つてチャンスを描んだが高田アセツテ失敗し更に十九分内田のパスを澤田シュートすれば惜しくもゴールに當つて跳返り偷襲して大隅シュートしたがゴール上を通過し早大も數度チャンスを描んだが其のゴール・三シュート何れも正鵠を失つて點をなせず廿八分本田のロング・シュートに見事なるものあつたが關學キーパー長く防ぎ逆に其の球を約して早高に逼り廿九分

内田のパスを清水中央よりシュートすれば綺麗に進入つて同點となり其の儘タイム・アップ二對二にて引分となる閉戦四時五分

【早大】

倉木 尹 井島谷田師本水田 422

朝鈴 玉高板本園芝山濱 1

W.I.F.I.H.H.F.F.K.K.K.K.L.L.C.P.R.L.C.P.L.R.G.C.F.G.F.I

田田水隅田林中殿井田邊 7232

内澤清大高若山眞笠森海 1

【關學】

一高零敗す 對早高ア式蹴球戦

早高對一高ア式蹴球戦は十一日午後三時三十分より一高球場に舉行レフェリー中島氏一高のキックオフに開始

前半戦 最初一高稍や優勢に出たが前衛の聯絡固く漸く早高方の壓迫を感ずる中十七分後衛のパスを兩軍ゴール前にて混戦するに玉井シュートして最初のゴールを得續いて廿四分尹三六戸のパスにて進む球を一高方後衛の足に當り跳ね返るころを玉井シュートすれば見事にゴールインとなり其後一高一度コーナー・キックを得たのみにて前半を終る

後半戦 早高早くも二分六戸巧みに玉井へパスすれば一高方ゴールキーパー少しく前進する際に尹球を押し込んで先づ一點を奪ひ更に九分早高前衛のパスを一高方後衛の防壁手前なるに乘じ六戸ヤスヤス得點し尙廿五分後衛の弱シュートはキーパーの失策で廿九分に尹の巧シュートにより得點を加へ徹頭徹尾一高を押へ結局六對零にて早高大勝閉戦四時四十五分

(一高)

本村王野路浦橋岡田出山 1224

岡西 河山松高本内八横 24

W.I.F.I.W.H.H.F.F.K.K.K.K.L.L.C.R.R.L.C.R.L.R.G.C.F

倉戸 尹 井島谷田本村岩 502

朝六 尹 玉高板本園芝杉平 (早高)

運動界

早大對關西 學院引分

ア式蹴球戦

早大對關西學院ア式蹴球定期第一回戦は六日午後二時四十五分より戸塚球場に挙行レフェリー野津ラインズメン小村岸本ゴールルステン朝中村の五氏試合は兩軍協定の上七十分間天候は曇西北風稍強く關學風下に位置す早大キックオフに開始

前半 開戦直ちに早大は風上を利し前進したがチャンスなく關學方も前衛の巧みなる聯絡を以て突進し内田のシュート等あつたが効を奏せず其後早大稍優勢を感じ乍ら混戦を續ける中漸く廿七分本日よりのパスを玉井シュートすれば球は左より右へ後衛の間を縫ふて走り最初の得點を挙げ得て廿九分本出復たドリブルで進み左側六七碼進よりシュートすればキイパ一球を持つたままゴール内に在つて得點を加ふハーフタイム前約一分關學は大隅のロング・シュート早大方ゴール・キーパーの股を滑つてゴール・インとなり思はぬ得點を拾ふ

後半 三分頃學球を中央に送つてチャンスを描んだが高田アセツテ失敗し更に十九分内田のパスを澤田シュートすれば惜しくもゴールに當つて跳返り偷襲して大隅シュートしたがゴール上を通過し早大も數度チャンスを描んだが其のゴール・三シュート何れも正鵠を失つて點をなせず廿八分本田のロング・シュートに見事なるものあつたが關學キーパー長く防ぎ逆に其の球を約して早高に逼り廿九分

内田のパスを清水中央よりシュートすれば綺麗に進入つて同點となり其の儘タイム・アップ二對二にて引分となる閉戦四時五分

【早大】

倉木 尹 井島谷田師本水田 422

朝鈴 玉高板本園芝山濱 1

W.I.F.I.H.H.F.F.K.K.K.K.L.L.C.P.R.L.C.P.L.R.G.C.F.G.F.I

田田水隅田林中殿井田邊 7232

内澤清大高若山眞笠森海 1

【關學】

一高零敗す 對早高ア式蹴球戦

早高對一高ア式蹴球戦は十一日午後三時三十分より一高球場に舉行レフェリー中島氏一高のキックオフに開始

前半戦 最初一高稍や優勢に出たが前衛の聯絡固く漸く早高方の壓迫を感ずる中十七分後衛のパスを兩軍ゴール前にて混戦するに玉井シュートして最初のゴールを得續いて廿四分尹三六戸のパスにて進む球を一高方後衛の足に當り跳ね返るころを玉井シュートすれば見事にゴールインとなり其後一高一度コーナー・キックを得たのみにて前半を終る

後半戦 早高早くも二分六戸巧みに玉井へパスすれば一高方ゴールキーパー少しく前進する際に尹球を押し込んで先づ一點を奪ひ更に九分早高前衛のパスを一高方後衛の防壁手前なるに乘じ六戸ヤスヤス得點し尙廿五分後衛の弱シュートはキーパーの失策で廿九分に尹の巧シュートにより得點を加へ徹頭徹尾一高を押へ結局六對零にて早高大勝閉戦四時四十五分

(一高)

本村王野路浦橋岡田出山 1224

岡西 河山松高本内八横 24

W.I.F.I.W.H.H.F.F.K.K.K.K.L.L.C.R.R.L.C.R.L.R.G.C.F

倉戸 尹 井島谷田本村岩 502

朝六 尹 玉高板本園芝杉平 (早高)

T 13・12・3

T 13・12・7

T 13・12・7

T 13・12・12

ア式蹴球大會

明春名古屋で
名古屋蹴球連盟主催第八回全愛ア式蹴球大會は明年一月四、五、六日の三日間名古屋市鶴舞公園に於て舉行し決定参加希望チームは十二月二十日迄に名古屋市西區本町二番地内田方面蹴球連盟申込及び入部(申請書)を名古屋蹴球連盟本部(東區)に提出し(シ)に分り由

T 13. 12. 17

WU組技つ

ア式蹴球戦

【トツテンハム國際十五日發】ロンドン。チャレンヂ。カウツ争奪のア式蹴球戦は本日午後六時開始に於てウェストハム。ユナイテッドがトツテン。オリエンツの對戦となつたが二對一のスコアでウェストハム。ユナイテッドの優勝に歸した

T 13. 12. 17

高校蹴球大會

萬朝報主催、第三回全國高等學校ア式蹴球大會は一月一日から四日まで四日間、高師校庭で行ふことになつた、参加校は一高、七高、八高、山口、松江、松山、松本、水戸、弘前、北大豫科、早高、商大豫科、明大豫科の十八校である

T 13. 12. 22

運動界

専門學校

ア式蹴球

第二回全國大會第一日

東京蹴球連盟主催第二回全國専門學校ア式蹴球大會第一日は廿七日午前九時半より青師校庭に舉行し次の成績に依り商船、外語、法政の三校の勝利に歸した

商船3、明治0

商船對明治は九時四十五分審判安藤線審判清水三氏、明治キックオフに開始し、前半商船は早くも二分高橋重身ドリブルに進み見事なるシュートに最初の得点を挙げ、續いて二十六分岡野のシュートに得点を加へ、後半、タイムを逐つて追いつたが二對一のスコアでウェストハム。ユナイテッドの優勝に歸した

商船	野橋田松口部野淵	18 0 4
村保	平高若若河矢細	18 0 4
外語	LWIFIRWHLCHRHFFFK	GKFKCK
法政	LLORRLRLLRGGKFKCK	GKFKCK
明治	林染尾田村口上田光村村	12 5 4
小井	小井藤田谷立吉久奥吉	12 5 4

T 13. 12. 28

其後立教恢復に努めたが二名の缺員が影響して振はず一對零で外語勝つ

外三	村多川毛中岩十種	15 10 7
外語	LWIFIRWHLCHRHFFFK	GKFKCK
尾手	藤川木野市	9 3 4
立教	藤下安小佐上荒	9 3 4

法政3 慶應0

法政對慶應は一時審判露木線審判清水三氏法政キックオフに開始し、慶應の缺員三名を算せる為め終始壓迫され僅にGK齋藤の巧防に得点を許さなかつたが慶應自身も得点の機会なく延長戦に移り漸く三分法政コーナーキックの球をゴール前にてヘッドインングで撲合ふ中山田(義)シュートして一點を挙げ續いて慶應方の疲勞するに乗じ十二分中山田(義)十九分渡邊のゴール。インあり三對零を以て昨年度の優勝チーム慶應の敗に歸す

法政	田邊(正)本中田山林塚	4 0 12
慶應	木山澤渡山松田黒東大手	4 0 12
外語	LWIFIRWHLCHRHFFFK	GKFKCK
法政	LLORRLRLLRGGKFKCK	GKFKCK
慶應	範小島五齊	2 7 3

T 13. 12. 28

高師優勝

全國専門學校

ア式蹴球戦

東京蹴球連盟主催第二回全國専門學校ア式蹴球大會第二日は廿八日午前九時卅分より青師校庭に舉行、高師優勝す

外語1 1 商船

外語對商船の準決勝戦は午前九時卅分より審判安藤線審判清水三氏、商船キックオフに開始し、前半、高明中央より攻め一分卅秒刀根のパスを越へGのK齋藤の間に岡のシュート成る、外語は十二分シルエルのパスを馬村賢く蹴れば無運作に蹴返さんとしてミスしゴール。インとなる。後半、より更に延長廿分に至るも無得点の場規定によりドロロンゼームとなり再試合を決す

外語	17 15 3
商船	8 4 10
高師	1 0 法政

T 13. 12. 28

野山宮山田川内村田澤戸 岩飯四島吉中竹北鶴野井 6 3 5

外語	LWIFIRWHLCHRHFFFK	GKFKCK
法政	LLORRLRLLRGGKFKCK	GKFKCK
高師	野山宮山田川内村田澤戸	10 8 5
岩飯	岩飯四島吉中竹北鶴野井	10 8 5

外語1 0 商船

外語對商船再試合は審判二十分時卅分より審判安藤線審判清水三氏、依然技術伸伸せる商船は壯烈なる前衛戦を繰返され一進一退の中十五分のハーフ。タイムは下る。後半、十四分漸く外語の前衛陣に出で出村のパスを三澤受ければ商船方ゴールはガラ空きにて易々としてシュートし貴重な得点を挙げ商船最後の攻撃も功なく一對零にて外語快勝す

外語	0 0 1
商船	0 0 1
高師	1 0 法政

T 13. 12. 29

話のチャンスは皆無
後半、高師依然壓迫を加へ敵前線シュートを放つたが何れも我は弱く或はコントロールを失し物にならず、十五分飯山のシュート奏功し尚二十八分続けて得た二百のコーナーキックを利しヘッディングで混戦する中竹内のシュート一度は横木の根下に當り返ね返る時Gの足を弾いてゴール内に響かり得点となり更に二十九分岩野のパスを島山シュートして計五點を算せしに外語は十二分頃多田田村のパスを馬村賢く蹴へて唯一のチャンスを描んだがシュートは惜しくも外れて空しく結局五對零にて高師優勝す閉戦三時

外三	村多川毛中岩十種	29 6 0
外語	LWIFIRWHLCHRHFFFK	GKFKCK
高師	野山宮山田川内村田澤戸	3 0 16
岩飯	岩飯四島吉中竹北鶴野井	3 0 16

T 13. 12. 29

けふの運動

▲東大對京大ア式蹴球戦は二時半より一高球場で
▲東京蹴球連盟主催第二回全國専門學校蹴球大會最終日は九時半より青師校庭で

T 13. 12. 28